令和3年度文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-公演団体一覧【Bブロック】

【A区分・B区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目/企画	複数年度実施
				小（低）	小（中）	小（高）	中			
B	音楽	オーケストラ等	テレマン室内オーケストラ	○	○	○	○	【バロックダンスを踊ってみよう！】バロック音楽の魅力大発見コンサート	◆J.S.バッハ：管弦楽組曲 第3番 ニ長調 第1楽章 ◆弦合奏 － J.S.バッハ：G線上のアリア ◆J.S.バッハ：インヴェンション 第1番 ハ長調 ◆G.Ph.テレマン：食卓の音楽 第2組曲 終曲 ◆J.F.ファッシュ：3つのトランペット、2つのオーボエとヴァイオリンのための協奏曲 ニ長調 第1楽章 ◆G.F.ヘンデル：「水上の音楽」第二組曲 より ブーレ ◆リコーダー － G.F.ヘンデル：リコーダー・ソナタ ◆3つのトランペットとティンパニのための協奏曲 ニ長調 TWV55:D3 第4楽章　等	
B	音楽	オーケストラ等	フルノーツ with 寺井尚子ジャズ・クインテット	○	○	○	○	子どものためのジャズコンサート	【1】「A列車で行こう」 /作曲=ビリー・ストレイホーン 【2】校歌ジャズアレンジ 【3】メドレー ＜小学生＞「崖の上のポニョ」/作曲=久石譲 （映画ジブリの名作より） 等、 ＜中学生＞「ミッション：インポッシブル」/作曲=ラリ・シフリン（映画：スパイ大作戦） 等 【4】「オルフェのサンバ」 /作曲=ルイス・ボンファ 【5】「スペイン」 /作曲=チック・コリア 【アンコール】「上を向いて歩こう」 /作曲=いずみたく 等	
B	音楽	オーケストラ等	日本フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	○	「様々なリズムを、身近な音楽で感じよう（指揮者体験つき）」	【小学校】ロッシーニ：歌劇「ウィリアム・テル」序曲より《スイス軍の行進》 等 【中学校】（A）カジノユキ編：オーケストラで聴く日本の名曲「春夏秋冬」（ナレーション付き） （B）チャイコフスキー：「弦楽セレナーデ」より《ワルツ》 【共通】　指揮者体験　ブラームス：ハンガリー舞曲第5番（一部分） ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」より《第1楽章》、各学校校歌　等	
B	音楽	音楽劇	有限会社アーツ・カンパニー	○	○	○	○	オペラ「カルメン」（全4幕・日本語上演）	オペラ「カルメン」（全4幕・日本語上演） 作　曲：ジョルジュ・ビゼー　　原　作：プロスペル・メリメ 演　出：山田大輔　　美　術：川口直次 衣　裳：岸井克己　　演　出プラン：山田純彦 照　明プラン：中山安孝・望月昭治 音　響プラン：小用浩史	
B	演劇	児童劇	有限会社　劇団角笛	○	○	○	－	角笛シルエット劇場「花さき山」	「花さき山」 原作／斎藤隆介　脚色／山上路夫 音楽／渡辺岳夫　演出／角笛文芸部 「影とあそぼう」 演出・構成／角笛文芸部 「ももたろう-影絵のしくみがわかる-」 脚本／杉井ギサブロー　演出・構成／角笛文芸部	
B	演劇	演劇	株式会社　劇団芸優座	－	－	○	○	名作の世界をお芝居で楽しもう！	『最後（ザ・ラスト）の一葉（リーフ）－ O. ヘンリー物語』 原作：　O. ヘンリー 脚本：　平塚　仁郎 演出：　村田　里絵	
B	演劇	ミュージカル	東京演劇集団 風	○	○	○	○	全校児童・生徒参加によるミュージカル 『星の王子さま』	星の王子さま 原作：サン＝テグジュペリ　　翻訳：内藤濯 構成・演出：浅野佳成　　作曲：八幡茂	R1 （継続）
B	舞踊	バレエ	スターダンサーズ・バレエ団	○	○	○	○	シンデレラ	『シンデレラ』等 原作：　シャルル・ペロー 作曲：　セルゲイ・プロコフィエフ 演出・振付：　鈴木稔	
B	舞踊	現代舞踊	平富恵スペイン舞踊団	○	○	○	○	わくわく体験！スペイン舞踊・フラメンコの情熱世界	スペイン舞踊「夢、フラメンコの情熱世界」 演出／構成／振付　　平富恵	
B	伝統芸能	歌舞伎・能楽	一般社団法人劇団前進座	○	○	○	○	創作歌舞伎『牛若丸』	■創作歌舞伎『牛若丸』 併演『歌舞伎の楽しさ』 作：小池章太郎　　演出：香川良成 振付：六世嵐芳三郎　装置：小林　楓 照明：寺田義雄　　音楽：杵屋佐之忠	
B	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人　梅若会	○	○	○	○	（公財）梅若会 能狂言鑑賞教室	■狂言「柿山伏」 ■能「殺生石」	
B	伝統芸能	邦楽	太鼓と芝居のたまっ子座	○	○	○	○	和太鼓ライブ「いちにのドン」　心のふるさと、和太鼓を全身で楽しもう！	和太鼓ライブ「いちにのドン」 太鼓曲：「虫追い豊年太鼓」「月夜のカエル」「機関車太鼓」「祝祭」 他 児童・生徒共演曲：「風とカミナリ」 作・作曲・演出　末永克行　振付　若林宏二	
B	伝統芸能	邦舞	舞踊集団　菊の会	○	○	○	－	みて・きいて・おどって感じる ニッポンの心！ オモシロ民俗芸能の魅力発見！！	① さなぶり荒馬（青森県） ② 鹿躍（岩手県） ③ 百姓おどり（岩手県） ④ 飾山囃子（秋田県） ⑤ 鬼剣舞“一人加護”（岩手県） ⑥ 銭太鼓（島根県） ⑦ 傘おどり（鳥取県） ⑧ 阿波踊り（徳島県） ⑨ 八木節（群馬県）	
B	伝統芸能	演芸	カンジヤマ・マイム	○	○	○	○	おしゃべりなパントマイム	■「おしゃべりなパントマイム」 脚本、演出、振付、藤倉健雄 （内容は小学生～中学生などの対象によって一部適応作品の変更可能）	
B	メディア芸術	メディアアート等	WOW	○	○	○	－	BAKERU ― デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界 ―	BAKERUは東北に古くから伝わる4つの郷土芸能（なまはげ、早乙女、鹿踊、加勢鳥）をモチーフにした、体験型のデジタルアート作品です。スクリーンの前に立って顔に体験用のお面をつけると自分の姿が変化し、それぞれの芸能の世界観で様々な体験ができます。現代的な視点と新しい表現を通して伝統文化に触れることで、その奥深さを広く知ってもらうことを目的にしています。 1日目【芸能実演とワークショップ】 2日目【デジタルアート体験】	

【C区分団体】

B・C・D・F	音楽	オーケストラ等	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	○	○	○	○	♪心に響くハーモニー♪ オペラハウス専属オーケストラで聴くオペラの名曲！	●ビゼー／歌劇「カルメン」より 前奏曲 ●楽器紹介 ●マスカーニ／歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲 ●オペラ・アリア ●校歌合唱 ●指揮者体験コーナー ビゼー／歌劇「カルメン」より 前奏曲 ●共演コーナー 杉本 竜一／ピリーヴ ●チャイコフスキー /バレエ組曲「くるみ割り人形」より ” 花のワルツ ” ●シュトラウスⅠ世 /ラデツキー行進曲 等	
A・B・C	演劇	児童劇	劇団たんぽぽ	○	○	○	－	メニューはお話『おはなしレストラン』	『おはなしレストラン』 原作/ブレーメンの音楽隊・おおきなかぶ 脚本/宮田恵紀子　演出/村岡由美子 音楽/村岡由美子　衣装・美術/柿平衣名美 照明/真野亮文	
B・C	舞踊	バレエ	スターダンサーズ・バレエ団	○	○	○	－	クラシックバレエの世界へようこそ	「白鳥の湖」「眠りの森の美女」より抜粋、ワルツ体験 「くるみ割り人形」より スペイン、アラビア、中国、トレパック、金平糖、花のワルツ 音楽：チャイコフスキー 演出：小山久美	

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策については，実施決定後に令和3年4月以降の状況及び令和3年度予算等を勘案し，文化庁(事務局)，実施団体，実施校間において，必要事項を検討・調整の上で実施予定です。このため，各企画の出演希望調書では通常規模の公演を想定した企画内容を記載しています。

※複数年度実施欄に「R1」の記載がある団体は令和元年度から，「R2」の記載がある団体は令和2年度から，「R3」の記載がある団体は令和3年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※http://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/kouen.htmlから、団体のホームページや現在実施されている令和2年度の情報を閲覧することができます。

		A・B区分団体														C区分団体		
		B211	B222	B238	B304	B403	B519	B1605	B702	B803	B919	B935	B1115	B1201	B1307	B1502	K256	K437	K712
		テレマン室内オーケストラ	フルノーツ with 寺井尚子ジャズ・ヘクインテット	日本フィルハーモニー交響楽団	有限会社アーツ・カンパニー	有限会社　劇団角笛	株式会社劇団芸優座	東京演劇集団 風	スターダンサーズ・バレエ団	平富恵スペイン舞踊団	一般社団法人劇団前進座	公益財団法人梅若会	太鼓と芝居のたまっ子座	舞踏集団　菊の会	カンジヤマ・マイム	WOW	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	劇団たんぽぽ	スターダンサーズ・バレエ団
巡回ブロック		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B/C/D/F	A/B/C	B/C
種目		オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	音楽劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	現代舞踊	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	邦舞	演芸	メディアアート等	オーケストラ等	児童劇	バレエ
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし	あり	なし	あり	なし	なし	あり	なし	なし	あり
6月1日	火	○			○		○		●		●	○	○		○			○	●
6月2日	水	○			○		○		○		●	○	○		○			○	○
6月3日	木	○			○		○		○		●	○	○		○			○	○
6月4日	金	○					○		○		●	○	○		○			○	○
6月5日	土										●								
6月6日	日										●								
6月7日	月	○	○		○				○		●	○		○				○	○
6月8日	火	○	○		○				○		●	○		○	○			○	○
6月9日	水	○	○		○				○		●	○		○	○			○	○
6月10日	木	○	○		○				○		●	○		○	○			○	○
6月11日	金	○	○		○				○		●	○		○	○			○	○
6月12日	土				○						●								
6月13日	日										●								
6月14日	月	○			○		○				●	○		○				○	○
6月15日	火	○			○						●	○		○	○			○	○
6月16日	水	○			○						●	○		○	○			○	○
6月17日	木	○			○		○				●	○		○	○			○	○
6月18日	金	○					○				●			○	○			○	○
6月19日	土										●							●	
6月20日	日										●								
6月21日	月	○	○		○		○				●	○		○					○
6月22日	火	○	○		○		○				●	○		○	○				○
6月23日	水	○	○		○						●	○			○				○
6月24日	木	○	○		○						●	○			○				○
6月25日	金	○	○		○		●				●	○			○				○
6月26日	土				○						●								
6月27日	日										●								
6月28日	月	○	○		○		○			○	●	○		○					○
6月29日	火	○	○		○		○			○	●	○		○	○				○
6月30日	水	○	○		○		○			○	●	○		○	○				○
7月1日	木	○	○		○					○	●	○		○	○				○
7月2日	金	○	○		○					○	●	○		○	○				○
7月3日	土				○						●								
7月4日	日										●							●	
7月5日	月	○			○	○	○			○	●	○						○	○
7月6日	火	○			○	○				○	●	○			○			○	○
7月7日	水	○			○	○				○	●	○			○			○	○
7月8日	木	○			○	○				○	●				○			○	○
7月9日	金	○			○	○	○			○	●	○			○			○	○
7月10日	土				○						●								
7月11日	日										●								
7月12日	月				○		○			○	●	○						○	
7月13日	火				○					○	●	○			○			○	
7月14日	水				○					○	●	○			○			○	
7月15日	木				○	●	○			○	●	○			○			○	
7月16日	金				○	○	○			○	●				○			○	
7月17日	土										●								
7月18日	日										●								
7月19日	月										●								
7月20日	火										●							○	
7月21日	水										●							○	
7月22日	木										●							○	
7月23日	金										●							○	
7月24日	土										●							●	
7月25日	日										●								
7月26日	月										●								
7月27日	火										●								
7月28日	水										●								
7月29日	木										●								
7月30日	金										●								
7月31日	土										●								
8月1日	日										●								
8月2日	月										●								
8月3日	火										●								
8月4日	水										●								
8月5日	木										●								
8月6日	金										●								
8月7日	土										●								
8月8日	日										●								
8月9日	月										●								
8月10日	火										●								
8月11日	水										●								
8月12日	木										●								
8月13日	金										●								
8月14日	土										●								
8月15日	日										●								
8月16日	月										●								
8月17日	火										●								
8月18日	水										●								
8月19日	木										●								
8月20日	金										●								
8月21日	土										●								
8月22日	日										●								
8月23日	月										●								
8月24日	火	○	○		○		○			○	●	○				○			
8月25日	水	○	○		○		○			○	●	○				○			
8月26日	木	○	○		○		○			○	●	○				○			
8月27日	金	○	○		○		○			○	●	○				○			
8月28日	土				○						●								
8月29日	日										●								
8月30日	月	○	○		○	○	○			○	●	○				○			
8月31日	火	○	○		○	○				○	●	○				○	●		
9月1日	水	○	○		○	○				○	●	○			○	○	○		
9月2日	木	○	○		○	○				○	●	○			○	○	○		
9月3日	金	○	○		○	○	○			○	●	○			○	○	○		
9月4日	土				○						●						○		
9月5日	日										●						○		
9月6日	月	○			○	○	○			○	●	○				○	○		
9月7日	火	○			○	○	○			○	●	○			○	○	○		
9月8日	水	○			○	○	○			○	●	○			○	○	○		
9月9日	木	○			○	○	○			○	●	○			○	○	○		
9月10日	金	○			○	○	○			○	●	○			○	○	○		
9月11日	土				○						●						○		
9月12日	日										●						○		
9月13日	月	○			○	○	○			○	●	○				○	○		
9月14日	火	○			○	○	○			○	●	○			○	○	○		
9月15日	水	○			○	○	○			○	●	○			○	○	○		
9月16日	木	○			○	○	○			○	●	○			○	○	○		
9月17日	金				○	○	○			○	●				○	○			
9月18日	土				○						●								
9月19日	日										●								

		A・B区分団体														C区分団体		
		B211	B222	B238	B304	B403	B519	B1605	B702	B803	B919	B935	B1115	B1201	B1307	B1502	K256	K437	K712
		テレマン室内オーケストラ	フルノーツ with 寺井尚子ジャズ・ヘクインテット	日本フィルハーモニー交響楽団	有限会社アーツ・カンパニー	有限会社　劇団角笛	株式会社劇団芸優座	東京演劇集団 風	スターダンサーズ・バレエ団	平富恵スペイン舞踊団	一般社団法人劇団前進座	公益財団法人梅若会	太鼓と芝居のたまっ子座	舞踊集団　菊の会	カンジヤマ・マイム	WOW	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	劇団たんぽぽ	スターダンサーズ・バレエ団
巡回ブロック		B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B/C/D/F	A/B/C	B/C
種目		オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	音楽劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	現代舞踊	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	邦舞	演芸	メディアアート等	オーケストラ等	児童劇	バレエ
前日仕込みの有無		なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし	あり	なし	あり	なし	なし	あり	なし	なし	あり
9月20日	月										●								
9月21日	火	○			○		○			○	●	○		○	○	○			
9月22日	水	○			○		○			○	●	○		○	○	○			
9月23日	木										●								
9月24日	金				○		○			○	●	○		○	○				
9月25日	土				○						●								
9月26日	日										●								
9月27日	月	○			○		○			○	●	○	○	○		○			
9月28日	火	○		○	○		○			○	●	○	○	○	○	○			
9月29日	水	○		○	○		○			○	●	○	○	○	○	○	○		
9月30日	木	○		○	○		○			○	●	○	○	○	○	○	○		
10月1日	金	○			○		○			○	●	○	○	○	○	○	○		
10月2日	土				○						●						○		
10月3日	日										●						○		
10月4日	月				○	○	○		●	○	●	○	○	○		○	○		●
10月5日	火				○	○	○		○	○	●	○	○	○	○	○	○		○
10月6日	水				○	○	○		○	○	●	○	○	○	○	○	○		○
10月7日	木				○	○	○		○	○	●	○	○	○	○	○	○		○
10月8日	金				○	○	○		○	○	●	○	○	○	○	○	○		○
10月9日	土				○						●						○		
10月10日	日										●						○		
10月11日	月										●						○		
10月12日	火	○			○				○	○	●	○		○	○	○	○		○
10月13日	水	○			○		○		○	○	●	○		○	○	○	○		○
10月14日	木	○			○		○		○	○	●	○		○	○	○	○		○
10月15日	金	○			○		○		○	○	●			○	○	○	○		○
10月16日	土				○						●						○		
10月17日	日										●						○		
10月18日	月	○	○		○		○		○	○	●	○		○		○	○		○
10月19日	火	○	○		○		○		○	○	●	○		○	○	○	○		○
10月20日	水	○	○		○		○		○	○	●	○		○	○	○	○		○
10月21日	木	○	○		○		○		○	○	●	○			○	○	○		○
10月22日	金	○	○		○		○		○	○	●	○		○	○	○	○		○
10月23日	土				○						●						○		
10月24日	日										●						○		
10月25日	月	○	○		○	○	○		○	○	●	○		○		○	○		○
10月26日	火	○	○		○	○	○		○	○	●	○		○	○	○	○		○
10月27日	水	○	○		○	○	○		○	○	●	○		○	○	○	○		○
10月28日	木	○	○			○	○		○	○	●	○		○	○	○	○		○
10月29日	金	○	○			○	○		○	○	●	○		○	○	○	○		○
10月30日	土										●						○		
10月31日	日										●						○		
11月1日	月		○		○		○		○	○	●			○		○	○		○
11月2日	火		○		○		○		○	○	●			○	○	○	○		○
11月3日	水										●						○		
11月4日	木		○		○		○		○	○	●	○		○	○	○	○		○
11月5日	金		○		○		○		○	○	●	○		○	○	○	○		○
11月6日	土				○						●						○		
11月7日	日										●						○		
11月8日	月		○	○	○		○			○	○	○		○		○	○		
11月9日	火		○	○	○		○			○	○	○		○	○	○	○		
11月10日	水		○		○		○			○	○	○		○	○	○	○		
11月11日	木		○		○		○			○	○	○		○	○	○	○		
11月12日	金		○		○		○			○	○			○	○	○	○		
11月13日	土				○			●			●						○		
11月14日	日							○			●						○		
11月15日	月		○		○		○	○		○	○	○		○		○	○		
11月16日	火		○		○		○	○		○	○	○		○	○	○	○		
11月17日	水		○		○		○	○		○	○	○		○	○	○	○		
11月18日	木				○		○	○		○	○	○		○	○	○	○		
11月19日	金				○		○	○		○	○			○	○	○	○		
11月20日	土				○			○			○						○		
11月21日	日							○			●						○		
11月22日	月				○		○	○		○	●			○		○	○		
11月23日	火							○			○						○		
11月24日	水				○		○	○		○	○	○		○	○	○	○		
11月25日	木				○		○	○		○	○	○		○	○	○	○		
11月26日	金				○		○	○		○	○			○	○	○			
11月27日	土				○			○			●								
11月28日	日							○			●								
11月29日	月			○	○		○	○		○	○	○		○		○			
11月30日	火			○	○		○	○	●	○	○	○	○	○	○	○			
12月1日	水		●	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
12月2日	木		○		○		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○			
12月3日	金		○		○		○	○	○	○	●		○	○	○	○			
12月4日	土				○			○			●								
12月5日	日							○			●								
12月6日	月		○		○		○	○	○	○	●	○	○	○		○			●
12月7日	火		○		○		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○			○
12月8日	水		○		○		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○			○
12月9日	木		○		○		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○			○
12月10日	金		○		○		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○			○
12月11日	土				○			○			●								
12月12日	日							○			●								
12月13日	月		○		○		○	○	○		●	○		○		○			○
12月14日	火		○		○		○	○	○		●	○		○	○	○			○
12月15日	水		○		○		○	○	○		●	○		○	○	○	○		○
12月16日	木		○		○		○	○	○		●	○		○	○	○	○		○
12月17日	金		○		○		○	○	○		●			○	○	○	○		○
12月18日	土				○			○			●						○		
12月19日	日							○			●						○		
12月20日	月		○		○	○	○	○			○	○					○		○
12月21日	火		○		○	○	○	○			○	○			○		○		○
12月22日	水				○	○	○	○			○	○			○		○		○
12月23日	木				○	○	○	○			○	○			○		○		○
12月24日	金				○	○	○	○			●	○			○		○		○
12月25日	土				○						●						○		
12月26日	日										●						○		
12月27日	月						○				●								
12月28日	火										●								
12月29日	水										●								
12月30日	木										●								
12月31日	金										●								
1月1日	土										●								
1月2日	日										●								
1月3日	月										●								
1月4日	火		○					○		○	●								
1月5日	水		○					○		○	●								
1月6日	木		○				○	○		○	●						○		
1月7日	金		○				○	○		○	●				○		○		
1月8日	土							○			●						○		
1月9日	日							○			●						○		
1月10日	月							○			●						○		
1月11日	火		○		○	○	○	○		○	●	○		○	○	○	○		●
1月12日	水		○		○	○	○	○		○	●	○		○	○	○	○		○
1月13日	木		○		○	○	○	○		○	●	○		○	○	○	○		○
1月14日	金		○		○	○	○	○		○	●	○		○	○	○	○		○
1月15日	土				○			○			●						○		
1月16日	日							○			●						○		
1月17日	月		○		○		○	○		○	●	○		○		○	○		○
1月18日	火		○		○		○	○		○	●	○		○	○	○	○		○
1月19日	水		○		○		○	○		○	●	○		○	○	○	○		○
1月20日	木		○		○		○	○		○	●	○		○	○	○	○		○
1月21日	金		○		○		○	○		○	●	○		○	○	○	○		○
1月22日	土				○			○			●						○		
1月23日	日							○			●						○		
1月24日	月		○	○	○		○	○		○	●	○	○	○		○	○		○
1月25日	火		○	○	○		○	○		○	●	○	○	○	○	○	○		○
1月26日	水		○	○	○		○	○		○	●	○	○	○	○	○	○		○
1月27日	木		○		○		○	○		○	●	○	○	○	○	○	○		○
1月28日	金		○		○		○	○		○	●	○	○	○	○	○	○		○
1月29日	土				○			○			●						○		
1月30日	日							○			●						○		
1月31日	月		○		○		○	○		○	●			○			○		○

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，[オーケストラ等]，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　[A区分のみ] ・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　あ り ・ [な し]

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんしゃだんほうじんにほんてれまんきょうかい 一般社団法人日本テレマン協会		
代表者職・氏名	代表理事　延原武春		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地 2-1-17 （大阪メトロ「西梅田駅」、JR「北新地駅」）		
電話番号	06-6345-1046	ＦＡＸ番号	06-6345-1045
ふりがな 公演団体名	てれまんしつないおーけすとら テレマン室内オーケストラ		
代表者職・氏名	音楽監督　延原武春		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地 2-1-17 （大阪メトロ「西梅田駅」、JR「北新地駅」）		
制作団体設立年月	1963 年　4 月		
制作団体組織	役　職　員 理事 1 名 / 監事 1 名 事務職員 4 名	団体構成員及び加入条件等 団体構成員/テレマン室内オーケストラ　25 名 加入条件/適宜行われるオーディションによる	
事務体制の担当	[専任] ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	**今井　良**
経理処理等の監査担当の有無	[有] ・ 無	経理責任者名	**奥田博子**

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">1963 年、延原武春により創設された、日本に於けるバロック音楽及び室内楽総合団体。
年間 6 回の「定期演奏会」(現在 253 回)、サロンコンサートとしての「マンスリーコンサート」(現在 491 回)、聖堂での「教会音楽シリーズ」(現在 188 回)を主催事業の 3 本柱として、年間 100 回以上の公演を全国各地に於いて積極的に展開している。又、十数度の海外公演やCDのリリース等、多方面に亘り精力的な活動を続けており、その成果に対して「文化庁芸術祭優秀賞」や「第 17 回サントリー音楽賞」その他多くの賞を受賞している。
2019 年には創設当時からの演奏会プロデュース活動によるクラシック音楽普及に対する功績が認められ、ベストプロデュース賞を受賞</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">・兵庫県民芸術劇場学校公 1 公演
・一般学校公演 2 公演
・令和元年度文化芸術による子供の育成事業―巡回公演事業―12 公演</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">・平成 30 年度文化芸術による子供の育成事業―巡回公演事業―2 公演</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>https://youtu.be/4mdoxRPv8KE</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　テレマン室内オーケストラ 】

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年)　・　中 学 生
企画名	【バロックダンスを踊ってみよう！】バロック音楽の魅力大発見コンサート
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	**◆J.S.バッハ：管弦楽組曲 第３番 ニ長調 第１楽章** **◆弦楽器のお話** ・弦合奏 - J.S.バッハ：G 線上のアリア 体験プログラム クイズコーナー ・ヴァイオリン - J.パッヘルベル：カノン ニ長調 ・ヴィオラ - G.Ph.テレマン：ヴィオラ・ソナタ 変ロ長調 2 楽章 ・チェロ・コントラバス - A.ヴィヴァルディ：チェロ・ソナタ 第６番 Preludio 体験プログラム ヴァイオリンを弾いてみよう！ - J.S.バッハ：ガヴォット ト長調 **◆チェンバロのお話** J.S.バッハ：インヴェンション 第１番 ハ長調 **◆体験プログラム バロックダンスのコーナー～ガヴォットを踊ってみよう！～** ・J.S.バッハ：管弦楽組曲 第３番ガヴォット **◆G.Ph.テレマン：食卓の音楽 第２組曲 終曲** - 休憩 - **◆金管・打楽器のお話** ・J.F.ファッシュ：3 つのトランペット、2 つのオーボエとヴァイオリンのための協奏曲 ニ長調 第１楽章 **◆体験プログラム 指揮者体験コーナー** ・G.F.ヘンデル：「水上の音楽」第二組曲 より ブーレ **◆木管楽器のお話** ・オーボエ,ファゴット- T.アルビノーニ：2 つのオーボエのための協奏曲 第１楽章 ・リコーダー - G.F.ヘンデル：リコーダー・ソナタ G.Ph.テレマン：リコーダーとチェロのための協奏曲第３楽章 **◆歌のコーナー** ・G.F.ヘンデル:オンブラ・マイ・フ **◆体験プログラム 共演のコーナー** **◆G.Ph.テレマン：** **3 つのトランペットとティンパニのための協奏曲 ニ長調 TWV55:D3 第４楽章** 公演時間(90 分)

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	不要	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無

演　目　概　要

バロック音楽と言えば「音楽の父＝バッハ、音楽の母＝ヘンデル」というイメージを持つ人が多いですが、実際には非常に多くの優れた作曲家が素晴らしい作品を残しています。しかしながら、我が国では 18 世紀音楽の専門団体が少ないため、その膨大な作品群に触れる機会は残念ながら多いとは言えません。18 世紀音楽の専門団体である当協会としては、その素晴らしさをお伝えするために誰もが知るようなバッハ、ヘンデルの作品はもちろん、現在ではマイナーながら 18 世紀当時は一流とされた作曲家の作品まで幅広く選曲いたしました。また、大編成の合奏曲、中規模の協奏曲、小規模のソナタをバランスよく配置しつつ、オーケストラに使われている楽器が主役になる曲を、それぞれの楽器の紹介を交えつつ演奏していくことで、曲のイメージと楽器の特徴を関連付けて覚えて頂くことが出来ます。さらに、リコーダーという最も身近な楽器を橋渡しとして、バロック時代の音楽の「内容の豊かさ」や「楽しさ」、「表現の多様性」などを感じて頂けるようなプログラムとなっております。

また、児童・生徒の皆様に公演に参加して頂き、公演を共に作り上げていくという「一体感」を味わって頂くため、様々な「体験プログラム」を随所に配置しました。体験を交えてお聴き頂くことで、バロック音楽をより身近に感じて頂きます。

演目選択理由	バロック音楽特有の平易で短く分かりやすい、様々な編成・曲想の楽曲を多数配置することで、児童・生徒の皆様のバロック音楽への興味関心を促し、発想力の育成につながるよう選曲致しました。また、編成の大きな合奏の曲を公演冒頭や休憩前後などに配置しつつ、各楽器が活躍する演目を、楽器の紹介を交えながら順にお聴きいただくことで、楽器について学びながら本格的な演目を鑑賞していただけるよう留意いたしました。また、バロック音楽は楽器学習に取り組んでいらっしゃる児童・生徒の皆様にとっては非常になじみ深い分野ですので、本分野への興味関心を深めて頂くことで、将来の芸術家の育成にダイレクトにつながると考えております。さらに、クラシック音楽の中でも最もシンプルな部類であるバロック音楽に親しんでいただくことで、クラシック音楽の鑑賞能力の向上にもつながればと考えております。 各楽曲の詳細な選択理由は下記の通りとなっております。 **◆J.S.バッハ：管弦楽組曲 第3番 ニ長調 第1楽章** 大バッハの代表作であり、金管・打楽器を含む比較的大きな編成で祝祭的な雰囲気を持つことからこの曲を選択いたしました。当時流行していたフランス風の様式を取り、荘厳な序奏と華やかな協奏曲風のフーガから成り立っており、バロック音楽の世界観への導入としてふさわしい作品です。 **◆楽器のお話** 各楽器がフィーチャーされた曲を、それぞれの楽器の紹介を交えながら演奏することで、楽器について学びながら本格的な作品を鑑賞していただくことが出来ます。 **・弦合奏 - J.S.バッハ：G線上のアリア** 1曲目に演奏する管弦楽組曲第3番の第2曲に当たります。金管・打楽器を含む華やかな曲想から、一転して弦楽器とチェンバロのみの穏やかな曲調となっています。各弦楽器のご紹介に先立ち、弦楽合奏の響をお聴き頂くためにこの曲を選択いたしました。 **・ヴァイオリン - J.パッヘルベル：カノン ニ長調** ヴァイオリンが活躍する曲として、パッヘルベルのカノンを選択いたしました。誰もが知る名曲であり、2小節ごとに形が変化していくという構造もシンプルであることから、ヴァイオリンの魅力を最大限に感じて頂くことが出来ます。 **・ヴィオラ - G.Ph.テレマン：ヴィオラ・ソナタ 変ロ長調 第2楽章** 本曲も「カノン」の形式を取った曲となっております。ヴァイオリンの紹介で選択したパッヘルベルのカノンは、旋律のみがカノンとなっておりましたが、本曲では旋律と伴奏がカノンとなっています。ヴァイオリンとはまた違った音色を持つヴィオラですが、「人の声に最も近い」と言われるヴィオラの魅力を感じて頂きます。 **・チェロ・コントラバス - A.ヴィヴァルディ：チェロ・ソナタ 第6番 Preludio** チェロとコントラバスによる二重奏（チェンバロ付き）で演奏することで、普段は縁の下の力持ちである両楽器に着目し、その魅力を感じて頂けると考え、この曲を選択しました。 **・チェンバロ - J.S.バッハ：インヴェンション 第1番 ハ長調** チェンバロを紹介するために、ピアノを学習している児童・生徒の皆さんにも馴染みがあるであろう作品を選びました。お馴染みの曲が、楽器がピアノからチェンバロに代わることで、全く違った印象になるということを実感していただきます。 **◆金管・打楽器のお話** **・J.F.ファッシュ：3つのトランペット、2つのオーボエとヴァイオリンのための協奏曲 ニ長調 第1楽章** ファッシュはバッハやヘンデルと同時代に活躍した作曲家です。当時は大変人気のあった作曲家で、バッハもその作品を写譜したという逸話が残っています。この曲はトランペットとティンパニが活躍する華やかな **・オーボエ,ファゴット- T.アルビノーニ：2つのオーボエのための協奏曲 第1楽章** オーボエとファゴットが活躍する作品としてこの曲を選択いたしました。アルビノーニは清澄で上品な旋律美が特徴とされることから、両楽器の魅力を十分に感じて頂けます。

	・リコーダー ・G.F.ヘンデル：リコーダー・ソナタ より G.Ph.テレマン：リコーダーとチェロのための協奏曲第 3 楽章 リコーダーのソナタを聴いていただいた後は、独奏楽器としてのリコーダーを聴いていただきます。テレマンの協奏曲ではリコーダーとチェロが独奏楽器として対等な位置にあり、リコーダーが他の楽器に引けを取らない、バロック時代の花形楽器であったことを実感して頂けます。 ◆歌のコーナー ・G.F.ヘンデル:オンブラ・マイ・フ ヘンデルの作品群の中でも最も重要なポジションを占めるオペラから、アリアをお聴きいただきます。司会を務めるソプラノ歌手が独唱を務めますが、鑑賞する児童・生徒の皆様と楽団の橋渡しをする司会者が独唱を務めることで身近に感じて頂きつつ、「人の声」がどれほど技巧的で華やかなアリアを歌うことが出来るのかを実感して頂ければと思います。 ◆G.Ph.テレマン：食卓の音楽 第 2 組曲 終曲 18 世紀当時、バッハを凌ぐ名声を誇り、5000 曲以上作曲したといわれる作曲家、テレマン。バッハよりもバロック時代の「スタンダード」と言える作品を多く書いており、随所に聴き手を惹きつける仕掛けが施された「楽しさ」を重視した作風でした。 テレマンの代表作「食卓の音楽」は宮廷での食事の際に演奏された室内楽曲を集めたもので、その出版に当たっては国外からも予約注文が殺到したとされる名曲です。各弦楽器が活躍する作品を一通りお聴き頂いた後となる公演の前半の最後にこの曲を配置致しました。 ◆G.Ph.テレマン： 3 つのトランペットとティンパニのための協奏曲 ニ長調 TWV55:D3 第 4 楽章 この協奏曲はトランペットをはじめとする管・打楽器が活躍し、とても華やかな曲です。冒頭のバッハの管弦楽組曲第 3 番と同じ編成ですが、厳格な書法にこだわったバッハと当時の流行を意識したテレマンの作風の違いを感じて頂ければと思います。 ◆体験プログラム バロックダンスのコーナー～ガヴォットを踊ってみよう！～ ・J.S.バッハ：管弦楽組曲 第 3 番ガヴォット バロック時代に宮廷で踊られたガヴォットを、宮廷での式典を彷彿とさせるバッハの「管弦楽組曲」第 3 番のガヴォットで踊って頂きます。 ◆体験プログラム 指揮者体験コーナー ・G.F.ヘンデル：「水上の音楽」 第二組曲 より ブーレ 指揮のし易い二拍子であり、短いことから全曲指揮出来る作品として、この作品を選択いたしました。しかし、短いながらもフレーズの切り替わりや曲想の変化など、指揮者によって表現を変えられる部分があるので、指揮の難しさや楽しさを体感していただけます。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	バロック音楽を体感していただけるよう、5 種類の体験プログラムを準備いたしました。 うち 3 種類は全員で体験していただくもの、2 種は選抜メンバーに体験していただくものとなっております。 全員で体験していただく内容 ・クイズコーナー 作曲家や楽器にまつわるクイズを出題し、お答えいただきます。ただ鑑賞するだけではなく、その背景について想像し、考えることで、より深く鑑賞していただけます。 ・バロックダンスのコーナー～ガヴォットを踊ってみよう！～ (J.S.バッハ:管弦楽組曲 第 3 番 第 3 曲「ガヴォット」) バロック時代に宮廷で踊られていたガヴォットは、ステップのみのシンプルなダンスです。そのガヴォットを、楽曲に合わせて踊ってみることで、身体表現を通じて楽曲のイメージを捉え、バロック音楽の楽しさを体感していただきます。

	・共演のコーナー 普段の音楽の授業などで取り扱われている楽曲を、ピアノ伴奏ではなく室内オーケストラの伴奏で歌って頂きます。具体的な演目については、事前にご希望をお伺いし、楽譜をお送りいただき、編曲致します。特にご希望のない場合はこちらから曲を提案させて頂いております。 選抜メンバーに体験していただく内容 **・ヴァイオリンの体験** （J.S.バッハ：ガヴォット ト長調） ヴァイオリンの弓で弦を振動させ、音を出してみるという体験となっております。一番低い弦の開放弦（左手の指で押さえない音）のみで演奏可能な曲を使用し、実際にアンサンブルに加わっていただきます。 **・指揮体験コーナー** （G.F.ヘンデル：「水上の音楽」第二組曲 より「ブーレ」） バロックの楽団を指揮するという体験をして頂きます。演目は短い二拍子の舞曲で、全曲を通して指揮していただきます。短いながらもフレーズの切り替わりや曲想の変化など、指揮者によって表現を変えられる部分があるので、指揮の難しさや楽しさを体感していただけます。 また、上記 5 種のほかにも吹奏楽部や弦楽部などとの共演のご希望がある場合は対応いたします。
出　演　者	指揮：高曲伸和　または　パブロ・エスカンデ 独奏/リコーダー：村田佳生 歌と司会：中村朋子 または 渡辺有香 コンサートマスター：浅井咲乃 テレマン室内オーケストラ 編成：Ob 2/Fg 1/Tp 3/Timp 1/VnI 3/VnII 3/Va 2/Vc 1/Cb 1/Cem 1 ●上記以外の出演予定メンバー（下記のメンバーでローテーション） 三谷彩佳、姜隆光、鷲見敏、橋本将紀、小川奈菜、田畑佳子、山本綾、檜木花織、上川忠昭、若松芳、高田泰治、パブロ・エスカンデ、中田聖子、松本剛、中村希、淡島宏恵、福中明、中島真、黒岩洋輔、山下嘉範

公演出演予定者数 （1公演あたり）	出 演 者：　21 名 ス タ ッ フ：　2 名 合　　計：　23 名	機 材 等 運搬方法	積載量　3　t 車 長　4.7 m 台 数　1 台

【公演団体名　テレマン室内オーケストラ　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>9 時</td><td>午前10時～ 12時</td><td>午後 1 時～ 2 時 30 分</td><td>10 分</td><td>午後 2 時 30 分～ 3 時</td><td>3 時 30 分</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ　1～1000 人
本公演　1～1000 人</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>【内容】
①観賞指導
最初に本公演でお聴きいただくバロック音楽の魅力やその概要を理解して頂くために、バロック音楽がクラシック音楽の中でどういったポジションを占めるのか、18世紀当時はどういったものであったかということ説明いたします。その際、同行しております楽器奏者(チェロ奏者など)から楽器についての説明もいたします。
②ミニコンサート
歌手と楽器奏者によるミニコンサートを実施致します。
③歌唱指導
共演予定の演目の歌唱指導をさせて頂きます。この時に前奏・間奏・後奏の有無、繰り返しの有無などの他、事前に開催校から取り寄せた楽譜と実際の演奏における細かな差を記録し、後日編曲者に報告します。児童・生徒の皆様に「いつも通り」の伴奏が室内オーケストラ版になった状態で共演して頂くためです。
④バロックダンス指導
本公演の体験プログラムで実施予定のバロックダンスについて、「ガヴォット」のステップについてご説明し、楽器奏者のガヴォットの演奏に合わせてダンスの練習をいたします。
【備考】
参加者の人数に応じて、体育館や音楽室を使用して実施いたします。また、本公演での共演をより円滑に進めるために、ワークショップの様子を歌手と器楽奏者がそれぞれ観察・分析・記録します。その他の細かな状況については、事務局を経て整理された情報が本公演に出演する演奏者に伝えられます。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>一言で「クラシック音楽」と言っても時代に応じて様々な様式があり、オーケストラの編成も様々です。何の予備知識もなく本公演を鑑賞すれば、「オーケストラが来てクラシック音楽を聴いた」という認識になってしまう可能性が高いため、バロック音楽がクラシック音楽の中でどのような位置を占めているのか、また、通常のオーケストラとバロックの楽団の違いについて最初に解説させて頂くようにしております。また、講義のみでは伝わらない音楽の魅力を、歌手と楽器奏者によるミニコンサートで体感して頂きます。
次に、本公演当日の共演コーナーで取り上げる合唱曲を指導させて頂きます。実力派のソプラノ歌手が直接指導させて頂くことで、本公演当日の共演をより円滑に進め、なおかつ演奏のクオリティを高めることで児童・生徒の皆様の共演に対する満足感を高めるためにこういった形態を取らせて頂きます。
最後にバロックダンスについてご説明させて頂き、楽器奏者のガヴォットの演奏に合わせて少しダンスの練習をさせて頂きます。</td></tr>
</table>

特別支援学校での実施における工夫点	通常 1 回の休憩を複数回に増やすなど、それぞれの開催校の状況に適した形態をとります。 前後に時間的制約がない場合は、時間を延長してゆっくりすすめることも想定しております。あくまでも開催校からの要望によりますが、曲目の一部変更なども可能です。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

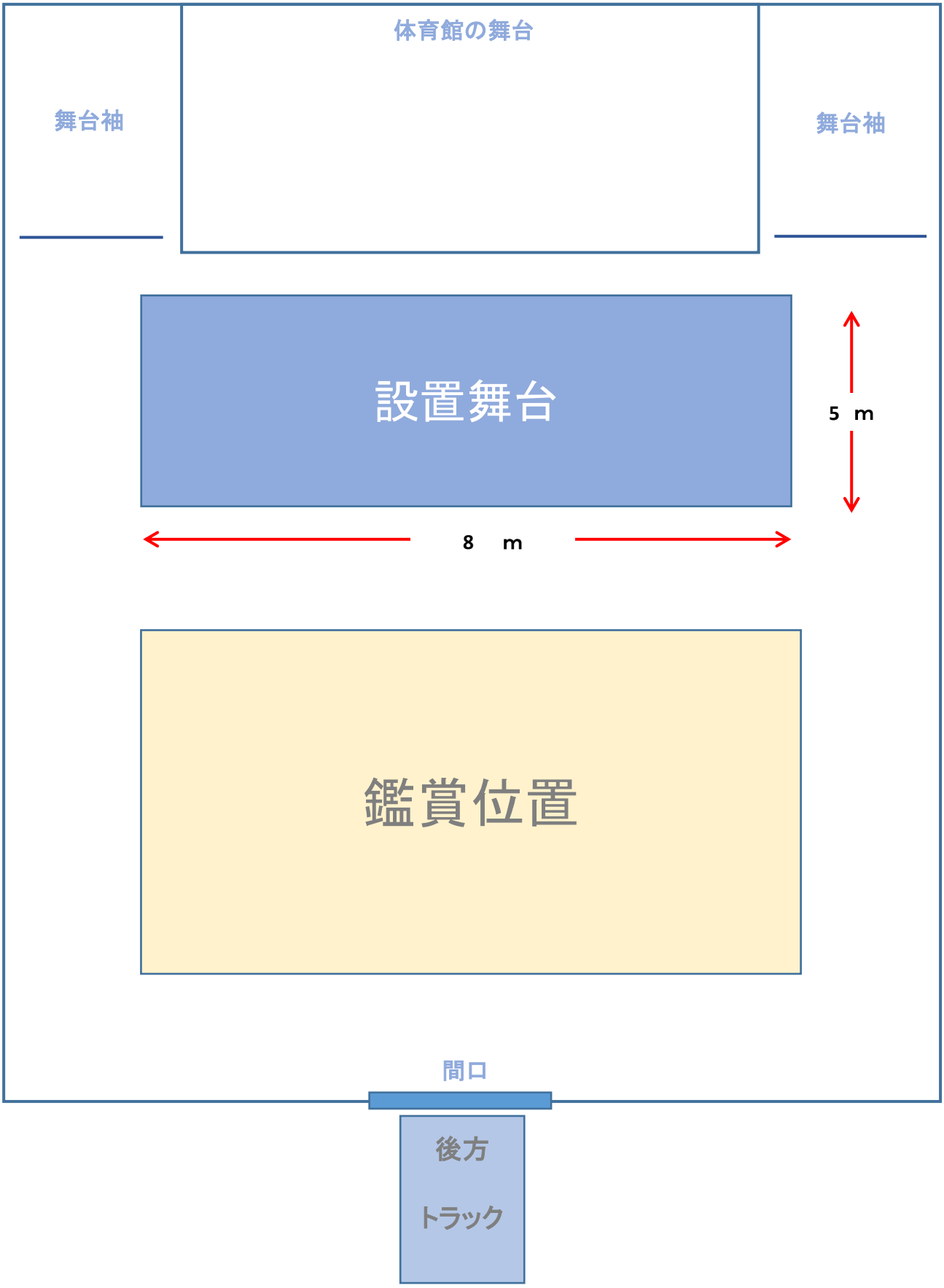
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	211	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	テレマン室内オーケストラ				制作団体名	一般社団法人　日本テレマン協会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	カーテンがあり（着替え用のため）、施錠できる（貴重品を保管するため）部屋を希望します。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			中型バス　2台		バン　1台		
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			バン				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			・出来る限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
	／	理由			チェンバロやティンパニといった、デリケートな大型楽器を搬入するため。				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m		高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数		1人～1000人					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊		なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		2校時（90分）程度					
本公演について	／	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		1人～1000人					
	可	舞台設置場所＊		フロア					
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	8m	奥行	5m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	袖に荷物が無い状態					
	―		緞帳＊	不要		バトン＊	不要		
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由				
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	―	公演に必要な電源容量		※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項								
	可	ピアノ用背付き高低椅子3脚							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

テレマン室内オーケストラ

Telemann Chamber Orchestra

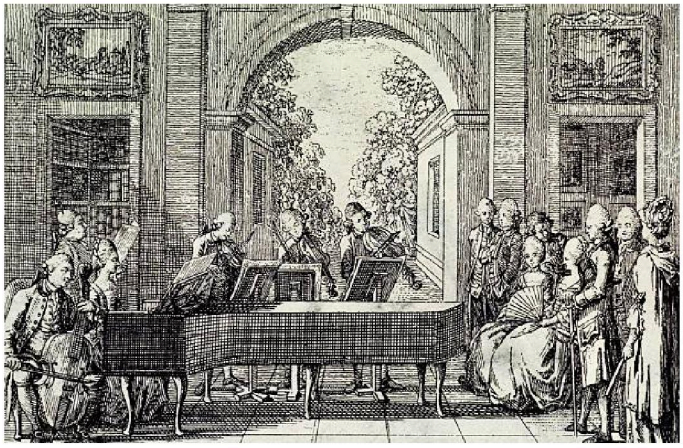
バロック音楽って何？？

「クラシック音楽」と一口に言っても、実はその中には「バロック」や「古典派」、「ロマン派」など、いくつかの種類があります。

「バロック音楽」は 1600 年頃から 1750 年頃までの時代に作られた音楽のことです。日本で言うと江戸時代の少し前から中頃までにあたります。代表的な作曲家は J.S. バッハ、G.F. ヘンデル、A. ヴィヴァルディ、G.Ph. テレマンなどです。

当時は今と違い、コンサート用のホールではなく、教会や貴族のお屋敷で演奏されていました。どういった時に演奏されたかというと、教会の儀式の時、貴族のパーティーや食事時などです。バッハやヴィヴァルディの作った音楽は、当時の人々の生活ととても深い関わりのあるものでした。

バロック時代より前は声楽 (歌) が主流でしたが、この時代にヴァイオリンやチェンバロといったたくさんの楽器が発達し、そのおかげで協奏曲やソナタといった器楽曲がたくさん生まれました。



宮廷での演奏の様子

楽器について

ヴァイオリンやチェロといった弦楽器はバロック時代に発達しました。木で出来た胴体には弦が 4 本張ってあります。弓には馬の尻尾の毛が張ってあり、そこに松脂を塗って、弦をこすって音を出します。ヴァイオリンが一番高い音を、チェロやコントラバスは低い音を、そしてヴィオラはその間の音を担当します。胴体の大きさはヴァイオリンが一番小さく、音が低い楽器になるにつれて胴体が大きくなります。

右の写真はチェンバロです。ピアノの先祖にあたる楽器です。よく見ると今のピアノの鍵盤とは白い部分と黒い部分が逆ですね。ピアノは弦をハンマーでたたいて音を出しますが、チェンバロは弦をはじいて音を出します。今のピアノと同じ原理で音を出す楽器が登場したのは、バロック時代が終わってからです。

ヴァイオリン属の楽器
（ヴァイオリン / ヴィオラ / チェロ / コントラバス）

チェンバロ

チェンバロの鍵盤

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，(オーケストラ等)，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　(あ り)・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

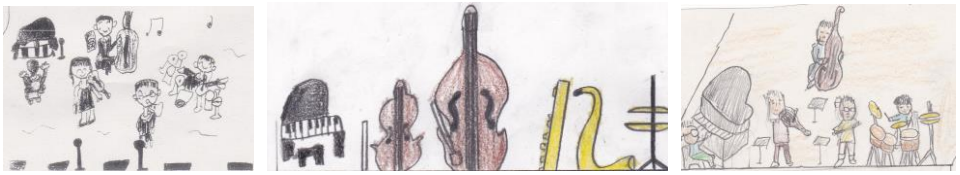
ふりがな 制作団体名	いまじねーしょんぷらすごうどうがいしゃ イマジネーションプラス合同会社		
代表者職・氏名	代表社員　持田幸枝		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒108-0074　東京都港区高輪 2-1-11-110 （最寄り駅：泉岳寺駅）		
電話番号	03-3445-5403	ＦＡＸ番号	03-6736-0320
ふりがな 公演団体名	ふるのーつ　うぃず　てらいなおこ　じゃず　くいんてっと フルノーツ with 寺井尚子　ジャズ・クインテット		
代表者職・氏名	バンドマスター　古野光昭		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒 同　上		
制作団体設立年月	2009 年　5 月 （任意団体は 1999 年 9 月から）		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	持田幸枝（代表）、 古野光昭、寺井尚子、 浅枝康彦（監査）	**公**演団体員他、ジャズミュージシャン 13 名、事務局とで構成され、顧問・古野光昭、寺井尚子の審査基準（音楽性、テクニック等）により、加入。	
事務体制の担当	(専任)・他の業務と兼任	本事業担当者名	持田幸枝
経理処理等の監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	前田縁

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">1999 年 ベースの巨匠といわれる古野光昭が、日本ジャズ界最強メンバーによるユニット「フルノーツ」を結成したことをきっかけに、任意団体を発足。
2007 年 音楽の素晴らしさ、ジャズの楽しさをより一層伝えるため、世界的に活躍するジャズ・ヴァイオリニスト寺井尚子をメンバーに迎え、子どもたちを対象としたジャズコンサートプログラム「子どものためのジャズコンサート」を開始。
2009 年 法人化。イマジネーションプラス合同会社となる。
2010 年 「子どものためのジャズコンサート」（於：六本木ヒルズアリーナ）を開催。以降、毎年同会場にて同イベントを開催。今年は 11 回目を迎える。（後援：文部科学省、外務省、東京都教育委員会 他、協力：NPO 法人キッズファン）同イベントは 2012 年から「子どものためのジャズコンサート&ソーシャル・カルチャー・フェスティバル」へと拡大し、「スポーツ・文化・ワールドフォーラム」（2016 年）「beyond2020」（2017 年～）の認証を得て開催。
現在 拠点である港区を中心に、コンサートや学校でのワークショップ等を精力的に行い、文化による社会貢献、また SDGs（持続可能な開発目標）を担うべく、大きな理想を持ち、活動を続けている。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">【文化庁巡回公演事業】
採択実績：平成 21 年度、平成 22 年度、平成 24 年度、平成 25 年度、平成 28 年度、平成 29 年度

【学校での公演実績】
足立区立保木間小学校、港区立御田小学校、港区立白金小学校、港区立本村小学校、港区立青山小学校、港区立南山小学校、港区立芝浦小学校、港区立麻布小学校、港区立白金の丘学園、港区立高輪台小学校、千葉県浦安市立日の出中学校、徳島市立国府中学校、徳島市立川内中学校、いわき市立平第三小学校、いわき市立錦小学校、田村市立瀬川小学校、田村郡小野町立小野新町小学校、いわき市立湯本第一小学校、角田市立枝野小学校、宇都宮市立姿川第一小学校、宇都宮市立国本中央小学校、狭山市立南小学校、日本大学習志野高等学校、福井県立金津高等学校 他多数

【その他】
「子どものためのジャズコンサート」（2010 年-2011 年）「子どものためのジャズコンサート&ソーシャル・カルチャー・フェスティバル」（2012 年-2019 年）
会場：六本木ヒルズアリーナ　後援：文部科学省、外務省、東京都教育委員会 他
※「第 11 回子どものためのジャズコンサート&ソーシャル・カルチャー・フェスティバル」は 2020 年 10 月 4 日に同会場にて開催予定。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">平取養護学校ペテカリの園分校、春日部特別支援学校、南那須特別支援学校
出雲養護学校、足利特別支援学校、くわな特別支援学校、中原養護学校、
清水特別支援学校、豊川特別支援学校</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>（有）・無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>（有）・無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ･クインテット 】

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生
企画名	**子どものためのジャズコンサート**
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	日本ジャズ界・実力ナンバーワンの一流の演奏家が集まり、子どもたちのために、心が躍る本物のジャズ音楽を届けます。美しい音色と共に広がる心地よいリズムとジャズならではの即興演奏による躍動感は、子どもたちの感性を刺激し、創造力・発想力を開花させます。 子どもたちの心に一生残る夢のようなステージを！ 想像をはるかに超えた、子どもたちが熱狂する感動プログラムです。 **▼内容** **【オープニング】**ジャズミュージシャンの紹介と呼び出し 【1】ジャズのスタンダードナンバー、わくわくする名曲でスタートします！演奏 **「A列車で行こう」　/作曲=ビリー・ストレイホーン** 【2】ジャズ特有のブルーノート音階で表現され、ＣＭでもお馴染みの曲です。演奏 **「モーニン」　/作曲=ボビー・ティモンズ** （リクエストにより「テイクファイブ」も対応可） 【3】楽器の紹介と、メンバーの自己紹介です。　トーク ＋ 演奏 また、その楽器を使って演奏します。(演奏曲は変更されることがございます)  ⅰ）テナー・サックス：主にメロディーを奏でる楽器です。日本で No.1 の実力を持つ、川嶋哲郎ならではの技術を使い、パーカッション風の音色、ロングトーン、高音から低音まで紹介します。 **「オーバー・ザ・レインボー」　/作曲=ハロルド・アーレン** ⅱ）ピアノ：お馴染みの楽器ですが、本名は「ピアノフォルテ」といいます。大きな音から、小さな音まで奏でられる楽器として、名づけられました。

卓越したテクニックを持つピアニストが、鍵盤をフルに使い演奏します。
「ワルツ・フォー・デビー」　/作曲=ビル・エヴァンス等

ⅲ）ウッドベース：弦楽器では一番大きな楽器で、クラシックでは「コントラバス」と呼ばれ、低い音を担当します。ワークショップでは、この楽器の体験機会があり、本公演時には子どもたちにとって馴染みのある楽器となっています。
「ゲゲゲの鬼太郎」　/作曲=いずみたく等

ⅳ）ドラムス：バスドラが大太鼓、スネアドラムが小太鼓にあたり、別々に演奏していたものを一人で演奏できるようにしたものが、ドラムスです。ジャズを演奏するために作られました。**マーチのリズムから、8 ビート、16 ビート等**、演奏しながら紹介します。

ⅴ）ヴァイオリン：世界で大活躍する寺井尚子が、ヴァイオリンの特徴を伝えます。普通に演奏したメロディーと即興演奏を、ヴァイオリンで弾き比べます。
「翼をください」　/作曲=村井邦彦　等

【4】音楽に種類があるようにジャズにも種類があります。**トーク（寺井尚子）** + **演奏**
寺井尚子が、ドラマチックにジャズの歴史を交えながら、ジャズのスタイルを話し、代表曲を演奏します。まるで映画のワンシーンを見ているような寺井尚子の語りは、ジャズの魅力を際立たせます。

ⅰ)デキシーランド・ジャズ
アメリカのニューオーリンズで自然発生的に誕生し、発達していきました。
代表曲　**「聖者の行進」　/アメリカ民謡**

ⅱ）スイング・ジャズ
労働者から誕生したジャズは、多くの人に受け入れられ、大編成（オーケストラ）で演奏することが主流になりました。クラシックしか演奏できないカーネギーホールでもジャズが演奏されたほど、広く普及していきました。
代表曲　**「シング・シング・シング」　/作曲=ルイ･プリマ**

ⅲ）モダン・ジャズ
本来の即興演奏が好きなジャズメンたちが､セッションをして進化させたスタイルです。高度なテクニックが必要となり、スピードも早くなりました。
代表曲　**「ドナ・リー」　/作曲=チャーリー・パーカー**

【5】**校歌**をジャズアレンジにして、子供たちに届けます。**演奏**
いつもの校歌が、全く別の音楽に変化して、ジャズの面白さを体感します。
驚きと感動が生まれます。

【6】**共演！！　コラボレーション！**　**ミュージシャン**　+　**子どもたち**
一流の演奏家と、子どもたちが、一緒に演奏できる素敵なプログラムです。
即興の技術を持つジャズ演奏家だからこそ可能な共演スタイルです。

ⅰ）ステージ下にスタンバイして、鍵盤ハーモニカまたはリコーダー等で、代表の子どもたちと共演します。
※学年の選抜、部活等、学校の希望に添い行います。2 団体まで可能です。
曲目：ラバーズコンチェルト、茶色の小瓶、ス・ワンダフル、ポップス、民謡等
基本的に、どんな曲でも、どんな楽器でも対応可能です。
本公演当日、各共演約 10 分間のリハーサルをお願い致します。

ⅱ）歌とのコラボレーション
一流の演奏家の音楽と共に、みんなで合唱します。
（今月の歌等、リクエストに応じます。どんな曲でも対応します。）

ⅲ）ジャズの名曲を、全校生徒と共演します。
「Cジャムブルース」　/作曲=デューク・エリントン
テーマが、「ソ」と「ド」だけでできている、簡単な曲です。
ワークショップで、耳で覚えて練習します。

本公演では、即興演奏も入り、本格的に、みんなで共演を行います。
＜小学生＞ミュージシャンが即興演奏を行います。
＜中学生＞生徒の希望者を募り、ミュージシャンと一緒に即興演奏を、行います。（先生の参加も大歓迎です）

ⅳ）ボディパーカッションを楽しみます。（手と足とかけ声を使います）
「テキーラ」　/作曲=ダニエル・フローレス
ワークショップで体験したボディパーカッションを参考に、本公演では、希望者がステージに上がり先導します。ラテンの曲ですが、途中で 4 ビートに変わり、メリハリのある楽しい編曲です。
★かけ声は、テキーラでなく、学校名をあてはめます。（例：入江小学校は「イリーエ！」、南月寒小学校は、愛称の「ナンツキ！」等）

【7】メドレー
子どもたちに馴染みのある、アニメの曲や映画音楽、ポップス等を中心に、ジャズアレンジにして演奏します。演奏
※学校のテーマソング、地域に根ざしている曲等、リクエストにも応じます。
ジャズという音楽の特性から臨機応変に対応します。

＜小学生＞
ⅰ）**「崖の上のポニョ」/作曲=久石譲**　（映画ジブリの名作より）
ⅱ）**「となりのトトロ」/作曲=久石譲**　or

「夢をかなえてドラえもん」/作曲:黒須克彦

iii）「パプリカ」/作曲=米津玄師　等、旬な曲。

iv）「星に願いを」/作曲=リー・ハーライン

（ワークショップで学習したファースト 4 ビートで演奏します。ジャズのリズムにのって手拍子をしましょう。）

v）「ルパンⅢ」/作曲=大野雄二（ジャズミュージシャン作曲のアニメ曲です）

＜中学生＞

ⅰ）「ミッション：インポッシブル」/作曲=ラリ・シフリン

（映画：スパイ大作戦）

ii）「ＹＥＬＬ」/作曲=水野良樹 or「奏」/作曲=常田真太郎 or

「愛をこめて花束を」 作曲/多保孝一（感謝を表現した曲を選択）

iii）「ボレロ」作曲/ラヴェル

（クラシック曲もジャズアレンジにして届けます）

iv）以降は、上記と同じ、又はリクエスト曲

【8】サンバのリズムは、自然に身体が動きます。 演奏+ 子どもたち

有名なサンバの曲です。ワークショップではサンバのリズムも学習します。

「オルフェのサンバ」 /作曲=ルイス・ボンファ」

★曲中で、ドラムスがリズムの先導を行い、子どもたちが聞き取ったリズムを手拍子できざみます。2 小節ずつのリズムの掛け合いです。マラカスでの参加も募ります。

【9】寺井尚子が、チック・コリアの名曲を演奏します。繊細でもの悲しく、かつエキサイティングに子どもたちを魅了します。演奏

「スペイン」 /作曲=チック・コリア

【アンコール】 演奏

日本だけでなく、世界中で愛されている名曲です。

簡単な振り付けをワークショップで行い、一緒に踊ります。

「上を向いて歩こう」 /作曲=いずみたく

公演時間（90 分） ※休憩を入れると 100 分程度。

途中で一度休憩を入れる予定です。休憩時時間等、ご相談させてください。

【5】～【6】の間、5～10 分程度希望します。

著作権	○	制作団体が所有 （企画と概要　登録番号 第 35216 号の 1）	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる（曲目）	○	（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要	ジャズ特有のインプロビゼーション（即興）とアンサンブルという演奏スタイルには「個性」と「協調」が共存しており、多様性を求められる一方で多種多様な文化の受容が必要とされる時代に、子どもたちにぜひ体験していただきたい音楽です。そして、なによりも、大人であってもめったに体験できない、ハイレベルなパフォーマンスは圧巻で、子どもたちを魅了します。 また、このプログラムは、文化庁主催「文化芸術による子供育成総合事業」の目的に忠実に沿った内容の公演です。 1）一流の文化芸術団体による公演 日本のジャズは、世界の中でも特に質が高いと評価されています。その日本ジャズ界において各楽器部門の実力一番であり、他のジャズ演奏家の追随を許さない古野光昭（ウッドベース）、寺井尚子（ヴァイオリン）、川嶋哲郎（テナーサックス）が中心となり、若手実力一番と言われる菊池太光（ピアノ）、小松伸之（ドラムス）が加わるという、ジャズを知る人であれば垂涎のメンバーで結成されました。これ以上のメンバーでの子どもたちを対象としたジャズのプログラムは他にはないでしょう。子どもたちのために決して手を抜かずにステージを展開する姿勢は圧巻です。 2）文化の担い手となる子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成 曲間でお互いコミュニケーションを取りながら、会話のようにその場で音楽を創り演奏する即興演奏が取り入れられているジャズは、数多くある音楽ジャンルの中でも、特に発想力・コミュニケーション能力が必要とされる音楽です。ワークショップ、本公演での鑑賞・共演を通して、発想力・コミュニケーション能力の大切さを体感し、能力を育成します。 3）芸術家の育成 「小中学校の時代に経験したかった」「小中学校時代にこの公演を聞いていれば、音楽の道に進んだと思う」という、大人たちからの感想を数多くいただいています。一流のミュージシャンとの共演体験は、音楽の道を志すきっかけともなりえます。最高の感動体験をすることがきっかけとなり、その道を極めることがありますが、この演目は、その人生の重要な決定に値する充実したプログラムであり、一流の演奏家の技術と思いがつまっています。 4）芸術鑑賞能力の向上 ジャズは、アメリカ発祥の文化であると同時に、様々なジャンルの音楽や楽器と融合できる可能性を持つという特性を持ちます。このようなジャズ音楽を通して、学校で必須学習とされるヨーロッパのクラシック音楽だけでなく、様々な国の音楽や文化への興味を喚起し、多様な文化への理解を深めることで、芸術鑑賞に必要な心のアンテナを広げます。 また、質の高い音楽による感動経験をとおして、子どもたちの生活の一部に音楽が加わることにつながり、他の音楽や舞台への関心を高める可能性も大きくなります。 下記は、元文化庁長官、現・新国立美術館館長である青木保氏に、教育におけるジャズ音楽の重要性を、弊団体の活動に寄せて寄稿頂いたものです。 「フルノーツ・フォー・キッズ」　CD　ライナーノーツ推薦文より -----

「（前略）…ジャズ音楽は、即興演奏のすばらしさとそれぞれの楽器を奏でるプレーヤーたちが対等に演奏をしあいながら、全体としての音楽を構成していくプロセスが、聴いているひとたちに他の音楽にはないような解放感と感動を与えます。そこでは音楽における創造的な力の躍動が直接伝わってきます。…（中略）…

私は、21 世紀日本の教育にとってもっとも必要とされることの一つは、生徒たちの創造力をいかに養うか、生徒たちから創造する力をいかに引き出すかにあると考えています。そのために「文化芸術」教育は絶対に欠かせません。オバマ大統領も大統領選挙に出た際のマニフェストで、グローバル化する世界で競争に打ち勝つためには「創造力」の養成が必要になると主張して、学校教育における「芸術教育」の重要性を強調していました。芸術を知ることによって創造性に目覚めさせる。直に芸術作品や音楽演奏に接するだけでなく、子供たちがデッサンをし、楽器を鳴らし、何かを創り出す。こうした作業が創造性を刺激し、活性化する。「文化芸術」教育の重要性に関しては日本の教育にはいまだ理解が少なからず欠けている面が目立つことも事実ですが、「文化芸術」による「創造力」の開発は大きな教育の課題だと思います。

こうしたことを考えますと、「文化芸術」教育の一環として「ジャズ音楽」が重要なのは、これまで述べたジャズ音楽のもつ自由な形式、即興性を重んじ、対等な演奏の交換を楽しむ、その「創造力」の活性化作用にあると思うのです。子供が、生徒が、ジャズ音楽に接し楽しみ即興性のもたらす創造作用をどこかで受け止める。ジャズ音楽の自由さや即興性、対等性といっても、それは勝手に気ままにやるといったことでは決してなく、あくまでもジャズという音楽の性格と枠組みを十分理解したうえでのこと、その中での創造性の発展のためなのです。ジャズ音楽はグローバル化し、今や世界のどこでも演奏されているといってもよいでしょう。私はジャズ音楽が教育においても大きな役割を果たすことのできる文化芸術の一分野であると強調したいと思います。

下記は、実施校の先生方からのメッセージの一部です。

- 日本を代表する方々が集っての奇跡のコンサートが我が校で開催されたことを本当にありがたく思います。子ども達のきらきらした瞳、笑顔、嬉々として飛び跳ねる姿は、まさに演奏してくださった方への憧れであり、驚きであり、賞賛であったと思います。多くの子ども達にとっては、初めて出会った「ジャズ」、迫力ある演奏に圧倒され、すばらしい音色に心癒され、一緒に共演できたことの嬉しさに「一生の思い出ができた」との感想もありました。自分達が日頃練習している鍵盤ハーモニカやリコーダーでの演奏に、「同じ楽器なのにどうしてあんなにきれいに鳴るの？」「自分も上手になりたい」など音楽のおもしろさを体感し、興味が湧き、思わず体が動き出してしまうほど楽しく、あっという間に終わった公演でした。
- 贅沢な時間を過ごすことができ、その質の高さに圧倒され続けました。生徒たちにとっては、生でその演奏に触れることができ音楽の持つ（本物の持つ）力を感じ取ったことだと思います。そして、ただ聞くことだけではなく、全校生徒と色々なで共演時間を持ってもらい、コミュニケーションをさせてもらい、さらに音楽の力を知ることができたのではないかと思います。
- ジャズという大人が好む音楽を子供たちがどのように感じるかとても楽しみにしていました。想像以上に子供たちの輝く目をみて、この芸術鑑賞を選んで本当に良かったと思いました。本物の演奏を間近で見ることができたことやアーティストの方たちが楽しく演出して頂いたおかげだと心から感謝しています。そして、今では、昼放課になると放送委員が自主的にジャズの音楽を流しながら過ごす小学校になりました。

演目選択理由	★小学1年生でも、最後まで夢中になって楽しめる構成としました。 （番号はプログラム番号に対応しています。） 【1】「A 列車で行こう」スタートの曲は、楽しく、躍動感あふれる、最も有名なジャズのスタンダード曲を選びました。子どもたちがワークショップで覚えた、ジャズ特有のアフタービートの手拍子を誘導でき、元気よく期待感に胸を膨らませて始まります。 【2】「モーニン」ジャズ特有のスケール「ブルーノート」を使った代表曲を演奏します。CM でお馴染みの曲です（希望があれば「テイクファイブ」でも可)。公演前半は、演奏者の音楽性とテクニックが伝わるように、ジャズのスタンダート曲を続けて演奏し、ジャズのビートをしっかり感じとります。 【3】楽器紹介は、子どもたちが、演奏してみたいと好奇心を持つよう、演奏者各自が親しみやすく解説し、楽器の特徴を生かしたポピュラーな音楽を演奏します。 【4】ジャズの種類について、楽しくわかりやすく解説します。デキシーランド・ジャズ、スウィングジャズ、モダン・ジャズと、ジャズには色々な種類があり、歴史とともにリズムやメロディーも少しずつ変化していくことを伝えて、代表曲を演奏します。また、どの音楽のジャンルにも、歴史と種類があることを伝え、音楽に興味関心を持つことも目標としています。 【5】校歌をジャズアレンジして演奏します。いつもの校歌が、ジャズならではのリズムの変化や即興演奏を交えた編曲で、まったく違う楽曲に聞こえる、驚きと感動のプログラムです。校歌がこんなに素敵な曲だと思わなかった、ジャズに変化すると違う曲に聞こえる等、音楽に好奇心を持つ、大きなきっかけになっています。先生方の感動も大きく、演奏したものを録音し、プレゼントしています。 【7】共演は、子どもたちにとって、最も思い出に残るシーンです。一流のミュージシャンと一緒に演奏できる機会は貴重であり、できるだけ多くの子どもたちが、演奏家を身近に感じることができる時間を持ちたいと考え、4つのプログラムを準備しました。できるだけご希望に添えるよう、学校とご相談しながら行います。 【8】「メドレー」子どもたちの馴染みのある曲を演奏します（約 5 曲)。どんな曲でもジャズになるというジャズ音楽の特性を生かし、子どもたちに親しみのある曲を演奏します。曲目は公表せず、わくわく感を誘います。自由に歌ったり踊ったりできる魅力的な曲を選び、リクエスト曲も受け付けて構成します。 【9】ジャズのスタンダードとして演奏されることが多いサンバを選曲しました。途中で、ドラムスが、わかりやすいリズムを先導し、子どもたちが真似をして手拍子します。音楽に合わせて身体をうごかすことが気恥ずかしい年頃の子どもたちにも、自然に参加してもらえる工夫をしています。 【10】「スペイン」ピアニストであるチック・コリアの名曲ですが、ジャズ・ヴァイオリン奏者・寺井尚子をフューチャリングして演奏します。寺井尚子の演奏する「スペイン」を聞きたい音楽ファンが数多いことも有名です。鳥肌が立つほどの感動をおぼえます。「アランフエス協奏曲第2楽章（アダージョ）/作曲・ホアキン・ロドリーゴをイントロとして用い、その後は一転アップテンポになる非常にエキサイティングな楽曲です。

	【アンコール】「上を向いて歩こう」常に好きな歌の上位にランキングされ、日本人が親しみを感じ海外でも有名な名曲です。(ご希望により臨機応変に対応します。)
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	下記の４つの形態で共演・参加・体験をします。 1) 親しみのある楽曲を準備してもらい、希望者（各学年、クラス、吹奏楽部など）と、演奏家との共演を行います。(約 50 名まで対応可能) ●ワークショップでも、共演をしてリズムが加わることで音楽がより楽しく感じることを学習しますが、本公演では、本格的なコンサートで共演するわくわく感を味わいます。 ●本公演の前に、10 分程度のリハーサルを行います。プロの演奏家が、即興でリズムやメロディーを加えていくテクニックを、間近で体験することができます。これは、一般の音楽関係者でも驚くような、弊団体の演奏家の技術と音楽性から可能な形態であり、子どもたちに大きな刺激を与えます。 2) 歌の共演を行います。(全校児童、全校生徒) ●歌を共演します。日常のピアノ伴奏の合唱でなく、ヴァイオリン、ベース、ドラムス等を加えた音楽を聞きながら声を出すことで、歌う楽しさをさらに感じます。 3) ジャズスタンダード曲の共演　(全校児童、全校生徒) ●全員で共演する「Ｃジャムブルース」は、「ソ」と「ド」だけでできたシンプルな曲です。簡単でありながら音楽として素晴らしく、みんなで演奏すると、もっと楽しいということを学びます。 ●即興を入れて共演し、サックス奏者・川嶋哲郎も、リコーダーや鍵盤ハーモニカを使って参加します。身近な楽器によるアドリブに驚かされます。 4) ボディパーカッションとかけ声を交えたコラボレーションを行います。(全校児童、全校生徒) ●吹奏楽部でも人気のある「テキーラ」というラテン曲です。子どもたちが、ボディパーカッションを使ってリズムを感じながら共演します。ラテン曲ですが、途中でジャズのリズム「4 ビート」に変化します。かけ声は、「テキーラ」でなく、学校名とします。またワークショップで行った内容を参考にして、希望者が、ボディパーカッションを創作し、本公演では、ステージに上がってみんなを先導します。アンコールで「テキーラをお願いします」と声がかかるほどの人気プログラムです。 ↑　共演（1） ↑　共演（4） ※本公演終了後、出演者と一緒に記念撮影も可能です。お声かけください。

<table>
<tr><td rowspan="6">出　演　者</td><td> </td><td>古野光昭（ウッドベース・バンドマスター）

東京音楽大学卒業。NHK 交響楽団元首席・檜山薫氏に師事。
その後、渡辺貞夫、本多俊之、阿川泰子グループ等のレギュラーを歴任し、久石穣ワールドドリームオーケストラ（新日本フィル）のツアー、レコーディングにも参加。日本ジャズ界最強ユニット「フルノーツ」を結成し、秋吉敏子、山下洋輔、小曽根真等、多くの演奏家とセッションを重ねる他、寺井尚子と共に、子どものためのジャズコンサートのバンドマスターとして、子どもの情操教育に力を注ぎ、NPO 法人キッズファンの理事も務めている。ベースの巨匠とよばれる、日本を代表するベーシスト。</td></tr>
<tr><td> </td><td>寺井尚子（ヴァイオリン）

世界で大活躍するジャズ・ヴァイオリニスト。
4 歳よりヴァイオリンを始める。
「平成 21 年度文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞（大衆演芸部門）」南里文雄賞受賞（2008 年）、ジャズディスク大賞（日本ジャズ賞）等受賞歴多数。また、8 代目キャラクターとして「金鳥の渦巻」CM に出演。現在は、演奏曲が起用されている。BS-TBS「映画の時間＋気ままにディレクターズカット」のパーソナリティ等、メディアへの出演も数多く、幅広い活動を展開している。</td></tr>
<tr><td> </td><td>川嶋哲郎（サックス＆フルート）

名実ともに日本でナンバーワンのテナー・サックス奏者。
スイングジャーナル誌（現在廃刊）の読者人気投票では、毎年第一位を独占し続けた。2007 年～2010 年まで、JazzLife 誌にて、「わがままサックス哲学」を連載、現在は「気ままにジャズエチュード」を連載中。洗足学園音楽大学講師。日本を代表するサックス奏者であり、現在は、右にでるものはいない実力者と認知されている。フルート演奏も得意としている。</td></tr>
<tr><td> </td><td>菊池太光（ピアノ）

小学生の時からクラシックピアノを始め、高校時代に聴いたオスカーピーターソンのアルバムに影響され、ジャズピアニストを志す。現在は岡崎好朗カルテット等のレギュラーと、自己のトリオで大活躍中。若手トップピアニストと高く評価されている。</td></tr>
<tr><td> </td><td>小松伸之（ドラムス）

音楽性の高いドラマー。迫力のあるリズムから、繊細な曲までこなすやさしさ溢れるドラミングが特徴。ベテランのジャズマンから一目置かれ、引っ張りだこのドラマーである。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※ピアニストは板垣光弘、ドラムスは小山太郎との交代制になります。</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出　演　者：　5 名
ス タ ッ フ：13 名
合　　計：18 名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積 載 量　3t ロング
車　　長　5m
台　　数　1（3t ロング）+ 1（小）合計 2 台</td></tr>
</table>

【公演団体名　フルノーツ with 寺井尚子 ジャズ･クインテット 】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ (無)) 会場設営の所要時間（4時間程度 ）
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>8時</td><td>8時～12時
リハーサル含む</td><td>13時半～
15時10分</td><td>10分</td><td>15時10分～
17時30分</td><td>17時30分</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。
子どもたちとの共演のためのリハーサルは、11：00～12：00を予定していますが、本番前であれば、臨機応変に対応いたします。本公演は移動等の都合上、午前開催は難しく、午後開催でお願い致します。(特別支援学校の場合は、ご相談ください)</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>
<table>
<tr><td>ワークショップ</td><td>1名～2000名</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>1名～2000名</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>ワークショップを実施することにより、本公演でよりジャズ音楽に親しみ、メロディーとリズムを自然に楽しめるようなります。参加型かつ、アーティストと子どもたちとの共演を中心としたプログラムとし、小人数～全校児童生徒対応可能です。ワークショップのみでも、ジャズを理解しリズムを感じることができるようになれるほど、充実した内容です。

▼実施形態
主指導者：古野光昭（バンドマスター・ベース)、ピアニスト 他3名
合計5名で実施

▼内容
【1】ジャズという言葉を知っていますか？
音楽には、クラシック、シャンソン、ポップス、民謡等、たくさんの種類があり、ジャズは、音楽の種類のひとつだということを伝えます。
ジャズの特徴を理解するために、馴染みのある曲を使って、普通の演奏とジャズアレンジで演奏したものを比べます。(曲目例：「ドレミの歌」「きらきら星」等)

【2】ミュージシャンが、音楽を好きになったきっかけ、ジャズの魅力を、自己紹介を交えながら話します。

【3】希望者を募り、子どもたちに前に出てもらい「ねこふんじゃった」「エリーゼのために」等をピアノで弾いてもらいます。共演可能な場合は、子どもたちの演奏にミュージシャンが加わります。また、ベートーベン作曲の「エリーゼのために」が編曲されたものとして、「情熱の花」を演奏します。

【4】ジャズの手拍子の取り方を指導します。
リズムには、表の拍と裏の拍があります。一般的な曲は、表（オンビート）に拍子をとりますが、ジャズは裏（オフビート）が基本です。</td></tr>
</table>

【5】ジャズの曲「A列車で行こう」を演奏します。【4】で練習した手拍子にチャレンジします。

【6】子どもたちの演奏に、ミュージシャンがリズムをつけます。
あらかじめ、音楽学習で練習している曲を準備していただき、子どもたちのリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の普段どおりの演奏に、演奏家がバッキングで加わります。同じ演奏でも、ジャズのリズムが加わったことで、音楽がとても生き生きすることを体験します。曲目例：ぶんぶんぶん、きらきら星、パフ、ラバーズコンチェルト等。
学年単位でも、全員演奏でも対応可能ですが、子どもたちは、演奏することで精一杯な場合があり、可能であれば2曲以上準備して、お互いに聴いてみると効果的です。

【7】「ウッドベース」の楽器紹介と、演奏を体験します。
・ウッドベースの特徴を伝えます。
クラシックでは「コントラバス」と呼び、弦楽器では一番大きな楽器であること、ジャズでもクラシックでも、一番低い音を担当し、クラシックでは、アルコ（弓）を使って演奏することが多く、ジャズでは、ピチカート奏法を多く使用すること等を伝えます。
・開放弦を使って、「聖者の行進」を演奏します。
ベーシストが見本を見せて、子どもたちから希望者を募り、ピアニストと共演します。3~6名を予定していますが、大人気のコーナーですので、体験できなかった子どもたちには、休憩時間に楽器を触る機会を設けます。

【6】

【7】

【8】本公演で共演するジャズの曲「Cジャムブルース」を練習します。
「ソ」と「ド」だけを使ったテーマの簡単なメロディーを、耳で聴いて覚えます。全員に、鍵盤ハーモニカまたはリコーダーを持参いただき参加をお願いしています。ワークショップ時の練習で、ほとんどの子どもたちが演奏できるようになります。

【9】ジャズの特徴である即興演奏について
即興演奏は、楽譜などにたよらず、その場で作曲や編曲をして演奏する手法であり、ジャズの演奏家は、即興演奏をしたいがために、ジャズ理論を勉強し努力していることを話し、実演しながら、即興の楽しさを伝えます。
<中学生の場合>ジャズ特有のスケール「ブルーノート」について、簡単に実演し説明します。本公演での、即興演奏の希望者も募り、本番で行えるよう指導します。

【10】リズムの種類によって、曲が変化することを体感します。
「星に願いを(映画ピノキオのテーマ曲)」を使って、リズムを変えて演奏します。
① ノーマル ②4ビート ③ワルツ ④サンバ ⑤ファースト4ビート

	⑥ ８ビート（ジャズロック）等 ⑤の早い４ビートでのオフビートの手拍子は難しいですが、本公演でもリズムにのれるように曲の変化を楽しみながら練習します。 【11】ボディパーカッションを練習します。 ２つに分かれて、それぞれのリズムのパートを練習します。 「テキーラ」というラテン曲を使用します。かけ声には学校名をあてはめて、練習します。ラテンのリズムから、4 ビートに変化して、最後にかけ声という、とてもノリの良い曲です。ワークショップを参考にして、ボディパーカッションを創作し行う希望者を募ります。希望者は本公演の際にステージに上がり、皆を先導します。 【12】質問コーナーを設けます。 【13】「セント・トーマス/作曲 ソニー・ロリンズ」「イズント・シー・ラブリー/作曲 スティービー・ワンダー」等、ノリの良い曲を演奏し、みんなで体を動かし、リズムにのって楽しむことを体験します。マラカスのリズムの取り方も指導し、希望者を募り、ステージ前で鳴らします。
ワークショップ実施形態の意図	●ジャズに親しんでもらうために、盛りだくさんの体験プログラムで構成しています。 ●体験プログラムを通じて、ミュージシャンとのコミュニケーションが深まり、音楽への関心、本公演への期待度も高まります。 ●過去の実施校の校長先生から、「ワークショップだけでもすでに完成形で、素晴らしくて、もうこれで終わりでもいいと思っていました」という声を頂くほどの充実した内容で、このワークショップを体験することで、公演をさらに楽しむことができます。 それぞれのプログラムの意図は以下のとおり。(番号はワークショップのプログラム番号に対応しています。) 【1】ジャズは音楽のひとつの種類であり、どんな違いがあるのか、身近な曲を聴き比べ、メロディーがリズムにのることで、音楽が楽しくなるという実感がうまれます。 【2】子どもたちが、音楽に興味を持つきっかけづくりのひとつとして、自己紹介を含めて話します。 【3】「ねこふんじゃった」を、前に出て弾いてみたい！という希望者を募ることで、会場が沸き、固さがとれて、急に和やかになる、大切なプログラムです。 また、過去に「エリーゼのために」が編曲されて歌謡曲として流行ったことも、曲を演奏して披露することで、子どもたちの音楽への興味が高まります。 【４】【5】アフタービートの手拍子の練習では、音楽にのって手拍子できるように、ジャズのリズムを体で感じることを目標にします。 【6】普通のメロディーを演奏しているのに、ジャズを演奏しているかのように、音楽が変化するのを体験します。聴いている子どもたちも、リズムが変わると音楽が魅力をましていくことを、実感します。ジャズならではの、コラボレーションです。

	【7】楽器に興味を持つことを目指しています。大人でも触れる機会が少ない、コントラバスの演奏体験機会を作り、大きな弦楽器に興味を示した子どもたちから、毎回、演奏の立候補の手がたくさん挙がります。休憩中には、ほとんどの子どもたちが楽器体験のために列を作ります。 【8】共演する楽しさを実感してもらいます。楽器を使って全校で同じ曲を演奏する機会は少なく、さらに、ミュージシャンとのコラボレーションできる、貴重な機会となります。即興演奏の時は、テーマは演奏せずそれぞれの即興演奏を聴き、最後に再びテーマを一緒に演奏するという、ジャズの音楽の構成も学習します。ワークショップではみんなで和やかに共演することを楽しみ、本公演ではプロの演奏に子どもたちが入っていくワクワク感を体験します。ワークショップでの練習をとおし、自分たちも本公演に参加する一員だということを自覚し、モチベーションを高めます。 【9】即興演奏は、ジャズの大きな特徴であることを学習し、ミュージシャンの瞬発的な創造力に、刺激をうけます。 【10】メロディーの即興だけでなく、自由にリズムも変えていく即興を体験します。これは、同じ曲でも、リズムが変わるだけで、まったく印象の違う曲に変化する面白さを実感します。 【11】リズムのコラボレーションは、音楽の楽しさを増し、最後のかけ声で、さらに気持ちも高揚していきます。音楽の楽しみ方のひとつとして取り入れます。 【12】Q&A は、ミュージシャンとのコミュニケーションの機会として取り入れます。 【13】ワークショップを通じて、たくさんのリズムを体感したことで、曲に合わせて、自然に、からだが動くようになります。それを、そのまま表現する楽しさを経験し、音楽を大好きになるきっかけを作ります。
特別支援学校での実施における工夫点	先生方と、密に連絡を取り合い、ご相談しながら進めていきます。 ⅰ）ワークショップ、本公演において、ご希望があればお伝えください。 ⅱ）ミュージシャンの話の長短、演奏曲目のリクエスト、楽器が得意な子供との共演曲目のリクエスト等、詳細に打ち合わせます。 ⅲ）「Ｃジャムブルース」等の共演形態については、 ① 楽器が得意な子供 ② 楽器に興味があるがうまく演奏できない子供 ③ リズム楽器を楽しく演奏する子供 ④ 楽器演奏が難しい子供 を把握させてください。 ワークショップ時には、①②の子供たちには、ミュージシャン、指導者が、鍵盤ハーモニカ等を使って丁寧に指導し、その指導風景を、③④の子供たちが、飽きずに見守れる工夫をします。リズム楽器も使用します。 本公演の時には、演奏できるようになり、前に出て演奏したいという積極的な子供たちがいれば、工夫しながら共演します。 ⅳ）ワークショップ時には、楽器に触れる、質問コーナーを充実させる等、できるだけミュージシャンとコミュニケーションがとれるように、工夫します。 ⅴ）ワークショップ、本公演共に、音量や照明に関して、適度な状態をご相談させていただきます。確認の時間を設けますので、ご相談ください。

実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

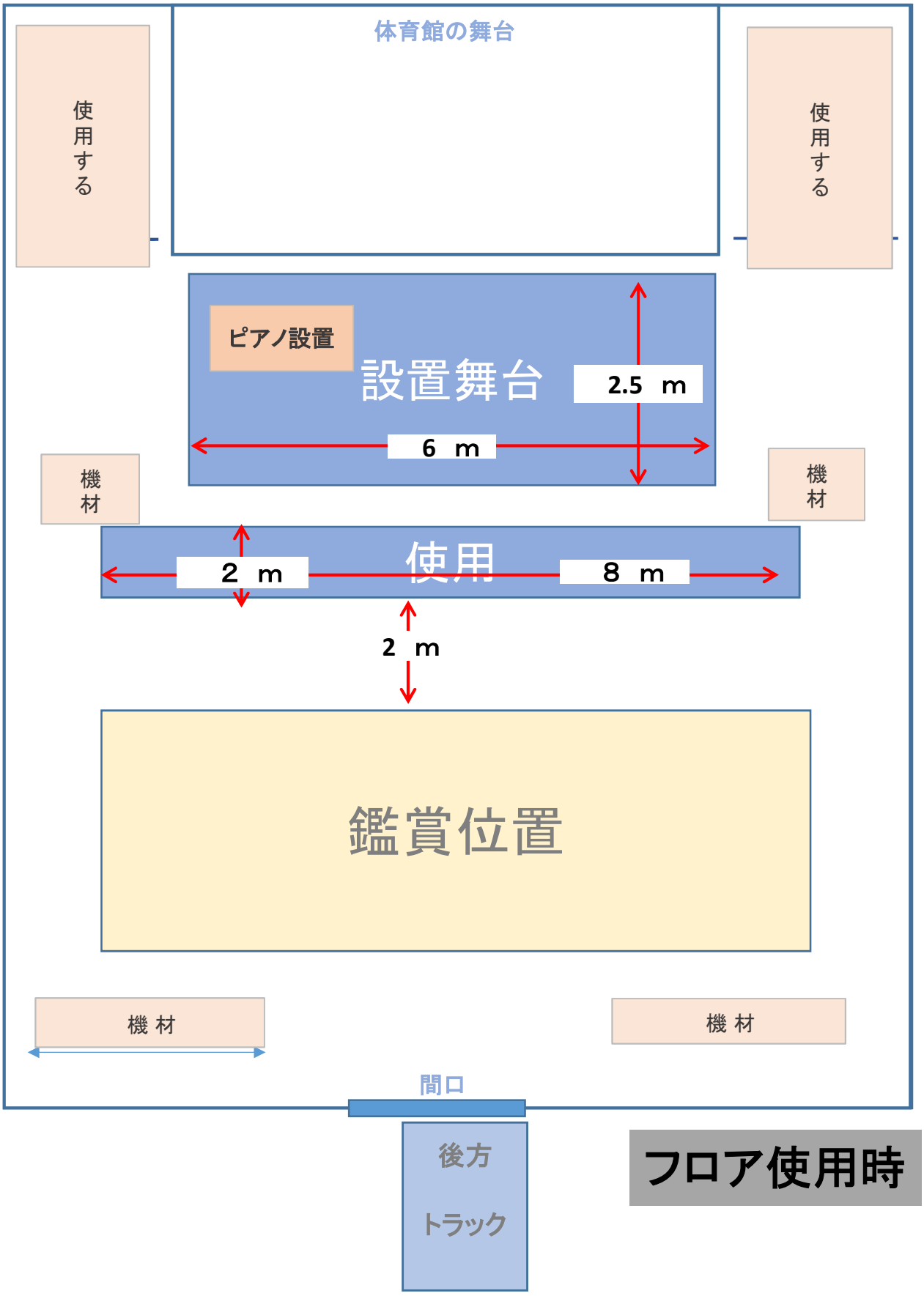
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	222	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	フルノーツ with 寺井尚子　ジャズ・クインテット				制作団体名	イマジネーションプラス　合同会社			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	女性1名着替え用（狭くてOK）他メンバーの控え用				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			3tトラック　1台	バン　1台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			車両全長4,690mm、全幅1,695mm、全高1,975mm				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			会場が2階にある場合は、エレベーターが必修。階段不可				
		理由			重たい機材が多く、搬入が難しいため。				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.5m	高さ	2.2m			
WSについて	可	参加可能人数		1～2000名					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		授業をつかって90分　先生、代表者の指導40分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		1～2000名					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	6m	奥行	2.5m	高さ	3m	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	待機スペース　夏は扇風機 冬はストーブをお願いしたい					
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由	暗幕希望の場合は対応します			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	可		ピアノの事前調律＊	要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		60A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	可	公演は、舞台でもフロアでも対応しますが、人数が多い学校様は、舞台をご選択いただきたく存じます。							
	可	また、舞台の前にある舞台スペースは、子供たちの共演スペースになります。(幅8m×奥行2m)							

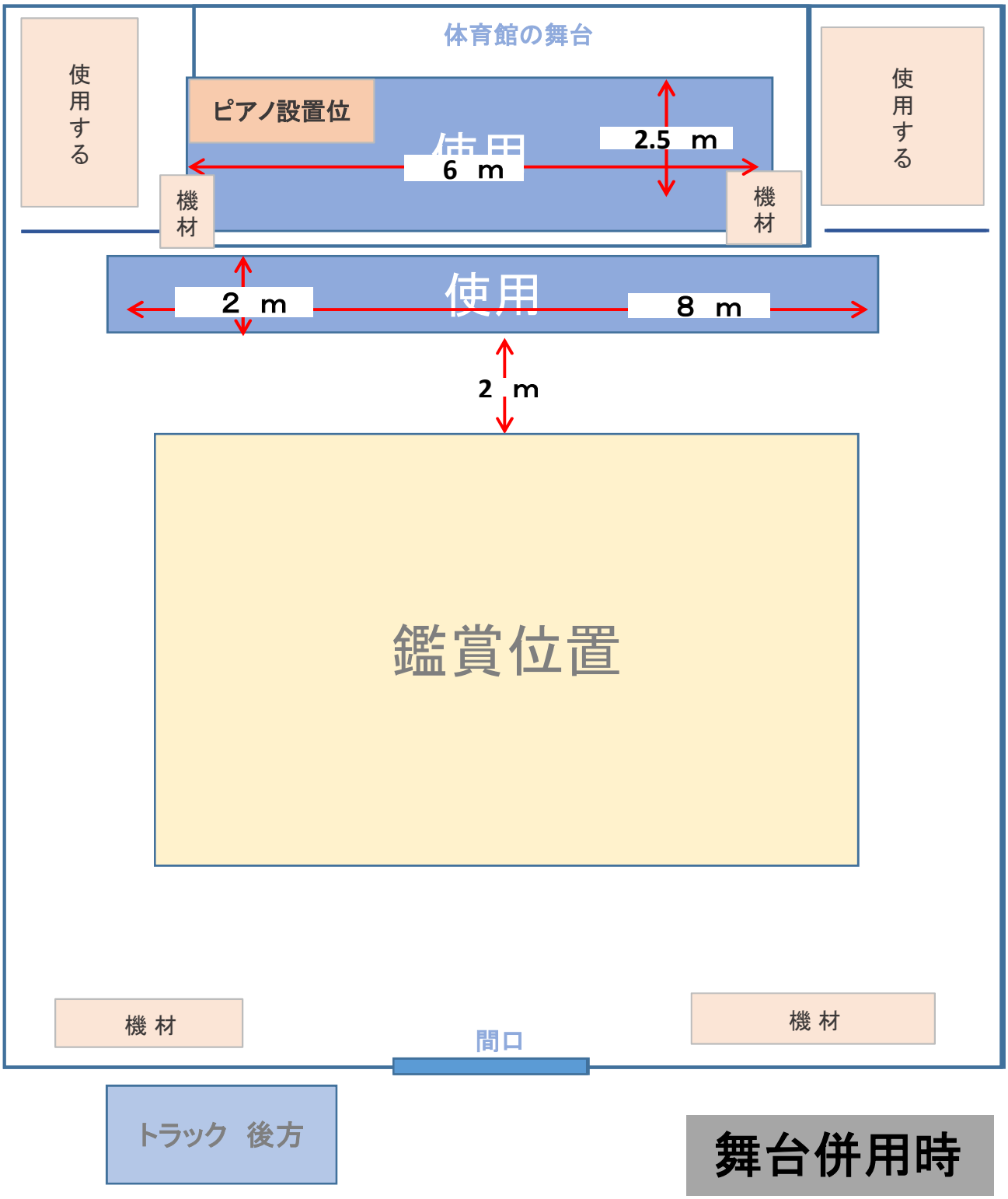
会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2.2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面(表記単位:メートル) ★ 舞台時



搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2.2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

プログラム

❶「A列車で行こう」作曲:デューク・エリントン
ジャズではよく演奏される曲（スタンダードナンバー）のひとつです。
ニューヨークの地下鉄A列車を題材に作られました。

❷「モーニン」作曲:ボディ・ティモンズ
ジャズでは、もっとも特徴のあるブルーノート（クラシックにはない、ジャズ独特の音階）で表現されていて、コマーシャルにもよく使われる人気の高い曲です。

❸ジャズの種類について
- ●デキシーランドジャズ　「聖者が町にやってくる」（アメリカ歌曲）
- ●スウィングジャズ　「シングシングシング」　作曲:ベニー・グッドマン
- ●モダンジャズ　「ドナ・リー」　作曲:チャーリー・パーカー

❹メンバーによる楽器の紹介～自己紹介も兼ねて
テナーサックス、ピアノ、ベース、ドラム、バイオリン

❺「校歌」ジャズアレンジして演奏します。

休憩

❻共演しましょう!
- A 代表のみなさんとのコラボレーション
- B「Cジャムブルース」　作曲:デューク・エリントン
- C「テキーラ」　作曲:ダニエル・フローレンス

「Cジャムブルース」
テーマが「ソ」と「ド」でできていて、リズムも覚えやすい楽しい曲です。みんなで一緒に演奏しましょう。

「テキーラ」
ボディーパーカッションを楽しみましょう。

❼メドレー　皆さんのリクエスト曲を集めました。

❽「オルフェのサンバ」作曲:ルイス・ボンファ
映画「黒いオルフェ」でカーニバルのシーンのバックに流れていた曲です。
リズムに合わせて、踊りましょう!

❾「スペイン」作曲:チック・コリア
アランフェス協奏曲「アダージョ」（クラシック）をイントロ（前奏）に用いて、
チック・コリア（ジャズピアニスト）が、スペインのイメージでラテンのリズムを使って作った曲です。

（曲目は、都合により変更になる可能性があります）

ジャズの歴史

ジャズの起源は、1900年代で今から110年位前になります。ジャズはアメリカでヨーロッパの音楽とアフリカの音楽が出会い作られました。ジャズは、ニューオリンズという町を中心に発展していきました。ニューオリンズはアメリカの都市となる以前はフランス領、次いでスペインの都市だった歴史があります。ヨーロッパの音楽を基にアメリカの音楽が作られていき、賛美歌、民謡、黒人霊歌、ワークソング、ゴスペル、ブルース、ラグタイム等が混ざり合い、これにアフリカの太鼓のリズムが織り込まれ"ジャズ"と呼ばれるアメリカ音楽が生まれたのです。

出演者の紹介

古野光昭（ふるの みつあき）
楽器:ウッドベース

「ベースの巨匠」と呼ばれる日本を代表するベーシスト。バンドマスターを務める。

東京音楽大学卒業。NHK交響楽団元首席・檜山薫氏に師事。宮田英夫カルテットでプロ入り後、渡辺貞夫、本多俊之、阿川泰子グループ等、久石譲率いる「ワールド・ドリーム・オーケストラ」の一員としてレコーディング、ツアーにも参加した。日本ジャズ界最強ユニット「フルノーツ」を結成し、寺井尚子(vin)、山下洋輔(p)、渡辺香津美(g)、日野皓正(tp)等と企画公演も行っている。

Photo by Masamitsu Tomita

寺井尚子（てらい なおこ）
楽器:ヴァイオリン

ヴァイオリンでジャズを弾く。世界で大活躍する演奏家。

4歳よりヴァイオリンを始め1988年プロデビュー。平成21年度文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞（大衆芸能部門）、南里文雄賞（2008年）、ジャズディスク大賞（2005年）等受賞歴多数。また、8代目キャラクターとして「金鳥の渦巻」CMに出演、現在は、演奏曲が起用されている。メディアへの出演も数多く、幅広い活動を展開している。

川嶋哲郎（かわしまてつろう）
楽器:テナー・サックス、フルート

テナーサックスでは、実力も人気も日本ジャズ界ナンバーワン。

大学在学中にジャズを始めるが、会社員として就職し、27歳でプロに転向。スイングジャーナル誌（現在廃刊）の読者人気投票では毎年1位を独占し続けた。また、2007年からJazzLife誌にてサックス講座のコラムを連載中。

菊池太光（きくち たいこう）
楽器:ピアノ

小学生の時からクラシックピアノを始め、高校時代に聴いたCDに影響されジャズピアニストを志す。現在は、若手トップピアニストと評価されている。

小松伸之（こまつのぶゆき）
楽器:ドラムス

小中学生時代は吹奏楽部にてトランペット、高校時代にドラムに転向。現在は、重鎮のジャズマン等から信頼を受ける実力派ジャズドラマー。

小山太郎（こやま たろう）
楽器:ドラムス

迫力のあるドラマー。ライブハウスのデビューは中学生の時。ニューヨークのジャズシーンでも活躍。昭和音楽大学ジャズコース講師。

ジャズの特徴

●アドリブ（即興演奏）ジャズの最大の特徴は、（ソロパートによる）アドリブ（即興演奏）です。アドリブ部はテーマ（基本のメロディー）にはさまれており、「テーマ→アドリブ→テーマに戻る」という流れを基本とします。楽譜に縛られずに自由に自己表現していくアドリブの中でジャズは発展しました。

●4ビート/アフタービートジャズは4ビートのもの（1小節に4分音符が4つ入る4拍子の曲）が多いです。4拍子の曲では、ヨーロッパの音楽も日本の音楽も「**イチ** ニイ **サン** シイ」のように奇数拍（1拍目と3拍目）にアクセントを置くのが基本です。これに対し、ジャズでは「イチ **ニイ** サン **シイ**」と偶数拍（2拍目と4拍目）にアクセントを置くのが基本です。これをアフタービートと言います。

●ブルー・ノートジャズでよく使われるのは、ブルー・ノート・スケールといわれる音階です。ドから始まる長音階の場合、ド - レ - ミb - ファ - ソb - ラ - シb - ド のように、その第3音、第5音、第7音を半音下げた音を加えます。特に、b5の音をブルー・ノートと呼びます。

●リズムセクションジャズのグループでは、ピアノ、ベース、ドラムスの全て又は一部が参加し、リズムセクションを担います。これはジャズから発展した音楽（ロックとか）にも共通している特徴でもあります。

●どんな曲でもジャズになるジャズっぽく演奏すれば、どんな曲でもジャズ（っぽく）になります。ですから、ジャズの楽曲は多岐に渡ります。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する**種目**に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, (オーケストラ等), 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎･能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。　　A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あり ・ (なし)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん にほんふぃるはーもにーこうきょうがくだん 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団		
代表者職･氏名	理事長　平井俊邦		
制作団体所在地 (最寄り駅･バス停)	〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1 (新高円寺駅:地下鉄丸の内線)		
電話番号	03－5378－6311	FAX番号	03－5378－6161
ふりがな 公演団体名	にほんふぃるはーもにーこうきょうがくだん 日本フィルハーモニー交響楽団		
代表者職･氏名	理事長　平井俊邦		
公演団体所在地 (最寄り駅･バス停)	〒166-0011 東京都杉並区梅里 1-6-1 (新高円寺駅:地下鉄丸の内線)		
制作団体設立年月	1956年　6月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長:平井俊邦 副理事長:五味康昌 常務理事:中根幹太、後藤朋俊 理事:石井啓一郎、遠藤滋、島田敏生、田村浩章、徳田俊一、戸所邦弘、福本ともみ	団体構成員 楽団員 92名 事務局員 24名 合計:116名	
事務体制の担当	専任 ・ (他の業務と兼任)	本事業担当者名	**高橋 勇人**
経理処理等の監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	**浅見 浩司**

制作団体沿革	1956 年 6 月創立、楽団創設の中心となった渡邉暁雄が初代常任指揮者を務め、当初より幅広いレパートリーと斬新な演奏スタイルで、ドイツ・オーストリア系を中心としていた当時の楽壇に新風を吹き込み、大きなセンセーションを巻き起こしました。2016 年 6 月に創立 60 周年を迎え、2019 年 4 月には第 6 回ヨーロッパ公演を成功裡に終えることが出来ました。新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、2020 年 2 月 29 日の公演の中止を皮切りに、6 月末までの中止・延期公演は 47 公演に上りましたが、国や自治体や多くの市民の支援のもと、社会的役割を踏まえ「芸術性」と「社会性」を兼ね備えた楽団として、引き続き以下の 3 つの柱で活動を継続しております。 Ⅰ.オーケストラ・コンサート 首席指揮者ピエタリ・インキネンを軸に、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、桂冠名誉指揮者小林研一郎、正指揮者山田和樹という国内屈指の指揮者陣とともに、芸術的充実の向上を第一義に活動を展開しています。2020 年 2 月以降コロナ禍により、外国人指揮者の来日が困難となり、緊急事態宣言解除後も、奏者間の距離を保つため舞台面積と編成の制約から、小・中編成プログラムとなっております。 主催公演（2019 年度実績：82 公演、中止 8 公演）としては東京(サントリーホール)・横浜(みなとみらいホール)での定期演奏会、名曲・サンデーコンサート、夏休みコンサート（2020 年は中止）・第九コンサート・その他のシリーズにより、それぞれの特色を発揮し、安全対策を施しつつ生のクラシック音楽の奥深さを広めてまいります。共催・受託公演（2019 年度実績：60 公演、中止 7 公演）は、杉並区・埼玉県・府中市等自治体主催の公演、ホールとの共催事業、文化庁主催学校巡回公演や学校主催公演等を継続的に実施しています。 Ⅱ.エデュケーション・プログラム 音楽との出会いを通して、人の心や社会が一層豊かになるための取り組みとして、多彩なエデュケーション・プログラムを展開しています。近年は他のジャンルとの協同や、異文化との交流を促進しつつ、その可能性をさらに広げています。 【オーケストラによるエデュケーション】 夏休みコンサート：親子向けのクラシックコンサートの草分けとして、46 年目を迎えた今年は、コロナ禍の影響で 8 月 23 日に 1 日のみの開催となりました。この公演では、これまで被災地支援で交流してきた宮古市・大船渡市（岩手県）、南相馬市（福島県）の子どもたちの活動の動画を紹介し、地域のホールと同時配信で繋がります。 【ワークショップ活動の広がり】 音楽を通じた、新たな学びと気づきの可能性を広げるため、コミュニケーション・ディレクターのマイケル・スペンサー氏の指導・監修のもと、2019 年度は杉並区の主催で日本とネパールの子どもたちが参加する多文化共生ワークショップを開催しました。練馬区立美術館とは、クラシック作品と美術展を結びつけたワークショップを実施しました。 【その他、音楽の面白さを届け、新たな楽しみ方を提案しています】 杉並区での高齢者を対象とした「60 歳からの楽器教室」の他、「60 歳からの学びカフェ」では、オーケストラ作品を多角的に学ぶ講座を開始しました。 Ⅲ.リージョナル・アクティビティ（地域活動） 日本フィルは長年にわたり全国各地で地域との協働を実現し、まさに日本フィルのアイデンティティというべき「地域活動（リージョナル・アクティビティ）」を柱に、音楽を通してコミュニティの活性化と地域文化の発展に寄与してまいりました。フランチャイズホールの杉並公会堂がある杉並区との「友好提携」が 2019 年で 25 周年を迎え、区と公会堂と日本フィルが三位一体となり、その様々な活動があらゆる世代の区民の生活に潤いと刺激を与えております。さいたま市でも学校や施設向けに、室内楽によるアウトリーチ活動が展開されています。地方においては、九州公演が 2020 年 2 月公演で 45 周年を迎えました。自主参加の市民による実行委員会がボランティアでコンサートの制作・運営を行う、世界でも類を見ない市民と音楽家による文化活動の協働事業です。 宇部・京都（2020 年は中止）でも年に1回オーケストラ公演を継続しています。また東日本大震災の被災地を音楽で支援

	する活動も、これまでに 294 回（2020 年 7 月現在）の公演を行っております。
学校等における公演実績	2019 年度 ●オーケストラ公演＝23 回 ●室内楽公演（主な編成＝弦楽四重奏・木管五重奏・金管五重奏） 杉並区小・中学校＝10 回、さいたま市小・中学校＝15 回、港区小学校＝1 回 ●被災地（岩手県・宮城県・福島県 小中学校）＝6 回 ●ワークショップ＝16 回 ●クリニック＝11 回
特別支援学校における公演実績	2007 年 12 月 山梨県立かえで支援学校（オケ公演） 2008 年 1 月 船橋市立船橋支援学校（オケ公演） 2013 年 5 月 さいたま市立さくら草特別支援学校（室内楽公演） 2013 年 11 月 栃木県栃木特別支援学校（オケ公演） 2016 年 10 月 東京都立青峰学園（オケ公演） 2017 年 12 月 東京都立城東特別支援学校（オケ公演） 2018 年 11 月 広島県立呉特別支援学校（オケ公演）

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ (無)
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ (無)
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名 日本フィルハーモニー交響楽団 】**

対　　象	小学生（低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企画名	「様々なリズムを、身近な音楽で感じよう（指揮者体験つき）」
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	**【小学校】** ★トランペットのファンファーレで華やかに。また力強い2拍子の行進曲で演奏会にご案内します！ **♪ロッシーニ：歌劇「ウィリアム・テル」序曲 より《スイス軍の行進》** ★TV の音楽番組のテーマ曲、4 拍子の楽しい曲です。 **♪モーツァルト：歌劇「劇場支配人」序曲** **★楽器紹介**（一つ一つの楽器を、解説とパフォーマンスによってご紹介。 木管→金管→打楽器→弦楽器 ★弦楽器の演奏で3拍子のワルツを感じよう！ **♪チャイコフスキー：「弦楽セレナーデ」より《ワルツ》** ★ヴァイオリンのソロで有名な曲を！ **♪モンティ：チャルダッシュ** ★軽快で楽しいウィーンのポルカを１曲 **♪ヨハン・シュトラウス２世：ポルカ「雷鳴と電光」** **★指揮体験コーナー**（プロの指導の下、指揮者になってみよう！） 【指揮者体験】＊児童３人 **♪ブラームス：ハンガリー舞曲第5番（冒頭部分）** **♪ブラームス：ハンガリー舞曲第5番** ＊指揮者にて通し演奏 ★最後は、オーケストラ不朽の名曲を！ **♪ベートーヴェン：交響曲第５番「運命」より《第１楽章》** **♪「ビリーブ」「さんぽ」**など学校と協議してご希望の1曲をオーケストラと共演します。 ★みなさんの学校の校歌を児童とオーケストラの伴奏で **♪各学校校歌** *公演時間（ 75 分）* **【中学校】** ★TV の音楽番組のテーマ曲、4 拍子の楽しい曲です。 **♪モーツァルト：歌劇「劇場支配人」序曲** ★オーケストラ不朽の名曲を！ **♪ベートーヴェン：交響曲第５番「運命」より《第１楽章》** **【A プロ】** ★オーケストラの各楽器を紹介するために作られた1曲で、楽しみながら勉強しよう！ **♪カジノユキ編：オーケストラで聴く日本の名曲「春夏秋冬」**（ナレーション付き） **【Bプロ】** **★楽器紹介**（一つ一つの楽器を、解説とパフォーマンスによってご紹介。 木管→金管→打楽器→弦楽器 ★弦楽器の演奏で3拍子のワルツを感じよう！ **♪チャイコフスキー：「弦楽セレナーデ」より《ワルツ》** ＊Aプロ・Bプロは学校の希望を基に調整させていただきます。 **【A・Bプロ共通】**

	★ヴァイオリンのソロで有名な曲を！ **♪モンティ：チャルダッシュ** ★軽快で楽しいウィーンのポルカを１曲 **♪ヨハン・シュトラウス２世：ポルカ「雷鳴と電光」** **★指揮体験コーナー**（プロの指導の下、指揮者になってみよう！） 【指揮者体験】＊生徒３人 **♪ブラームス：ハンガリー舞曲第5番（最終部分）** **♪ブラームス：ハンガリー舞曲第5番**　＊指揮者にて通し演奏 ★最後は、ドラマチックな構成で「これぞオーケストラだ！」という1曲を **♪ドヴォルザーク：交響曲第９番「新世界より」《第４楽章》** ★みなさんの学校の校歌もしくはビリーブを生徒とオーケストラの伴奏で **♪学校校歌　もしくは　ビリーブ** *公演時間（ 80 分）*

著作権		制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要	**♪ロッシーニ：「ウィリアム・テル序曲」より　《スイス軍の行進》**　（小学校のみ） シラーが 1804 年に書いた戯曲を元に、1829 年にロッシーニがオペラ『ウィリアム・テル』を作曲しました。今日ではその序曲のみがしばしば演奏されています。４つの部分からなり、第４部（終曲）「スイス軍の行進」はトランペット、ホルン、ティンパニによるファンファーレに導かれてギャロップ調の行進曲が始まります。曲は繰り返しを経て次第に高揚し、盛大なクライマックスで締めくくられます。小学校公演のオープニングに相応しい華やかで軽快な曲です。 **♪モーツァルト：歌劇「劇場支配人」序曲** 「劇場支配人」は、1786 年 1 月から 2 月にかけて書かれた１幕の音楽付き喜劇です。物語は、劇場支配人がザルツブルクでの興行を目的に劇団の組織を計画しているところから始まります。そこに自薦、他薦の俳や歌手がやってきてテストを受けますが、２人の歌手は「私がプリマ・ドンナよ」と言い争いになり、仲裁役として男性歌手が入っても双方全く譲りません。テンヤワンヤになって、劇場支配人は仕方なく劇団づくりの中止を宣言しますが、やがて芸術の名誉のために皆が和解し、大団円となり幕を閉じます。 **♪ブラームス：ハンガリー舞曲第５番** ハンガリー舞曲とは、ブラームスがハンガリーのロマ(ジプシー)音楽を元に編曲した楽曲で、元は 4 手ピアノ(連弾)用として作られましたが、のちに管弦楽版に再編曲されています。第 5 番が一番有名で、舞曲ならではのリズム変化が特徴です。 **♪ベートーヴェン：交響曲第５番「運命」より《第１楽章》** 冒頭の「ダダダダーン」で有名な交響曲第 5 番は、日本では「運命」の名で親しまれており、まさにクラシック音楽の代名詞と言っても過言でありません。ベートーヴェンはこの曲を作曲した当時は難聴でほとんど耳が聞こえないという絶望的な状態でした。冒頭の旋律の意味を弟子に尋ねられて、彼は「運命の扉をたたく音」だ。と言った逸話は有名です。その難聴を乗り越えて作曲し、第１楽章の苦しみを乗り越えて第４楽章へと繋がってゆくという構成になっており、その「第１楽章」を聴いていただきます。 **♪ドヴォルザーク：交響曲第９番「新世界より」より《第4楽章》**　（中学校のみ） チェコの作曲家ドヴォルザークが作曲した交響曲で、最も人気のある曲です。アメリカ滞在中に聞いた音楽と、故郷ボヘミアの自然や「民衆の声」といった民族的な旋律を融合させ造られました。ドヴォルザークらしい歌心が随所に散りばめられています。

演目選択理由	◆2020 年度から実施がスタートした「新学習指導要領」が子供たちに求めるのは、将来の更なるグローバル化や人工知能等の進化に備え、自ら思考し判断し表現する力であり、本事業の鑑賞を通してこれらの能力が向上することを期待し選曲致しました。 ◆「小学校向けプログラム」オープニングの**「ウィリアム・テル」序曲**は、運動会でよくBGMとして流れており、その音楽で心躍らせた体験もきっと蘇ることでしょう。 **◆歌劇「劇場支配人」序曲**は、TVの音楽番組「題名のない音楽会」のテーマ曲でもあり、4拍子の華々しい曲です。 ◆令和3年度のコロナ禍の状況が不透明なため、これまで大変好評いただいていた歌手が出演するプログラムを変え、**モンティ：チャルダッシュ、ヨハン・シュトラウス２世：ポルカ「雷鳴と電光」**という軽快で楽しい曲を取り上げました。 ◆2拍子の舞曲の定番**ハンガリー舞曲第5番**を題材に、小・中学校ともに、指揮者体験を行います。少人数の選抜となりますが、指揮をする児童生徒もそれを見守る側にも、参加意識が高まる瞬間です。オケ単独に戻りメインの**「運命」**では、冒頭の「タタタターン」の主題が何度も繰り返される不思議も感じていただければ幸いです。 **◆さんぽ**や**ビリーブ**など、音楽の教科書に限らずアニメ映画やＴＶで有名な歌など、子供たちになじみ深い歌をオーケストラの伴奏で一緒に歌います。オーケストラと合唱が一つにまとまる一体感は、生涯を通して心に残る体験となるでしょう。通常ピアノ伴奏で歌う「校歌」も、オーケストラ用にアレンジして演奏すると、曲に広がりと色彩感が加わります。歌い継がれている母校の校歌のすばらしさを、再認識させてくれることでしょう。 ◆「中学校向けプログラム」のメインの曲は、クラシック音楽で一番の人気を誇る**ドヴォルザーク：交響曲第９番「新世界より」より《第4楽章》** です。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	①オーケストラの伴奏により、校歌をはじめ、学校の希望に合わせた数曲を歌っていただきます。 ②小中学校とも指揮者体験コーナーを設けます。事業内で体験できる人数は最大3名ですが、プロの音楽家の前に立ち、演奏を導く体験は生徒にとって得難いもので、指揮により演奏がどう変わるのか、オーケストラをリードするとはどういうことが、生徒自身が体験的に理解でき、実演に対する理解が深まります。 ③希望される学校には、吹奏楽部との合同演奏など、各学校の状況に合った共演形態をご提案し、より充実した体験機会となるよう工夫いたします。
出　演　者	指揮：海老原　光　日程により　他1名） 管弦楽：日本フィルハーモニー交響楽団　 2管 12型 ※編成は原則。会場条件等により変更する可能性があります *共演者については、エデュケーション・プログラムに豊富な実績をもつ日本フィルが演目内容によって、コーディネイトいたします。

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者：　65名 ス タ ッ フ：　7名 合　　計：　72名	機 材 等 運搬方法	積載量　4　t 車 長　8　m 台 数　1　台

【公演団体名　日本フィルハーモニー交響楽団 】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>9時</td><td>9時～10時</td><td>13時30分～15時</td><td>分</td><td>15時～16時</td><td>16時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>300人（上限目安）</td></tr>
<tr><td></td><td>本公演</td><td>600人</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td colspan="2">◆事前ワークショップ
【音楽室探検ワークショップ】
日本フィルのヴァイオリン奏者、打楽器奏者の2名が学校の音楽室を訪問し、身近な環境で音楽家や演奏を親しく感じて頂く機会を作るとともに、児童・生徒と一緒に学校の音楽室にある楽器の魅力や合奏の魅力を発見します。内容は以下により構成されます。
・ヴァイオリンによる演奏とワークショップ
みなさんのよく知っている「キラキラ星」のメロディを、ヴァイオリンが様々なテンポと表情で次々と変奏し、それに対しメロディに相応しい打楽器と奏法で伴奏します。
また、ヴァイオリンと弓の構造や音の出るしくみをソロ演奏とともにわかりやすく解説する楽器紹介の時間も設けます。
・打楽器による演奏とワークショップ
タンバリンや小太鼓や木琴等、学校が所有し児童が普段手にしている楽器を中心に取り上げ、一般的な奏法やプロならではの特殊奏法を解説しながら演奏します。また、音楽室には普段の器楽合奏にはあまり使用しない、ボンゴやギロ等のラテン楽器もあります。これらの珍しい音色とその正しい奏法も、感じて頂きます。
・アンサンブル
ヴァイオリンとマリンバの合奏で、「輪唱（2人ともメロディ）」「メロディと伴奏」という形態の違いを、クイズ形式で答えていただき、楽曲の仕組みを発見していただきます。また楽員2人による、スティーブ・ライヒ：「クラッピング・ミュージック」をとりあげ、手拍子による音楽の発展形を皆さんに理解していただきます。
・生徒との共演
全員参加で、手拍子によるリズム体験をします。低学年でも理解できるシンプルなリズムパターンを提示し、別のグループにはそのリズムパターンに1泊を追加します。2グループが同時進行するミニマル・ミュージックの手法により、不思議な音楽空間が生まれます。
※その他：
小学校では金管バンド、中学校では吹奏楽部が活動する学校では、普段から楽器を使用しメンテナンスも行き届いていますが、それ以外の学校では近年、手入れがされていない楽器も散見されます。学校の状況にもよりますが、日本フィルのワークショップには打楽器のメンテナンスの指導も盛り込み、「楽器を大切に扱う」ことも学んで頂きます。</td></tr>
</table>

ワークショップ実施形態の意図	【音楽室探検ワークショップ】 音楽室という身近な環境ならではの児童生徒とのコラボレーションの可能性の拡大を最も大切に考え、以下の点を意識してワークショップを構成いたします。 ①ヴァイオリンがメロディを担当し、打楽器がリズムとハーモニー（マリンバ使用）を担当という演奏家2人という最小単位でのアンサンブルが児童生徒の目の前で奏でるからこそ、音楽の構成をシンプルに理解していただきやすい環境である。 ②1 人の演奏家が様々な打楽器によりリズムの実演をすることによって、2拍子や3拍子や4拍子等、リズムに対しわかりやすさが広がりやすくなります。 ③身近な打楽器、いつも音楽の授業で触っている小太鼓、タンバリンなどの楽器でも、プロの演奏家がさまざまな奏法で鳴らすと、いままで知らなかった不思議な音がします。このワークショップを通して学校にある楽器の音を「発見」していただき、日頃の授業で更に深く音楽への興味を持って頂く機会へとつなげます。 ④メロディを演奏するヴァイオリン奏者が音楽史と音楽の形式について話し、音楽全般について視野を広げる機会もつくります。 ⑤手拍子のワークショップは、全員でテンポを揃えなければ効果がありません。互いのリズムを聴き合おうとする姿勢によって、音楽の基本である「コミュニケーション」の能力向上が日常生活へよい影響を及ぼすことを期待します。 ⑦本公演で演奏する、ベートーヴェンの「運命」の動機もミニマル・ミュージックと説明し、本公演への興味へと繋げます。 これらにより、身近な音楽室の楽器、そしてオーケストラへ。音楽への興味を自然に引き出すワークショップです。
特別支援学校での実施における工夫点	状況に応じて、参加型のクイズ・コーナーや手拍子のワークショップのボリュームを縮小し、鑑賞中心にしたり、楽員の伴奏による校歌斉唱に変更することも可能です。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

日本フィルハーモニー交響楽団 メンバー表

1	中井　章徳　ほか	指揮者
2	田野倉　雅秋	コンサートマスター
3	九鬼　明子	1st Violin
4	斎藤　千種	1st Violin
5	齋藤　政和	1st Violin
6	佐々木　裕司	1st Violin
7	田村　昭博	1st Violin
8	榊　　渚	1st Violin
9	中谷　郁子	1st Violin
10	西村　優子	1st Violin
11	平井　幸子	1st Violin
12	本田　純一	1st Violin
13	岡田　紗弓	1st Violin
14	遠藤　直子	2nd Violin
15	大貫　聖子	2nd Violin
16	加藤　祐一	2nd Violin
17	神尾　あずさ	2nd Violin
18	川口　貴	2nd Violin
19	佐藤　駿一郎	2nd Violin
20	竹内　弦	2nd Violin
21	豊田　早織	2nd Violin
22	山田　千秋	2nd Violin
23	太田　麻衣	2nd Violin
24	小中澤　基道	Viola
25	小池　拓	Viola
26	松澤　稚奈	Viola
27	高橋　智史	Viola
28	デイビィッド	Viola
29	中川　裕美子	Viola
30	中溝　とも子	Viola
31	児仁井　かおり	Viola
32	江原　望	Cello
33	大澤　哲弥	Cello
34	久保　公人	Cello
35	石崎　美雨	Cello
36	山田　智樹	Cello
37	横山　桂	Cello
38	菅原　光	Contrabass
39	鈴村　優介	Contrabass
40	高山　智仁	Contrabass
41	成澤　美紀	Contrabass
42	真鍋　恵子	Flute
43	難波　薫	Flute (Piccolo)
44	松岡　裕雅	Oboe
45	佐竹　真登	Oboe
46	伊藤　寛隆	Clarinet
47	楠木　慶	Clarinet
48	鈴木　一志	Fagotto
49	田吉　佑久子	Fagotto
50	伊藤　恒男	Horn
51	宇田　紀夫	Horn
52	信末　碩才	Horn
53	原川　翔太郎	Horn
54	星野　究	Trumpet
55	中里　州宏	Trumpet
56	岸良　開城	Trombone
57	伊波　睦	Trombone
58	中根　幹太	Bass　Trombone
59	柳生　和大	Tuba
60	松井　久子	Harp
61	遠藤　功	Percussion
62	福島　喜裕	Percussion
63	エリック・パケラ	Percussion
64	大河原　渉	Percussion
65	フリー	Percussion
66	阿部　紋子	Stage
67	松山　絵里奈	Stage
68	フリー	Stage
69	フリー	Stage
70	フリー	Stage
71	フリー	Stage
72	高橋　勇人	Office

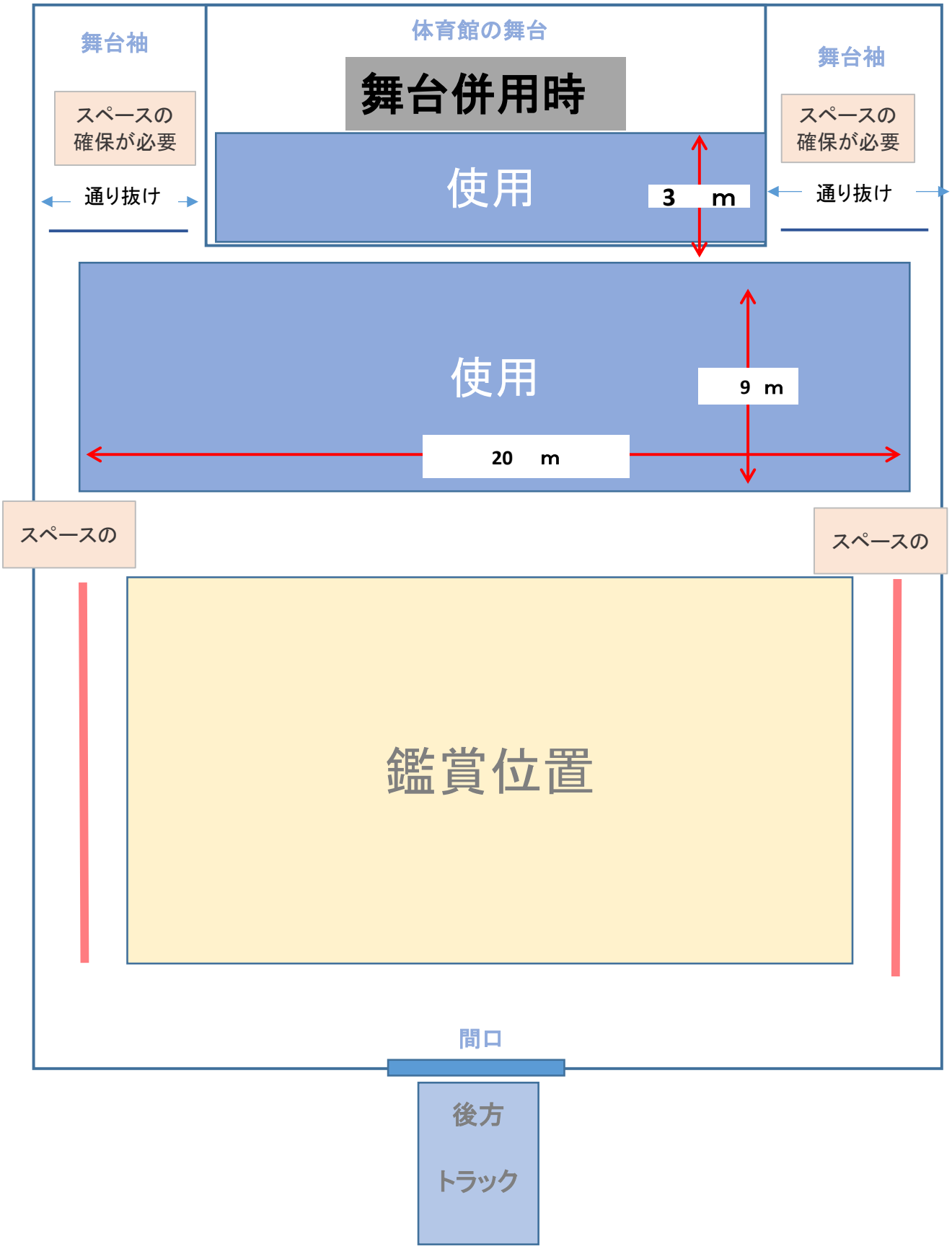
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	238	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	日本フィルハーモニー交響楽団				制作団体名	公益財団法人　日本フィルハーモニー交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	4室	条件	小部屋（指揮者1、コンマス1）、30人収容大部屋（男性1、女性1）＊中部屋（男性2、女性2）も可				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　2台	大型バス　3台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック（大きさ＝修学旅行時に使用する大型バス1台分）				
	不可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			屋外でもコンクリートやアスファルト敷きで、導線に屋根は必須です。渡り廊下でも可。10m以内ですとありがたいです。				
	可	搬入経路の最低条件			体育館と屋根のある動線で繋がる建物への横付けは必須条件でお願いします。修学旅行のバスが校内に入り、体育館に横付けできるかでイメージ願います。				
		理由			大型楽器にて地面の移動は不可です。雨天対策で屋根も必須です。				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	3m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数		体育館だと300人程度までがありがたいです。1学年で音楽室でも可能です。					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		45分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		体育館の広さ次第です。舞台下から中央に向かって12mから児童・生徒が座れます。その枠内なら何人でも可（最大600人が目安）					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	20m	奥行	9m	高さ	指定無し	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要要（用具をある程度寄せて頂けるとありがたいです）					
	可		舞台袖スペースの条件＊	多少の楽器ケース等が置けるスペース					
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由				
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	―	公演に必要な電源容量		※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項								
		楽器運搬トラックや大型バスの経路に、低い木の枝などが無いか？もご確認願います。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	3m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		屋外でもコンクリートやアスファルト敷きで、導線に屋根は必須です。渡り廊下でも可。10m以内ですとありがたいです。		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無（該当する方に○を付してください。）　　あ り ・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに○を付してください。）
（1）公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
（2）公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
（3）提案したいずれか1企画のみ実施可能
（4）その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんざいだんほうじんおぺらあーつしんこうざいだん 一般財団法人オペラアーツ振興財団		
代表者職・氏名	理事長　山田大輔		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒187−0042　東京都小平市仲町502番地 （西武新宿線「小平駅」南口下車徒歩12分）		
電話番号	042-346-9055	ＦＡＸ番号	042-346-9055
ふりがな 公演団体名	ゆうげんがいしゃあーつ・かんぱにー 有限会社アーツ・カンパニー		
代表者職・氏名	代表取締役　山田大輔		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒187−0042　東京都小平市仲町502番地　アーツハイム103号 （西武新宿線「小平駅」南口下車徒歩12分）		
制作団体設立年月	1993 年（平成5年） 3 月		
制作団体組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長：山田大輔 理　事：小川雄二（国立音楽大学元教授）　松尾健市（日々輝学園高等学校副校長）　増田聡（日本経営者クラブ会長）　吉原修（東京都議会議員）　他2名 評議員：岩渕嘉瑩（国立音楽大学名誉教授）　瀬川武（国立音楽大学元教授）　佐藤万里（脚本家） 他２名　監事１名	1．オペラ歌手・声楽家約80名、指揮者、演出家、ピアニスト・エレクトーン奏者、管弦打楽器奏者、舞踊家・バレリーナ、脚本家、写真家、ビデオ映像撮影家、舞台監督・舞台スタッフ、照明オペレータ・照明スタッフ、音響オペレータ・音響スタッフ等約 120 名を常時有する 2．新しく加入する場合は、演目ごとに推薦・オーディションを実施し、音楽力はもちろん人物としての評価を大切にする	

事務体制の担当	専任　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	藤原規生（事務局長）
経理処理等の監査担当の有無	(有)　・　無	経理責任者名	藤原規生（事務局長）

制作団体沿革

1990 年（平成 2 年）　東京オペラアーツ振興会設立
1991 年（平成 3 年）　オペラ「カルメン」制作、初演
1992 年（平成 4 年）　オペレッタ「ブレーメンの音楽隊」制作、初演
1993 年（平成 5 年）　財団法人オペラアーツ振興財団設立＜文化庁認可＞
【初代理事長】
中野眞輔（五稜郭タワー株式会社社長）就任
【設立時役員】
畑中良輔（初代新国立劇場芸術総監督）
若杉弘（NHK 交響楽団正指揮者）
伊藤京子（国立音楽大学名誉教授）
山田純彦（国立音楽大学助教授）
沖廣治（ジローレストラン(株)代表）
海老澤敏（国立音楽大学学長）
鎌田寛（諏訪中央病院名誉院長）
渡邊髙之助（東京芸術大学名誉教授）
長野羊奈子（ベルリンドイツオペラ正団員）　他
1995 年（平成 7 年）　【2 代目理事長】
山田純彦（国立音楽大学助教授）就任
オペラ「泣いた赤鬼」制作、初演
阪神・淡路大震災慰問巡回公演（芦屋市、宝塚市）にて
オペレッタ「ブレーメンの音楽隊」上演
1996 年（平成 8 年）　阪神・淡路大震災慰問巡回公演（宝塚市、西宮市）にて
オペレッタ「ブレーメンの音楽隊」上演
1997 年（平成 9 年）　阪神・淡路大震災慰問巡回公演（神戸市）にて
オペレッタ「ブレーメンの音楽隊」上演
※3 年間で芦屋・宝塚・西宮・神戸各市の小学校にて合計 97 公演
各市から感謝状、神戸市より「花時計賞」授与
1998 年（平成 10 年）　オペラ「椿姫」制作、初演
2000 年（平成 12 年）　オペラ「カルメン」（東京芸術劇場）公演
2002 年（平成 14 年）　オペラ「ヘンゼルとグレーテル」制作、初演
宝くじ文化公演（東京都東大和市）オペラ「カルメン」
2003 年（平成 15 年）　宝くじ文化公演（沖縄県那覇市、宜野湾市）オペラ「カルメン」
2004 年（平成 16 年）　オペラ「アマールと夜の訪問者」制作、初演
宝くじ文化公演（新潟県見附市、紫雲寺町）オペラ「カルメン」
2005 年（平成 17 年）　文化庁主催：本物の舞台芸術体験事業
（奈良県、三重県、滋賀県、和歌山県、大阪府）オペラ「カルメン」
宝くじ文化公演（沖縄県那覇市、名護市）オペラ「椿姫」
2006 年（平成 18 年）　文化庁主催：本物の舞台芸術体験事業
（山形県、福島県、栃木県、群馬県、埼玉県）オペラ「カルメン」
宝くじ文化公演（東京都東大和市）オペラ「椿姫」
2007 年（平成 19 年）　文化庁主催：本物の舞台芸術体験事業
（福岡県、長崎県、熊本県、佐賀県）オペラ「カルメン」
2008 年（平成 20 年）　文化庁主催：本物の舞台芸術体験事業
（京都府、福井県、富山県、新潟県）オペラ「カルメン」
宝くじ文化公演（埼玉県志木市、松伏町）オペラ「カルメン」
宝くじ文化公演（静岡県長泉町、御前崎市）オペラ「カルメン」

	宝くじ文化公演（長野県辰野市、茅野市）オペラ「椿姫」 宝くじ文化公演（山梨県笛吹市、山梨市）オペラ「カルメン」 2009 年（平成 21 年） 文化庁主催：本物の舞台芸術体験事業 （北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県）オペラ「カルメン」 宝くじ文化公演（長野県佐久市、千曲市）オペラ「カルメン」 2010 年（平成 22 年） オペレッタ「こうもり」制作、初演 文化庁主催：子どものための優れた舞台芸術体験事業 （大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）オペラ「カルメン」 宝くじ文化公演（福岡県筑後市、若松市）オペラ「カルメン」 宝くじ文化公演（埼玉県坂戸市、松伏町）オペラ「椿姫」 宝くじ文化公演（長野県辰野町、茅野市）オペレッタ「こうもり」 2011 年（平成 23 年） 文化庁主催：次代を担う子どもの文化芸術体験事業 （広島県、岡山県、島根県、鳥取県、山口県、千葉県、 茨城県、山梨県、東京都）オペラ「カルメン」 宝くじ文化公演（北海道函館市、幕別町）オペラ「カルメン」 2012 年（平成 24 年） 文化庁主催：次代を担う子どもの文化芸術体験事業 （広島県、岡山県、島根県、鳥取県、山口県）オペラ「カルメン」 宝くじ文化公演（沖縄県北谷町、石垣市）オペラ「カルメ」 宝くじ文化公演（埼玉県松伏町、川越市）オペレッタ「こうもり」 2013 年（平成 25 年） 一般財団法人オペラアーツ振興財団（内閣府認可） 【3 代目理事長】 山田大輔（演出家・小平市教育委員）就任 文化庁主催：次代を担う子どもの文化芸術体験事業 （広島県、 岡山県、島根県、鳥取県、山口県）オペラ「カルメン」 宝くじ文化公演（石川県津幡町、羽咋市）オペラ「カルメン」 宝くじ文化公演（埼玉県桶川市、飯能市）オペレッタ「こうもり」 2014 年（平成 26 年） 文化庁主催：文化芸術による子供の育成事業 （北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県）オペラ「カルメン」 宝くじ文化公演（愛媛県内子町、八幡浜市）オペラ「椿姫」 2015 年（平成 27 年） 文化庁主催：文化芸術による子供の育成事業 （兵庫県、徳島県、香川県、高知県、愛媛県）オペラ「カルメン」 宝くじ文化公演（福岡県春日市、久山町）オペラ「カルメン」 宝くじ文化公演（北海道湧別町、美幌町）オペラ「カルメン」 宝くじ文化公演（島根県浜田市、大田市）オペレッタ「こうもり」 2016 年（平成 28 年） 文化庁主催：文化芸術による子供の育成事業 （福岡県、長崎県、熊本県、佐賀県）オペラ「カルメン」 2017 年（平成 29 年） 文化庁主催：文化芸術による子供の育成事業 （山形県、福島県、栃木県、群馬県、埼玉県）オペラ「カルメン」 宝くじ文化公演（香川県三豊市、東かがわ市）オペラ「カルメン」 2019 年（令和元年） 宝くじ文化公演（長野県飯島町、木曽町）オペラ「カルメン」 2020 年（令和 2 年） オペラ「魔笛」制作準備
学校等における公演実績	1990 年より 30 年間に渡り、オペラを中心としたクラシックコンサートを全国各地の小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援学校及びホール主催の一般公演にて約 1,400 公演を実施。とりわけ学校主催の芸術鑑賞会での本格的なオペラ公演実績は、他に類はないと自負している。 ※別紙「学校等における公演実績／特別支援学校における公演実績」参照

<table>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">1998 年（平成 10 年）　森田養護学校（青森県）オペレッタ「ブレーメンの音楽隊」
1999 年（平成 11 年）　稲荷山養護学校（長野県）ア・カペラコーラス公演
2000 年（平成 12 年）　障害者児と共にミュージカルを観る会（千葉県）オペレッタ「ブレーメンの音楽隊」
2001 年（平成 13 年）　障害者児と共にミュージカルを観る会（千葉県）オペラ「泣いた赤鬼」
2002 年（平成 14 年）　障害者児と共にミュージカルを観る会（千葉県）オペラ「ヘンゼルトグレーテル」
2003 年（平成 15 年）　障害者児と共にミュージカルを観る会（千葉県）オペラ「アマールと夜の訪問者」
2005 年（平成 17 年）　障害者児と共にミュージカルを観る会（千葉県）オペレッタ「ブレーメンの音楽隊」
2007 年（平成 19 年）　島原養護学校(長崎県)オペラ「カルメン」
松橋西養護学校（熊本県）オペラ「カルメン」
2009 年（平成 21 年）　五稜郭養護学校（北海道）オペラ「カルメン」
2013 年（平成 25 年）　豊浦総合支援学校（山口県）オペラ「カルメン」
浜田養護学校（島根県）オペラ「カルメン」
2015 年（平成 27 年）　香川丸亀養護学校（香川県）オペラ「カルメン」
香川中部養護学校（香川県）オペラ「カルメン」
2019 年（令和元年）　水元小合学園（東京都）オーケストラ公演</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>（有）　・　無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>（有）　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>https://youtu.be/GKy81WMYTIo</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公　演　・　ワークショップの内　容　　【　公演団体名　アーツ・カンパニー　】

対　　象	小(学)生(　低(学)年　・　中(学)年　・　高(学)年　)　・　中(学)生
企画名	オペラ「カルメン」(全4幕・日本語上演)
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	オペラ「カルメン」(全4幕・日本語上演) 作　曲:ジョルジュ・ビゼー　　原　作:プロスペル・メリメ 演　出:山田大輔　　美　術:川口直次　　衣　裳:岸井克己 演　出プラン:山田純彦　　照　明プラン:中山安孝・望月昭治 音　響プラン:小用浩史 公演時間(　90 分)

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる	無	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要

初演から 3 ヶ月後に 36 歳の若さで亡くなったジョルジュ・ビゼーの最後の作品であるオペラ「カルメン」は、1875 年 3 月 3 日、パリのオペラ＝コミック座での初演は不評であったが、後にドビュッシー、サン＝サーンス、チャイコフスキー等から称賛され、ニーチェに至っては「カルメン」を 20 回も観たとの記述があるほどです。

当財団制作のオペラ「カルメン」は、どこのホールでも、どのような形態の体育館でも、本格的なオペラを体験して欲しいとの願いを込めて、1991 年(平成 3 年)に初演。30 年間繰り返し演じてきた「カルメン」は、一つたりとも同じ舞台はなく、我々のステージは日々進化し続けています。それを支えてきたのは、紛れもなくキャストスタッフの努力はもちろん、全国各地の児童・生徒・先生方のカーテンコールでの「ブラーボ」や「拍手」に他なりません。

【主な登場人物】

カルメン(タイトルロール)	ドン・ホセ(伍長)	エスカミーリョ(闘牛士)
ミカエラ(ホセの許嫁)	ダンカイロ(密輸人)	レメンダード(密輸人)
フラスキータ(ジプシー女)	メルセデス(ジプシー女)	スニガ(中尉)

【あらすじ】 1830 年頃のスペイン、セビリャとその付近

第 1 幕 (セビリャの街の広場)

その日ホセの運命は変わった。カルメンから赤い花を投げられ、その魔力に心が揺らいだその時、許嫁のミカエラに声をかけられ正気にかえる。タバコ工場で騒ぎが起こり喧嘩の元はカルメン。彼女を捕らえ牢まで護送する途中、彼女の「逃がしてよ…」の囁きに、思わずホセは逃がしてしまう。

第 2 幕 (リリャス・パスティアの酒場)

皆がよく行く酒場は、今日も歌や踊りで賑わう(中学生参加箇所)。さらに闘牛士エスカミーリョが登場し民衆は歓喜に満ちて歌う(中学生参加箇所)。皆が帰った後、牢屋から出たホセがカルメンを訪ねにきた。彼女は歌い踊って歓迎し、ホセを密輸の仲間に誘う。困惑しているホセを密輸団が取り囲み、彼を密輸団の仲間に引き込む。

第 3 幕 (寂しい岩山の中)

危険な密輸業者の隠れ家へ、カルメンを探しにエスカミーリョが、そしてホセを探しにミカエラがきた。カルメンはそんなエスカミーリョに惹かれ、ミカエラから母親の危篤を知らされたホセは、仕方なく山を降りていく。

第 4 幕 (セビリャの闘牛場前の広場)

闘牛士の試合当日、子供たちが広場で今か今かとはしゃいでいる。待ちわびて

	いたエスカミーリョを闘牛場に走って追いかける子供たち(小学生参加箇所)。カルメンが一人になったところを見計らってホセ は「もう一度やり直そう」と愛を語る。何度も哀願するホセにカルメンはもらった指輪を投げ捨て、歓声の上がる闘牛場に向かおうとするカルメンを、ホセが愛ゆえに…
演目選択理由	世界におけるオペラの上演回数第1位は、オペラ「カルメン」です。この事業でのオペラ鑑賞、参加の体験は、児童・生徒たちにとって、恐らく初めての機会であり、または一生で一度きりの機会かもしれません。 カルメンには「序曲」、「ハバネラ」、「闘牛士の歌」等、どこかで一度は耳にしたことがあるかもしれない素晴らしい音楽が散りばめられていて、躍動感あふれるリズム、神秘的なメロディ、迫力のハーモニーは、どの世代の心にも響き、深い音楽体験となる事でしょう。さらに教科書にも取り上げられている名曲たちがこのオペラ全編の中で、ストーリーのどこに存在するのかを知ることは、オペラ全体への理解に繋がり、聴覚のみならず視覚にも訴え、生きた音楽鑑賞となると確信しています。 児童・生徒たちにとって一期一会の舞台との出会いであるからこそ、本物であること、そのことを常に私たちは謙虚に追及し、キャスト、スタッフ総動員で舞台をお届けしたいと思います。そしてこの出会いがきっかけとなり、いずれオペラの舞台・劇場に自ら足を運んでいただけるようになればという願いを込めて、このオペラ「カルメン」を選びました。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	【個人選出型の場合】※尚、選出は各学校にて行われます 1. 小学校では、児童代表(8名)がスペイン(セビリア)の闘牛場前の広場で遊ぶ子供たちに扮し、第4幕「闘牛士の行進」で子供らしく元気に歌い演じます。 2. 中学校では、第2幕「ジプシーソング」で生徒代表(4名)にフラメンコを踊り、続いて第2幕「闘牛士の歌」で生徒代表(8名)が合唱を歌い演じます。 3. さらに総合芸術であるオペラを体験して頂くために、舞台メイクをし、舞台衣裳を着ます。 4. 支援学校では、第2幕「闘牛士の歌」の場面に参加します。例えば先生の介添えにより、車椅子やストレッチャーでの参加も可能です。 【全員参加型の場合】 5. 学校の意向で個人選出が難しい場合等は、学年単位または全校で、第2幕「闘牛士の歌」の場面に参加します。

<table>
<tr><td>出　　演　　者</td><td colspan="3">指揮：佐々木克仁　カルメン：喜田美紀・田村由貴絵　ドンホセ：青柳素晴・片寄純也　ミカエラ：門口千絵美・山下尚子　エスカミーリョ：成田博之・中西勝之　フラスキータ：菊地美奈・工藤志州　メルセデス：実川裕紀・武部薫　ダンカイロ：大川博・大島嘉仁　レメンダード：塚田堂琉・吉田連
合唱：オペラアーツ合唱団
演奏：エレクトーン奏者　西岡奈津子・小倉里恵
打楽器奏者：大野美音・金丸寛　副指揮：平野桂子</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者:　22 名
ス タ ッ フ:　12 名
合　　計:　34 名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量　　2t
車 長　　7m
台 数　　2台</td></tr>
</table>

【 公演団体名　アーツ・カンパニー 】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・(無)) 会場設営の所要時間(2時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>9時</td><td>9時～12時
(リハーサル含む)</td><td>13時30分
～15時00分</td><td>15分</td><td>15時00分
～16時10分</td><td>16時30分</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時30分から概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ：全校児童・生徒可
本公演：全校児童・生徒可</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>1. 主指導者、歌唱指導、演技指導、振付け指導、ピアニスト(計6名)で児童・生徒の指導にあたります。
2. 実演を織り交ぜながら、総合芸術であるオペラの魅力について解説します。
3. 小学校では、第4幕「闘牛士の行進」の歌唱稽古に続き演技の練習を行います。中学校では、歌チームとダンスチームの二手に分かれ、歌チームは第2幕「闘牛士の歌」の歌唱と演技の練習を、ダンスチームは第2幕「ジプシーソング」の音楽に合わせてフラメンコの振付けを行います。【個人選出型】
4. 体育館にて第2幕「闘牛士の歌」の歌唱と演技の練習を行います。そこから正しい発声と基礎演技の所作を学んでもらいます。【全員参加型】
5. 最後に体育館のステージにて、本番を意識した総仕上げをし、締めくくりに公演当日までの心構えを伝えます。
 </td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>学校での貴重な時間と大切な児童・生徒をお預かりしているという自覚と責任感、礼節を持って、指導に当たります。初対面ということもあり、児童・生徒、先生方へ緊張感を抱かせないように、明るく、エネルギーとスピード感を持って限られた時間内で、双方が共に喜び合える時間とする事を大きな意図とします。
1. オペラの解説から、児童・生徒自身がこれからどういったものに参加をし、どんな役を演じ、どんな場面に出演するのかをしっかりとイメージし、理解を深めます。
2. さらにオペラの具体的なイメージを持ってもらうために、「序曲」、「ハバネラ」、「闘牛士の歌」の実演をすることで、知らないと思っていたオペラを身近に感じてもらい、主体的に参加したいという意欲を掻き立てます。</td></tr>
</table>

	3. より遠くに表現を伝えるための発声練習、基礎演技を行います。 4. 楽譜の暗譜、演技や振付けを覚えることを、限られた時間内で仕上げる目標を立てます。 5. 皆で創り上げることの大切さを共有し、理解した上で練習に臨むこと、加えて集中すること、真剣に取り組むことの大切さをお互いに確認し合います。
特別支援学校での実施における工夫点	1. 参加形態は通常学級と同じような形態をお勧めをしながらも、各学校の先生方との話し合いの中で、最も良い参加形態を見付けます。 2. 支援学校では、第2幕「闘牛士の歌」の場面に参加しますが、先生の介添えにより車椅子やストレッチャーでの参加も可能です。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

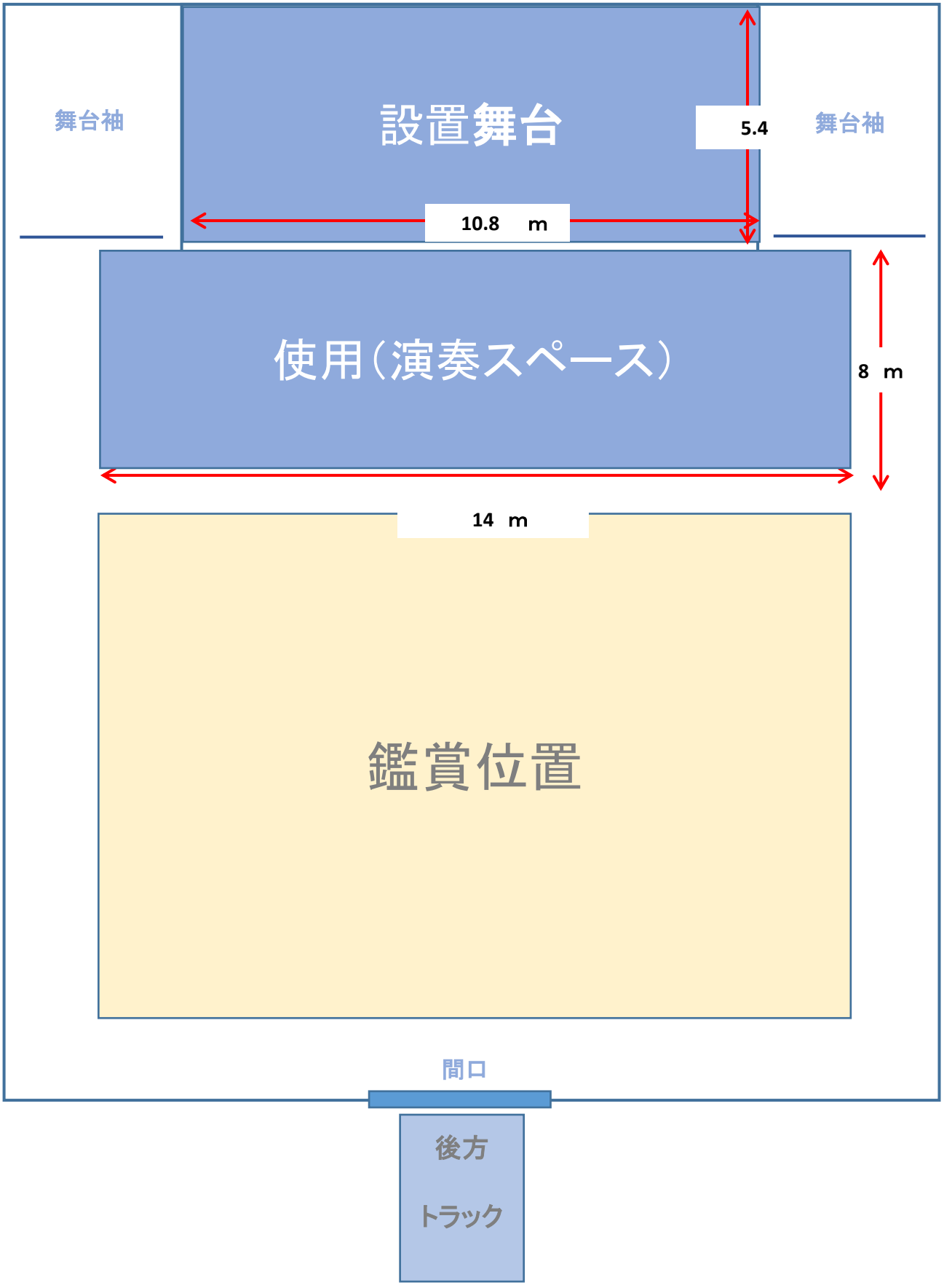
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	304	分野	音楽	種目	音楽劇	ブロック		区分	A区分
公演団体名	有限会社　アーツ・カンパニー				制作団体名	一般財団法人　オペラアーツ振興財団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	3室	条件	男性　女性　参加児童・生徒　（メイク、着替え）				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　2台		大型バス　1台		
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック　1台				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			装置等を雨に濡れないような搬入を希望				
		理由			装置等を雨に濡れないような搬入を希望				
	可	設置階の制限＊			問わない				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	3m		高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数		全校児童・生徒可					
	可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊		高学年		
	可	所要時間の目安 単位：分		2時限分（90分）					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		全校児童・生徒可					
	可	舞台設置場所＊		体育館のステージ上					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	14m	奥行	13.4m	高さ	5.4cm	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	衣装着替え、全出演者の待機					
	可		緞帳＊	要		バトン＊	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	照明効果を得るため			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	可		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		60A	※主幹電源の必要容量				
		その他特記事項							
	可	トラックは体育館に横付けできれば、前方でも横でも後方でも可能							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	3m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要 (搬入経路は最短距離を希望)			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

＊令和３年度「文化芸術による子供育成総合事業（巡回公演事業）」＊

■開　演＝１３時３０分
■会　場＝各学校体育館　ほか
■主　催＝文化庁　開催校　ほか

【児童・生徒参加方法】

♪舞台衣装・メイクを施し、歌と演技で
　プロのオペラ歌手と共演します!!
♪体育館がその日はなんと劇場に!!一生に一度
　あるかないかのこのすばらしい機会に、一緒に
　煌びやかな舞台を創り上げましょう!!
♪中学生・・・約８名（合唱と演技。女4名、男4名）
♪小学生・・・中・高学年児童（合唱と演技）

□ キャスト

カルメン
ドン・ホセ
エスカミーリョ
ミカエラ
ダンカイロ
レメンダード
フラスキータ
メルセデス
スニガ
オペラアーツ合唱団

□ スタッフ

指　揮	佐々木 克仁
演　出	山田 大輔
舞台美術デザイン	川口 直次
衣装デザイン	岸井 克己
照明デザイン	中山 安孝
舞台監督	渡辺 重明
エレクトーン	
打楽器	

『オペラデビュー』をしませんか！

舞台衣装・メイク、歌、演技・・・
プロのオペラ歌手と、*Bravo!!* な体験。
次代を担う子供たちに
本物の文化芸術をお届けします。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	~~児童劇~~，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無（該当する方に○を付してください。）　　あ り ・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当する選択肢のいずれかに○を付してください。）
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他（　　）

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんつのぶえ 有限会社 劇団角笛		
代表者職・氏名	代表取締役　白石武士		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒176−0014　東京都練馬区豊玉南2−22−6 西武新宿線　野方駅 ・ バス停は中野北郵便局前		
電話番号	03−3994−7624	FAX番号	03−3994−7635
ふりがな 公演団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんつのぶえ 有限会社 劇団角笛		
代表者職・氏名	代表取締役　白石武士		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒176−0014　東京都練馬区豊玉南2−22−6 西武新宿線　野方駅 ・ バス停は中野北郵便局前		
制作団体設立年月	1963年　　8月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役　白石武士 取締役　白石昭子 取締役　白石奈美	舞台部　8名 制作部　1名 作画家　1名 加入条件　劇団の入団試験に合格したもの	
事務体制の担当	~~専任~~ ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	白石　武士
経理処理等の監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	白石　奈美

制作団体沿革	1963年8月影絵人形劇専門劇団として設立。 1968年『ないた赤おに』東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞 1976年『りゅうとびわ』東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞・厚生省中央児童福祉審議会特別推薦受賞 1978年『こぶたのマーチ』厚生省中央児童福祉審議会特別推薦受賞 1982年フランス16都市48回公演（民主音楽協会の派遣事業） 1983年『伝兵衛と鹿』東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞・厚生省中央児童福祉審議会特別推薦受賞 1985年フランス15都市45回公演（民主音楽協会の派遣事業） 1992年『ごんぎつね』東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞・厚生省中央児童福祉審議会特別推薦受賞 1995年『やしいライオン』東京都優秀児童演劇選定優秀賞受賞 1993年香港2日間5回公演（角笛を観る会実行委員会主催事業） 1995年インドシナ公演5カ国7都市25回公演（ﾍﾞﾄﾅﾑ、ﾀｲ、ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ、ﾗｵｽ、ﾐｬﾝﾏｰ・国際交流基金主催事業） 1997年『花さき山』厚生省中央児童福祉審議会推薦受賞 2002年中近東公演2カ国3都市10回公演（アラブ首長国連邦、バーレーン国・国際交流基金派遣事業） 2001年韓国ソウル市内12日間27回公演。（LGアートセンター招聘） 2012年アメリカ3都市15回公演（桜寄贈100周年記念事業） 2016年シンガポール2日間5回公演（国交50周年事業） 2020年創立以来57年間、民話や童話、童謡を影絵人形劇の手法により紹介し、受賞作品他多数。全国各地の文化施設等において、子ども達に夢を届け、上演日数はおよそ9300日。
学校等における公演実績	1963年創立当初から1974年頃までは学校公演を中心に活動しておりましたが、近年、学校公演はほとんど行っておりません。近隣の豊玉南小学校（練馬区）では、校舎改築前の2009年まで、年 1 回試演会を行っていました。改築により搬入車両が入れなくなり、以降は行っておりません。 2012年東海市立横須賀中学校文化祭では、英語版『かぐや姫』を上演しました。
特別支援学校における公演実績	以前、養護学校、聾学校（日本児童演劇協会の依頼公演）での公演実績はあります。 1989年八王子東養護学校（東京） 1995年上尾養護学校（埼玉） 1998年あけぼの養護学校（山梨） 2000年栃木県聾学校、群馬県立聾学校、松本聾学校（長野） 2001年長野県立諏訪養護学校、こまどり養護学校（富山） 2002年茨城県立水戸聾学校、茨城県立霞ヶ浦聾学校 ※劇団主催の高島市民会館公演、かつしかシンフォニーヒルズ公演では、毎年特別支援学校の児童が団体観劇として参加されています。

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/d6VI9_8Sqo4
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　(有)劇団角笛 】

対　　象	小学生(低学年・中学年・高学年)　・　中 学 生					
企画名	角笛シルエット劇場「花さき山」					
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	≪三部構成≫ 「花さき山」 原作／斎藤隆介　脚色／山上路夫　音楽／渡辺岳夫　演出／角笛文芸部 「影とあそぼう」演出・構成／角笛文芸部 「ももたろう-影絵のしくみがわかる-」脚本／杉井ギサブロー　演出・構成／角笛文芸部 ※休憩、舞台裏見学あり 公演時間(約 90 分)					
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演　目　概　要	角笛シルエット劇場は、劇団独自の技法を駆使した影絵人形劇です。大きなリアスクリーンを使用した色鮮やかなシルエットが特徴です。三部構成(物語、影絵解説、デモンストレーション物語)でお届けします。 「花さき山」は心の優しい女の子あやが、花さき山で出会ったおばばに聞いた不思議なお話です。道徳教材として取り上げられている児童文学を美しくわかりやすく人形劇として表現しています。＜約 20 分＞ 影絵解説の「影とあそぼう」では、光の三原色やしくみなどを解説し、影絵クイズや簡単にできる手影絵も紹介します。＜約 20 分＞ 「ももたろう-影絵のしくみがわかる-」は、影絵の仕組みを、デモンストレーションを通して、垣間見ることができる演出です。馴染みの昔話を、軽快なリズムや音楽と共に楽しめます。＜約 22 分＞ 公演終了時に、舞台裏を見学します。＜約 15～20 分＞ ※途中休憩 10 分(換気、舞台転換のため)					
演目選択理由	「花さき山」には、影絵の芸術的な視覚的美しさだけでなく、登場人物の純真無垢なやさしい心情が描かれています。子どもたちはどのような行為が良いことなのか、身のまわりに関心をむけ、自ら考える力、思いやりや優しい心を育むことが期待できる作品です。 「影とあそぼう」は、影、或は自然事象への関心を促します。影は見る者に想像を掻き立て、発想力が広がります。仕組みを知ることで、表現力や鑑賞力も養えます。 「ももたろう-影絵のしくみがわかる-」では、馴染の昔話を楽しみながら、舞台の仕組みを垣間見ることができる演出です。軽快な音楽とともに展開し、上演中の演者の動きや影の変化を見ることで、影絵の原理を知ることが出来ます。					
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	ワークショップで児童が作った影絵人形や道具等を、本公演で登場させる予定です。児童が自分の制作した人形を持ってスクリーンに映し、どの様に映るか体験します。 舞台裏見学では、大掛かりな機構、演目に登場した影絵人形や大道具、機材の配置、床に置かれたフォーメーションマット等、観客席から舞台裏まで、360 度の視点を経験することができます。					
出　演　者	＜舞台監督＞ 藤井昭夫 ＜音響兼人形操作＞ 山中勉 ＜大道具兼人形操作＞下井理裕、長谷川健斗 ＜照明兼人形操作＞ 磯野航、磯貝愛愛花 ＜人形操作＞竹田みゆき、多田京音 ＜司会兼人形操作＞田村未知					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者:　9名 スタッフ:　1名 合　計:　10名			機材等 運搬方法	積載量　4 t 車 長　6.93m 台 数　1台	

【公演団体名　　(有)劇団角笛 】

<table>
<tr><td>公演に当たっての
会 場 条 件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・(無)) 会場設営の所要時間(　　3 時間程度)
<table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>8時</td><td>8時～11時</td><td>1 時 30 分～3時</td><td>10分</td><td>3時～4時30分</td><td>5時</td></tr></table>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児 童 ・ 生 徒
の参加可能人数</td><td><table><tr><td>ワークショップ</td><td>約 40 人</td></tr><tr><td>本公演</td><td>500 人程度</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実 施 形 態
及 び 内 容</td><td>児童は影ができる三要素や照明を扱う上での注意点などの説明を受けた後、影絵人形を作ります。シンプルな型紙をベースとして、各自自由にキャラクターを発展させます。実際に照明でスクリーンに映して確認しながら、制作を進めます。制作後は作った人形や道具を、スクリーンに映し、動かしたり、大きさを変えたり、その影の変化に気づきながら、表現の工夫を考えます。最後に、感想や質問を発表します。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実施形態の意図</td><td>光(光源)と影の関係を知ることは影や身のまわりの自然事象を意識することに繋がります。また、影絵という手法の中で、テーマにそった人形を自由につくることで発想力や個性を発揮できます。可動人形を作る際には工作の技術だけではなく、理科的な感覚も必要であり、ストーリーを考える際には表現や国語的な要素も不可欠です。このワークショップは工作の楽しさや表現する喜びを体験し、舞台芸術としての総合的な広い視点を感じ、豊かな感性を育むことを意図しています。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>事前に実施校と情報を共有することにより、公演に際して必要となる配慮や支援を確認し、劇団としてできる限りの対応をします。具体的には、前もって暗くなることをアナウンスし、心の準備を促したり、客席の明度を保ったり工夫します。音に対して敏感な児童に対しては、どの演目や場面で大きな音がでるという情報を先生にお知らせし、必要であればイヤーマフを装着してもらうなど連携をはかります。手影絵に参加できる児童とそうでない児童がいる場合には、「まわりのお友だちに見せてあげて」などと喜びを分かち合える声掛けを工夫します。</td></tr>
<tr><td>実 施 可 能 時 期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

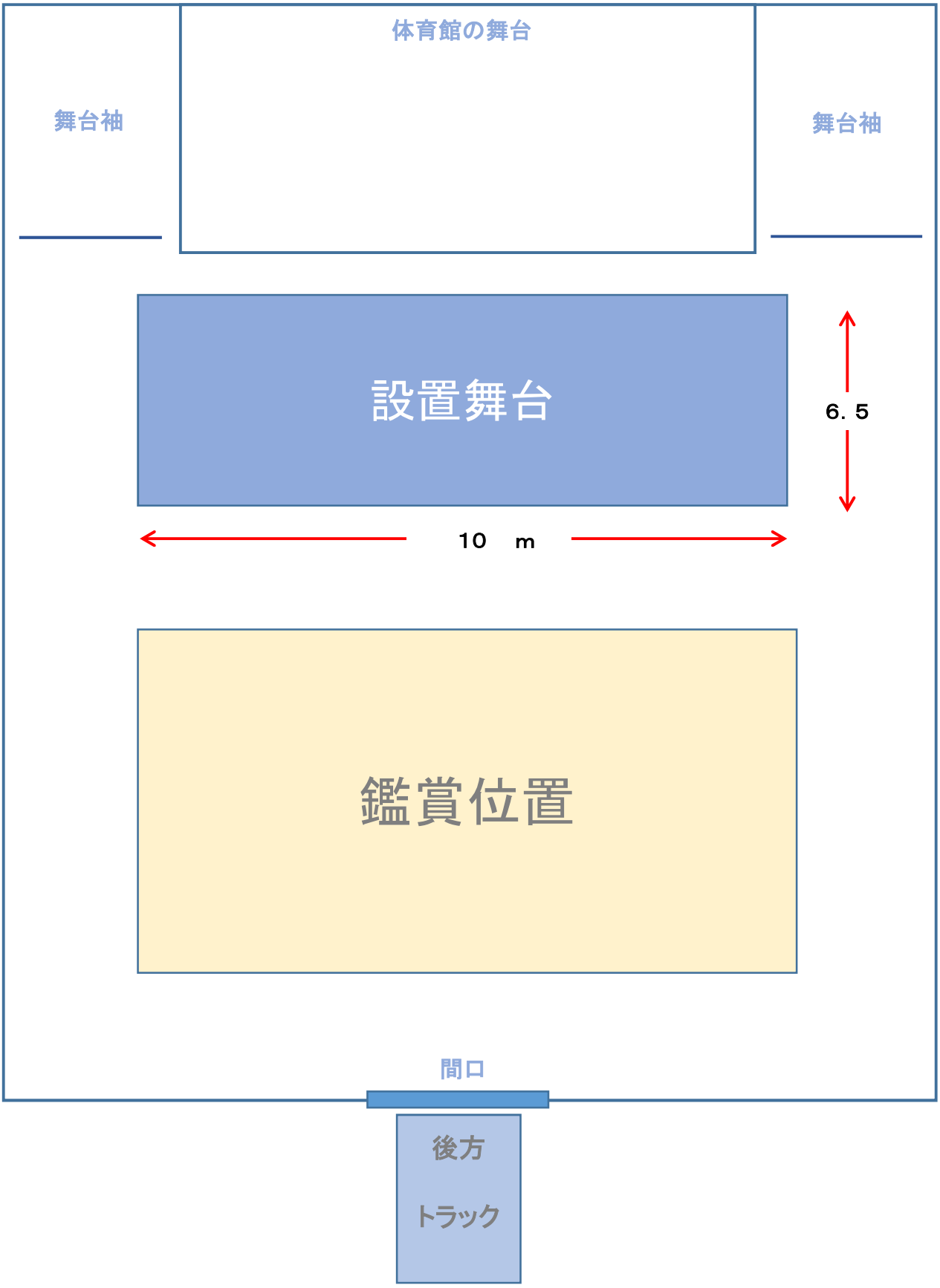
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	403	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック		区分	A区分
公演団体名	有限会社　劇団角笛				制作団体名	有限会社　劇団角笛			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	男女の着替えで2室必要です。一室は外から見られない窓にカーテンのある部屋を希望します。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　1台	バン　1台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4トンラック（7メートル未満）				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問いません				
	可	搬入経路の最低条件			・出来る限り階段のない経路を希望致します。 ・屋根のある経路が望ましいです。				
		理由			公演機材に電気電子機器が含まれる為。				
	可	設置階の制限＊			問わない				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m以上	高さ	2m以上			
WSについて	可	参加可能人数		40名程度					
	―	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		90～120分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		500名程度					
	可	舞台設置場所＊		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	10m	奥行	6．5m	高さ	5m	
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊						
	―		舞台袖スペースの条件＊						
	―		緞帳＊		バトン＊				
	不可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	影絵劇の上演の為。			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		75A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m以上	高さ	2m以上
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問いません		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

夢を大きくはずませて 観る・聞く・遊ぶ 感性の大冒険

あなたの学校の体育館が劇場に!

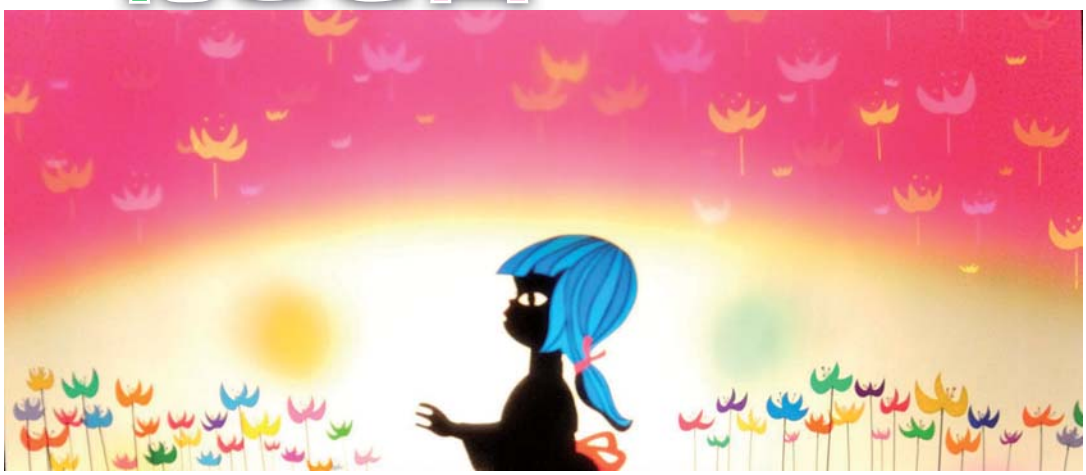
角笛シルエット劇場

楽しい影絵の世界へご案内

やさしい心が咲かせた美しい花　情感あふれる物語

花さき山

原作　斎藤隆介　脚色　山上路夫
音楽　渡辺岳夫　演出　角笛文芸部



ふしぎがいっぱい
あんな影　こんな影

影とあそぼう

簡単にできる
手影絵にみんな
挑戦してみよう!

しくみを知って
影絵クイズに
答えてみよう!

ワークショップ制作風景

みんなで力を合わせて乗り越えよう!

ももたろう

脚本　杉井ギサブロー
音楽　宇野誠一郎

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，(演劇)，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(Ａ区分のみ)・Ａ区分とB区分の両方 ・ Ｃ区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　(あ り)・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1)~~公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能~~
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	(か)げきだん　げい　ゆう　ざ ㈱劇 団　芸 優 座		
代表者職・氏名	代表取締役　平塚　仁郎		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒１８２－００２５ 東京都調布市多摩川２－２８－４ (京王相模原線京王多摩川駅より徒歩８分)		
電話番号	０４２－４８９－４５５５㈹	ＦＡＸ番号	０４２－４８９－９１７０
ふりがな 公演団体名	(か)げきだん　げい　ゆう　ざ ㈱劇 団　芸 優 座		
代表者職・氏名	代表取締役　平塚　仁郎		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒１８２－００２５ 東京都調布市多摩川２－２８－４ (京王相模原線京王多摩川駅より徒歩８分)		
制作団体設立年月	昭和47年　11月		
制作団体組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役　平塚仁郎 取締役　村田里絵 平塚奈々 川口勝也 監査役　平塚キク	制作部　７名 文芸演出部　３名 俳優部　３４名　(他に研究生名) 加入条件：１８歳・高卒以上 (制作は面接、俳優はｵｰﾃﾞｨｼｮﾝで選考する)	
事務体制の担当	(専任)・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	村田　里絵
経理処理等の監査担当の有無	(有)・ 無	経理責任者名	伊澤　智子

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td>

沿革について

昭和47年に㈱総合プロモーションを設立後、舞台や TV 番組の制作を始め、広いジャンルでの活動をしつつ、「まず面白く確かなテーマで」を創造理念として劇団を創設。 以来「児童青少年の為だからこそ最高の演劇を」と、総合芸術である舞台劇の魅力を最大限伝えるべく、全国で公演を続けている。平成 3 年、㈱劇団芸優座と改称。平成 10 年より事務所・稽古場を現在地に持つ。劇団として、常に高い専門性を維持するために、新人から中堅・ベテランに至るまで、発声・ダンス・日舞等、専門家の指導の下での基礎訓練を重ねると同時に、児童青少年から大人一般まで、それぞれを対象とする様々な作品の自主公演をするなど、日常的な鍛錬を日々欠かさない。

これまでの作品

令和元年度上演中の中学生向けレパートリーは 6 作品。「ベニスの商人」は昭和 47 年の初演以来、既に 4000 ステージを超え、「最後の一葉」は平成 20～22 年度「本物の舞台芸術体験事業」・平成 30 年度「文化芸術による子供の育成事業」・令和元～2 年度「文化芸術による子供育成総合事業」で、「アンクル･トムの小屋の灯に」は平成 24・28 年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」で採択された。「チェーホフ先生こんにちは」「それぞれの絆」も好評を博しており、戦前のオリンピックをテーマにした「昇らぬ朝日のあるものを」も注目され公演数を伸ばしている。

(公社)日本児童青少年演劇協会・(公社)日本劇団協議会・児演協等　加盟

</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td>

令和 2 年度 14 作品の実績は全国で、合同公演も含め、高校 38 回、
中学校 9 回、小学校 65 回、教育委員会主催公演・公文協など 47 回。

作品ごとの、過去 10 年間の公演実績は以下の通り。

＜中学校・高校向け作品＞

ベニスの商人	765 回
アンクルトムの小屋の灯に	140 回
最後の一葉	171 回
チェーホフ先生こんにちは	62 回
それぞれの絆	20 回
昇らぬ朝日のあるものを	33 回

＜小学校向け作品＞

天狗山のトロッ平	224 回
グリムのハンスと大悪魔	225 回
パパはマジシャン	147 回
秘密のロビンの大冒険	174 回
一休さん	283 回
角～いじめっ子姫の物語	303 回
絵本の扉	32 回
ママの思い出	2 回

</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td>公演は変更なく行えます。聴覚障害のある生徒さんには字幕スーパーや手話を準備、視覚障害のある生徒さんには、音楽性を重視し、実際に舞台に上がってもらうなど事前事後の指導を徹底し、肢体不自由の生徒さんには車いすの為の段差を観客席に設けます。また、ワークショップ・共演についても、先生と一緒に同じ役を演じて頂くなど、様々な状況に応じ、最大限可能にしたいと考えます。</td></tr>
</table>

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	*DVD を提出します。*
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　劇団　芸優座　】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ (高学年) ）　・　(中 学 生)
企画名	名作の世界をお芝居で楽しもう！
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	『最後の一葉（ザ・ラスト　リーフ）－ O．ヘンリー物語 』 （途中休憩１０分あり） 原　作　：　O．ヘンリー 脚　本　：　平塚　仁郎 演　出　：　村田　里絵 公演時間（１００分）

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要

★あらすじ　**生き難い時代にあっても、たくましく生きる人々！**

短編の名手O．ヘンリーの4作を厳選し、オムニバスで綴ります。
見事なまでの「***どんでんがえし***」は、この作品の**見所**でもあります！

第一幕　公園にて

（第一話）心と手　（第二話）愛の使者

少年ボブは小遣い稼ぎに、旅支度の男の荷物持ちをするが、鞄が重くてへとへと･･･公園のベンチで一休みすることに。すると、そこへ通りがかる人達のドラマに引き込まれ･･･そもそも、その旅支度の男も、何やら大変な訳有りのようで･･･

第二幕　ボブのアパート

（第三話）賢者の贈り物　（第四話）最後の一葉

ボブのアパートには、貧しいながらも人生を謳歌するユニークな住人が大勢いた。仲睦まじい若夫婦デラとジム、病に倒れたジョンジーと同じ絵描き仲間達･･･その年のクリスマス、それぞれに、特別なプレゼントが用意されていた･･･
ご存知、O．ヘンリーの名作世界が繰り広げられます。

	★**テーマについて**　それぞれの年齢層に相応しいテーマがあります！ ◎　生きていく為に、本当に大切な物は何なのかをあらためて考えます ０．ヘンリーが大切に描いた、普通の人々の、何気ないありふれた日常の中にこそある「幸せ」や「希望」を見つめます。 ◎　困難にある時･･･人との絆を考えます 人間誰しも陥る危険性のある絶望や無力感･･･そこから自ら這い上がろうとする時、大きな支えと力になるものこそが人との絆なのではないでしょうか。そして、その絆の結び方をあらためて見つめます。 ☆　そして、もう一度問いかけます。自分自身より大切に思える誰かが、あなたにもいますか？　あるいは誰かが困っていたら、悲しんでいたら･･･その人のために、あなたは何ができるでしょう。自分を犠牲にしてまでも行動できるでしょうか？
演目選択理由	〈公演の目的に合わせての作品選定〉 公演やワークショップを通じて、児童・生徒の創造力・想像力を培い、コミュニケーションを能力の育成を図ることが何より重要です。また、児童・生徒に「演劇の楽しさ」を知ってもらうことで、将来の演劇観客人口の育成を図ることを配慮します。以上の目的に合致した作品を選定しました。 ○　この作品は、演劇としての「観る楽しさ」と共に、たとえば原作に触れたり、作者　について調べたりなど、様々な方向に広げ、深めていく事が期待できます。また、ワークショップでは、この体験が、文化祭や発表などだけでなく、日常の学校生活でも、具体的に役立てて頂けるような取り組みもします。 ○　対象を「小学生高学年から中学生」としていますが、事前鑑賞指導の効果もあり、実績としては小学校１年生からしっかり楽しく鑑賞して頂いています。 〈事業効果の向上を図るために〉 児童・生徒のみならず、保護者や地域の皆さんも楽しめる作品を選定しました。 ○　観劇後、みんなで考え、語り合おう･･身近な人とすら、どう関わりを持てばよいかが難問となってしまった現代にあって、誰かの為に生きる事、生きようとする事の尊さ、そして、実はシンプルで美しいその姿を、あらためて見つめてほしい、そんな願いのもと、この作品は制作されました。子供から大人まで、観劇した人みんなで、深く考えたり語りあえる作品です。 〈第三者の評価から〉 公益社団法人日本児童青少年演劇協会主催「児童青少年演劇地方巡回公演」でも、いずれの作品も高い評価を得ています。令和２年度は、中学・高校向け５作品から、特に芸術的にも教育的にも効果が高いとの評価を得た作品を選定しました。 ○　初演以来、全国の中･高校や鑑賞会等、多くの方々がご覧下さり、ご好評を頂いています。「体育館を劇場に」と、あくまでもオーソドックスであることに拘った美しい舞台、明確なテーマとテンポの良い分かりやすいストーリーは、初めて舞台劇を観る方にも、その魅力をしっかり感じて頂けるものと信じます。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	「共演」「参加」「体験」の具体的なプランについて 俳優として共演 *エキストラにさせません！* 予め生徒さん(先生でも可)**7名程のご出演**を想定していますが、希望人数によってアレンジ可能です。勿論、学年・男女・経験は問いません。 基本の出演シーンは、 ● 第一幕冒頭で登場する「街の子ども」兄弟(妹)として 2名 ● 同 幕切れには「帰途を急ぐ男(女)」として 1名 ● 第二幕『最後の一葉』のワンシーンで、主人公たちの隣人として 4 名まで さらに、 ● 同 舞台転換で、原作の朗読者として朗読で出演 数名 ● 同 クリスマスキャロルを歌う聖歌隊として歌で出演 数名 など 簡単なセリフと動きを覚え、朗読や歌の練習をして頂きますが、一番大事なことは「間違えない」ことではありません。役に扮する事を体験する中で、自分らしさを知り、それを表現する事の楽しさ、積極的に**コミュニケーション**を図り、互いを信頼することの大切さ、共に創り上げること、そして、演劇の面白さを実感して頂くことです。 単なるエキストラではなく、あくまでも共演者として、出演して頂きます。終演後は扮装のまま**記念撮影**をします。 （共演する生徒さん方も、しっかり鑑賞できるよう工夫しています） スタッフとして参加 *チャンスは「俳優さん」だけではありません！* 劇中の効果を高めるための「ツタの葉を落とす」「雪を降らせる」、開演前や幕間のアナウンスやタイムキーパーなど、「舞台監督助手」として舞台の裏方の仕事も2～4名体験できます。舞台芸術は俳優だけでは完成しないのだということ、力を合わせて一つのものを創り上げる喜びを是非とも感じて頂きたいと思います。 **カーテンコールのお稽古** **ばらし作業の手伝い** 終演後も・・・・・その他の体験 *お別れのその時まで・・・・* **舞台を一層身近に**感じてもらえるよう、上演後の**バックステージツアー**や、俳優達との**交流会**などが実施可能です。 また、条件次第ではばらし作業の見学や「お手伝い」もできます。 「劇場」が、いつもの体育館へと戻っていく様子を目の当たりにするのも、楽しい経験だと思います。

出　　演　　者	綾川志剛　鈴木弘子　川口勝也　池田文則　前澤まや 南　幸男　紺谷洋平　山際光次　北村光沙　江口つかさ 市来賢志　亜槍奈美　福島史織　井上愛理		
公演出演予定者数 （1公演あたり）	出 演 者:　14名 ス タ ッ フ:　3名 合　　計:　17名	機 材 等 運搬方法	積載量　　3t　・　バン 車 長　6.09m　・　4.99m 台 数　　1台　・　2台

【公演団体名　　劇団　芸優座　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(無) 会場設営の所要時間(4 時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み/リハーサル</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>7 時</td><td>7 時～11 時/
11～12 時</td><td>13 時～
14 時 40 分</td><td>10 分</td><td>15 時～
16 時 30 分</td><td>17 時</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>第一部全校生徒 ・ 第二部7名から 20 名程度</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>50 名～1000 名</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td colspan="2">
〈当劇団のワークショップの目的〉

①児童・生徒の想像力・創造力を培う
②児童・生徒のコミュニケーション能力の育成を図る
③将来の演劇観客人口の育成を図るため「演劇の楽しさ」を知ってもらう

〈ワークショップの具体的なプラン〉

① 鑑賞指導…　全校生徒の皆さんを対象に(20分程度)
まずは、作品の粗筋やテーマ・見所、舞台となる街の当時の風景や時代背景、さらに作家の生涯についてなど、プロジェクターでの美しい映像を見ながら簡潔に説明します。その結果、本番を心待ちにして頂けますし、当日の観劇体験がより豊かになると同時に、作品に対しても深い理解と感動が得られます。

② 実技指導
1)全校生徒の皆さんを対象に(25分程度)
続いて、俳優が日々続けている発声・発音の練習、呼吸法や準備運動等一緒にやってみます。この時、劇団員が生徒さんたちの間に入っていきますので、すぐそばで舞台の声を聞きながら体験できます。

さらに、生徒さんの日常生活に役立つ演劇訓練として、人前で上がらずに発表したり、自分らしいパフォーマンスができるようになるための「リラックス法」「集中」の訓練を紹介します。

2)共演する生徒さんを対象に(30分)
それぞれの「出演シーン」のお稽古の前に、そのウォーミングアップとして、コミュニケーションをとる事の大切さ、体一杯で表現することの面白さ等を経験して頂くことを最大の目標として、簡単なインプロゲームを楽しみます。
</td></tr>
</table>

	「ミラーゲーム」「わたし･あなたゲーム」「震源地ゲーム」等々、状況に応じて幾つかのプログラムを選びながら、目的をはっきり持って、意識的に動いて頂けるよう工夫しています。 続いて、身近なシチュエーションを用いて、誰にでもできるシンプルで簡単なエチュードなど、演技するための具体的な訓練を体験します。 ③ **共演の練習**（60～90分） いよいよ最後に、「出演シーン」ごとに分かれ、**お芝居のお稽古**をします。 事前に出演台本･楽譜･公演のDVD等お送りしますが、特に予習をして頂く必要はありません。まず、本番のDVDを観ながら、各役のおかれている状況を説明をした後、それぞれのセリフや動きを覚えたり、生徒さん方ご自身のアイディアを大切にしながら、その役について研究します。 ここまでで既に劇団員とも連帯感が生まれ、リラックスしたムードでお稽古は進みます。本番前の**緊張**も良い経験ですが、あくまでも楽しい体験となるよう、生徒さん方が**自信**をもって当日を迎えられるよう配慮します。 終わりに、**衣装合わせ(メイクは当日のみとなります)**をします。 （当日もリハーサルがあります。） ✿**「スタッフ」**をご希望の生徒さん方も、②までは一緒に参加して頂きますが、その後は「俳優」陣とは分かれます。まず、舞台や大道具についての説明を受けた後、役割分担をし、「効果」などの練習をします。
ワークショップ実施形態の意図	◎**事前の鑑賞指導について** わずかでも作品の背景を知ることで、当日、**積極的で深い鑑賞**が可能となり、**より楽しめます**。また、そもそも舞台芸術が**「観客」と共に創造していくもの**であるという事を、この事業を通じて「体験」して頂きたい。楽しかったというその体験こそが、**将来の良き「観客」**を生み育むと考え、豊かな時間となるよう工夫します。 ◎**とにかく、一緒に動いてみよう！** 共演を通じて、**舞台芸術が身近**になり、さらに深く興味を持って頂きたい、そして、覚えた事を「正しく」やるのが目的ではなく、自ら心身共に解き放ち、自分を表現する事の喜びや、**他人と協力しながら何かを創り上げる事の喜び**を経験して頂きたい。その為に必要な信頼関係を短期間で築くには、まず、一緒に動くこと･･･その経験が**コミュニケーション能力の向上**につながると思います。 ◎**学校のニーズに対応します！** **発表会･文化祭･演劇部**などの指導をしたり、演劇的なアプローチにより、授業での発表や朗読など様々な**学校の日常のシーン**において効果を上げる方法を体験します。
特別支援学校での実施における工夫点	公演は変更なく行えます。聴覚障害のある生徒さんには字幕スーパーや手話を準備、視覚障害のある生徒さんには、音楽性を重視し、実際に舞台に上がってもらうなど事前事後の指導を徹底し、肢体不自由の生徒さんには車いすの為の段差を観客席に設けます。また、ワークショップ･共演についても、先生と一緒に同じ役を演じて頂くなど、様々な状況に応じ、最大限可能にしたいと考えます。

実 施 可 能 時 期	実施可能時期スケジュール表をご確認 ください。

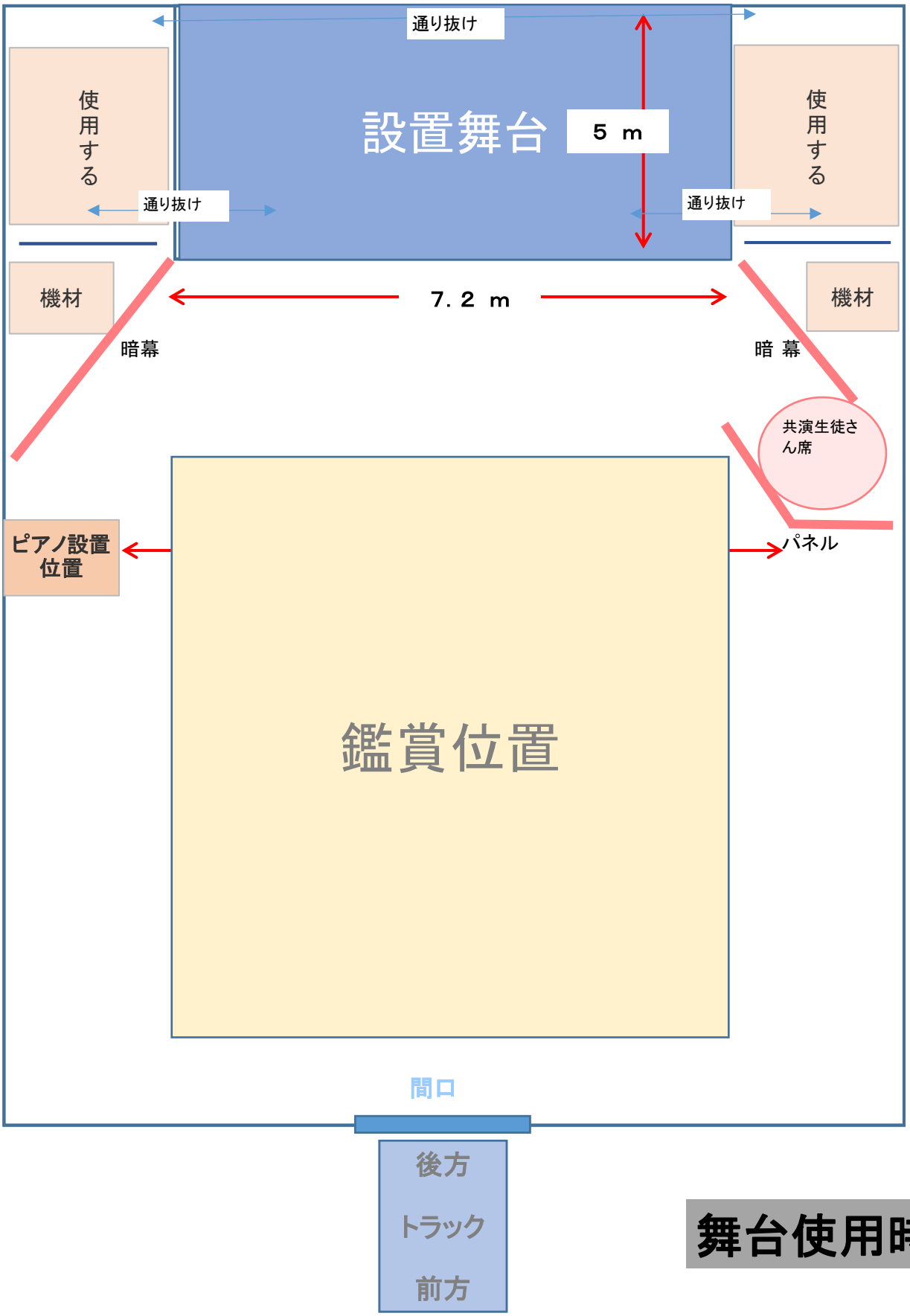
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	519	分野	演劇	種目	演劇	ブロック		区分	A区分
公演団体名	株式会社　劇団芸優座				制作団体名	株式会社　劇団芸優座			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	1室	条件	水場が近く、普通教室以上の広さが望ましい。着替えの為、カーテンのある部屋を希望。			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			3tトラック　1台	バン　2台		
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			3トントラック(大道具)バン(照明・音響機器)			
	不可	搬入車両の横づけの要否＊			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内			
	可	搬入経路の最低条件			出来る限り階段のない、屋根のある経路を希望。			
		理由			大道具や照明・音響機器の搬入の為。			
		設置階の制限＊			問わない			
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m以上	高さ	2m以上		
WSについて	可	参加可能人数		一部は全学年可能・二部は20名程度まで				
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		一部は45分程度・二部は90～120分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数		フロアに座りきれば1000名も可				
	可	舞台設置場所＊		体育館のステージ上				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	7.2m	奥行	5m	高さ	4m
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要				
	不可		舞台袖スペースの条件＊	袖に荷物がない状態				
	可		緞帳＊	要	バトン＊	要		
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	完全に遮光しなくても可		
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊	不要				
	―	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可				
	不可	公演に必要な電源容量		75A	※主幹電源の必要容量			
		その他特記事項						
	不可	電源はステージから20m以内にあること						

会場図面(表記単位:メートル)



舞台使用時

搬入間口について	幅	2m以上	高さ	2m以上
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

劇団 芸優座のご紹介

劇団芸優座は、「青少年にだからこそ最高の演劇を見せたい」という理念のもと、1972年に創立されて以来、全国のホール・会館をはじめ、文化庁の助成公演、公文協自主事業、教育委員会、小・中・高校の芸術鑑賞教室等での公演を、『演劇は、まず面白く、確かなテーマで観客と共に創造する」をモットーに、精力的に活動してきました。18歳から85歳まで各世代にわたる劇団員・研究生およそ60名が共に日夜研鑽に励み、今年は12作品のレパートリーを展開しています。

知ってますか？　～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和２年度

文化芸術による子供育成総合事業

－巡回公演事業－

劇団 芸優座　公演

～ O. ヘンリー物語～

最後の一葉

脚本／平塚 仁郎　　演出／村田 里絵

「文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

～O.ヘンリー物語～

最後の一葉

（2幕2場）

原作　O.ヘンリー
脚本　平塚 仁郎
演出　村田 里絵

第一場　公園にて　（第一話「心と手」）

少年ボブは小遣い稼ぎに、暗い感じの青年アーノルドの大きな旅行カバンを持って駅まで案内していたが、もうヘトヘト。そこで公園のベンチで暫く休むことにした。そこへ粋な身なりの青年と風采の上がらない中年の男がやってくる。なんと二人は手錠で繋がれていた。通りかかった都会的な女性が、突然青年を呼び止める。どうやら何か深い事情がありそうで、しかも中年の男までも割り込んできて ····

（第二話「愛の使者」）

再び駅へ向かおうとすると、偶然通りがかったのは、三か月前にアーノルドを捨てた恋人だった。二人の間で右往左往する羽目に陥ったボブは ····

登場人物

第一場　公園にて	
第一話「心と手」	駅へ急ぐ兄弟たち／ボブ／アーノルド／イーストン／保安官
第二話「愛の使者」	フェアチャイルド／リタ／エルジィ／通りがかりの勤め人
第二場　ボブのアパート	
第三話「賢者の贈り物」	ジム／デラ
第四話「最後の一葉」	スウディ／ジョンジー／ベアマン／フリッツ／医者 看護婦／救護員／アパートの住人たち

第二場　ボブのアパート（第三話「賢者の贈り物」）

「芸術の村」と呼ばれるボブのアパートには、貧しいながらもユニークな住人が大勢住んでいた。評判の仲良し夫婦ジムとデラは、クリスマスが近いので、お互いにプレゼントをどうしようか悩んでいた。ジムは妻が美しい髪を自慢にしているのを知っており、デラは夫が父の形見の懐中時計を大切にしていることを知っており ····

（第四話「最後の一葉」）

ボブの姉のスウディは同じアパートの絵描き仲間ジョンジーを看病していたが、彼女は窓から見える蔦の葉が、全部落ちたら自分も死ぬのだと信じ込んでいる。医者も匙を投げるような有様だったが、クリスマスイヴの晩、三階に住んでいる画家ベアマンがそれを知って ····

四作品をオムニバスでお届けする劇団芸優座の

「最後の一葉 ～O.ヘンリー物語～」

上演時間／100分（休憩10分含む）

短編の名手といわれるO.ヘンリーの見事なまでの「どんでん返し」の数々をお楽しみ下さい。

〒182-0025　東京都調布市多摩川2-28-4
Tel.042-489-4555㈹　geiyuza@mri.biglobe.ne.jp
劇団　芸優座

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(実演芸術)

種　目(いずれかに○をつけて下さい。)　　B区分(令和元年度採択　延長)

【 音　　楽 】　合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【 演　　劇 】　児童劇, 演劇,(ミュージカル)
【 舞　　踊 】　バレエ, 現代舞踊
【 伝統芸能 】　歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。　　A区分のみ ・(A区分とB区分の両方)・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り ・(な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ　とうきょうえんげきしゅうだん　かぜ **株式会社　東京演劇集団 風**		
代表者職・氏名	代表取締役　浅野佳成		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒164-0003　東京都中野区東中野 1-2-4 (JR 総武線 東中野駅／地下鉄 中野坂上駅)		
電話番号	03－3363－3261	FAX番号	03－3363－3265
ふりがな 公演団体名	とうきょうえんげきしゅうだん　かぜ **東京演劇集団 風**		
代表者職・氏名	劇団代表　柳瀬太一 ／ 芸術監督　浅野佳成		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 同 上		
制作団体設立年月	1987年11月		
制作団体組織	役　職　員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役(芸術監督):浅野佳成 取締役:柳瀬太一／佐藤春江 緒方一則／西垣耕造 監査役:柴崎美納	■劇団員 32 名(俳優 26 名／スタッフ 6 名) ■実習生としての一定の養成期間を経て入団が認められ、その後 3 年間の研究生期間を経て劇団員となる ■入団者は専属の俳優・スタッフとして契約を結ぶ	
事務体制の担当	(専任) ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	**江原早哉香**
経理処理等の監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	**佐藤春江**

制作団体沿革	1987年、東京演劇集団風創立。チェーホフ、ブレヒト作品を核に上演活動を行い、1999年、東京・東中野に劇団専属の劇場〈レパートリーシアターKAZE〉を建設する。 2003年から〈ビエンナーレKAZE国際演劇祭〉を開催。この演劇祭を通じた海外アーティストとの国際的な交流は、国際協働作業へと発展。現代劇作家マテイ・ヴィスニユック（ルーマニア出身、フランス在住）による書き下ろし作品の上演、ワシントン〈ジョン・F・ケネディ・センター〉などで海外公演を実施。 2017年には劇団創立30周年を迎え、記念公演としてブレヒト作『バールの賛歌』（浅野佳成構成・演出）、マテイ・ヴィスニユック作『母が口にした「進歩」』（江原早哉香 演出）のほか、10作品を上演。 〈言葉〉と〈動き〉の原点に迫る『詩劇』への挑戦など、現代劇の可能性を探究し続けている。
学校等における公演実績	劇団創立以来、全国の小・中・高校、支援学校における公演を、劇団の主要活動のひとつとして実践している。 **【近年の公演実績】** 平成29年：146校／平成30年：166校／平成31年:190校 **『星の王子さま』（1989年から巡回公演開始／延べ1400公演）** 劇団創立翌年の1988年に初演。作者サン＝テグジュペリ遺族・著作権者の協力のもと上演を繰り返している。 **『ジャンヌ・ダルク』（2014年から巡回公演開始／延べ280公演）** マテイ・ヴィスニユックの書き下ろしによる、日本・フランス・モルドバ3カ国共同制作。 **『肝っ玉おっ母とその子供たち』（2006年から巡回公演開始／延べ500公演）** 2011年には東日本大震災被災地の学校において巡回公演を行う。 他、**『ヘレン・ケラー』（延べ1500公演）『ハムレット』（延べ230公演）『Touch』（延べ1000公演）** また、2018 年から学校等における新たな公演として、子供たちひとりひとりが〈詩のことば〉を持ってアーティストとなる活動**『エクリチュール・バガボンド』**をフランスのスフルールと協働し展開している。
特別支援学校における公演実績	劇団独自の巡回公演、文化庁の巡回公演事業において、1993年から全国の特別支援学校［視覚障害、聴覚障害、肢体不自由（病弱児・者）すべてを含む］の小学部・中学部・高等部で公演を行っている。 宮崎県立都城さくら聴覚支援学校／社会福祉法人岩崎学園 北海道教育大学附属特別支援学校／栃木県立那須特別支援学校 盛岡青松支援学校（旧松園養護学校）／群馬大学教育学部附属特別支援学校 児湯るぴなす支援学校／柏特別支援学校流山分教室／広島中央特別支援学校／岡山盲学校 下関総合支援学校／柳河特別支援学校／天草高等学校倉岳校／琴の浦特別支援学校 特別支援学校での公演により、「演劇によるバリアフリー」研究会、近隣の福祉作業施設との交流などの活動が始まっています。

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	（有）・無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	（有）・無
		※公開資料有の場合URL	DVDを提出します
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有・無
		※公開資料有の場合URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　東京演劇集団 風】

対	小学生（低学年 ・ 中学年 ・ 高学年）　・　中 学 生
企画名	全校児童・生徒参加によるミュージカル『星の王子さま』
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	**星の王子さま** 原作：サン＝テグジュペリ　翻訳：内藤濯 構成・演出：浅野佳成／作曲：八幡茂 公演時間（1幕55分、2幕50分、途中休憩10分　計115分）

著作権	✔	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演 目 概 要

遠いはるかな星に、たったひとつの花と暮らしている小さな王子さま。彼は星から星をめぐる旅を続けて、地球にやって来ます。王子さまは地球で、飛行士や一匹のキツネと出会い、〈友だち〉とは何か、〈かけがえのないもの〉とは何かを学び、成長していきます。そして一年がたったある日、王子さまは地球や友だちに別れを告げて、大切な花のために星に帰ることを決意するのです。

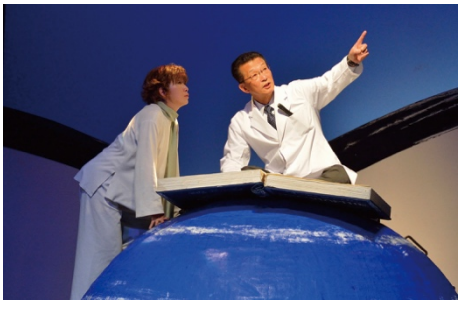
人や物事との出会いを温かく見つめ、美しく力強く生きる少年の姿を通して、『星の王子さま』は地球の美しさと、そこに生きている私たちが失くしてはならないものを問いかけています。

「大切なものは目には見えない――」と。

『星の王子さま』は第二次世界大戦のさなか、1943年にサン＝テグジュペリによって描かれました。以後、世界54カ国で翻訳・出版され、世界中の人々に愛され、読み継がれてきました。この作品は初演以来、全国巡回公演の中で練り上げてきた劇団の代表作です。

演 目 選 択 理 由

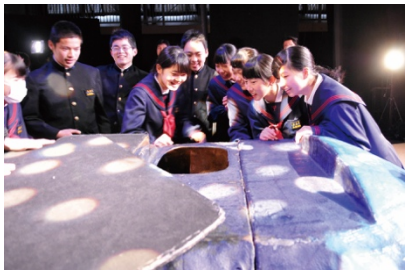
『星の王子さま』には、戦争の時代を生きたサン＝テグジュペリの**〈ものごとの真実を心で見てほしい〉〈生きることを見つめ直してほしい〉**という、あとから生まれてくる世代へのメッセージがあります。人やものごとに深い思いやりを持ちながら、出会いの中でかけがえのないものを見つけ、歩み出していく少年。**その勇気と成長の物語を通して、子供たちが世界を愛し、人を思いやり、生きる力を大切にしてほしい。**さらに彼らの成長を願い、見守る先生方と一緒に舞台に親しんでほしいと考え、この作品を選択しました。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	**子供たちが演劇を身近に感じ、人との関わりの中で演劇をつくる楽しさを体感できるよう、参加・共演場面を用意しました。** **◆ 全校児童・生徒が共演する『星の王子さま』のクライマックス** 王子さまが、一輪の花のために自分の星に帰っていくラストシーンに、全校児童・生徒が参加します。児童・生徒がその場に立ち上がり、王子さまとかけ合いで歌い、台詞を呼びかけ、クライマックスの場面をつくります。 子供たちが、俳優と一緒につくるクライマックスシーン 誰もが共演者となり、表現する楽しさ、人とものをつくる喜びや達成感を共有してほしいと考えています。 **◆ 最上級生が舞台で歌う「旅立ちの歌」** 卒業前の思い出のひとつとなるよう、最上級生全員が舞台に立ち、地球へ旅立つ王子と共に「旅立ちの歌」を歌います。 俳優と最上級生がつくる旅立ちの場面 **◆ 先生方の共演シーン** 子供たちが「先生も一緒につくっている舞台だ」と喜びを感じられるために、王子がさまざまな星をめぐる場面で先生方に「呑み助」役、「地理学者」役での出演をお願いしています。 「呑み助」役を演じる先生  「地理学者」役を演じる校長先生 **◆ 演奏による参加** 王子さまが歌う劇中の歌「光と影」では吹奏楽部や音楽クラブが、演奏で参加することも可能です。

演劇への興味・関心を育み、舞台づくりのプロセスに多面的に触れられる交流・体験プログラムをつくりました。

◇ **バックステージ・ツアー（舞台裏見学）**

俳優とスタッフが、体育館に設営された舞台を案内します。本番で使用する道具や衣装に自由に触れる、表からは見えない舞台づくりの仕組みと工夫を体験します。



◇ **音響・照明のオペレート体験**

舞台を支えているスタッフの仕事を体験します。音響や照明の専門スタッフによる、音の出る仕組みやスポットライトの仕組みなどの説明を受け、子供たちが実際に操作してみます。

◇ **共演者・スタッフを身近に感じる様々な交流**

俳優・スタッフと「将来の夢」や「職業」について話し合う座談会。終演後に俳優と触れあい、感想を伝え合うなどの機会をつくります。

このような参加・体験を通して「みんなと、先生と、一緒に舞台をつくった！」という感動が、子供たちの心の経験、学校のかけがえのない思い出となることを願い、プログラムをつくりました。出会いと触れあいの中で、子供たち同士、また子供たちと先生の間に新しい「発見」や「対話」が生まれることを期待しています。

終演後の先生と子供たちの様子

出　演　者	白根有子／緒方一則／工藤順子／渋谷愛／酒井宗親／栗山友彦／坂牧明　ほか バリアフリー対応の場合：舞台手話通訳１名・音声ガイドナレーター1名

公演出演予定者数 （1公演あたり）	出　演　者：9～11　名 ス　タ　ッ　フ：12　名 合　　計：21～23　名	機 材 等 運搬方法	積載量　11ｔ／4ｔ 車　長　11.4m／8.4m 台　数　2　台

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>会場条件によって舞台設営の所要時間は異なりますが、目安として以下のようなスケジュールで公演を行っています。

前日仕込み((有)・ 無) 会場設営の所要時間 ([前日]～2 時間／[当日]2 時間半)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>8時半</td><td>8 時半～12 時
(リハーサルを含む)</td><td>13 時～
14 時 40 分</td><td>10 分</td><td>15 時～17 時半</td><td>17 時半</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。

前日仕込みの内容や舞台裏見学・オペレート体験などの公演当日のプログラムは、先生方と話し合い、一校一校作成していきます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>～1000 人</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>～1000 人</td></tr>
</table>

ワークショップ 実施形態 及び内容	**ワークショップは共演のための練習です。全校児童・生徒を対象に行い、本番で共演する『星の王子さま』のクライマックスシーンを俳優と一緒につくります。** **① 出演シーンの説明** はじめに演出家が、『星の王子さま』のあらすじ、児童・生徒の共演シーン（王子が飛行士に別れを告げて自分の星に帰るクライマックスの場面）を説明し、実演練習に入ります。 **② 王子を支える〈動き〉の実演** 俳優たちとの実演の中で、〈「やってみよう」とその場に立ち、王子と別れを告げて座る〉までの参加場面の一連の〈動き〉を体験します。 まずは王子とひとりひとりが向き合い、互いに気持ちを交感することから始めていきます。 **③ ソング「ぼくは行く」を俳優と練習** 王子を励まし歌うソング「ぼくは行く」に王子役・ヘビ役の俳優と取り組みます。 はじめは歌詞を言葉でやり取りしながら、少しずつ王子への想いを高め、メロディーにしていきます。 **④ 王子と別れを告げる台詞の練習** 飛行士役の俳優と一緒に、「おーい、おーい、どこへ行ってしまったんだよ」という台詞を全員で呼びかけます。自分の心に感じたものを大切に、それぞれの声とタイミングで表現できるよう指導していきます。 **⑤ 本番と同じように演じてみる通し稽古** 練習した〈動き〉〈歌〉〈台詞〉をもとに、全員でひとつの場面をつくります。
ワークショップ 実施形態の意図	ワークショップは、子供たちが共演する俳優と身体で向き合い、全員で演じることの達成感を得ることを意図しています。 子供は大人が思いもよらないほど、繊細かつ敏感な感覚で人や物事と向き合い、周りの環境からたくさんのものを身体で受けとめています。ワークショップでは、その子供たちひとりひとりが「心の中の想いを伝える」「他の人の気持ちを想像する」という表現の楽しさを感じながら、「見て、聞いて、感じ、自分の心に生まれたものを大切に演技する」ことを重視しています。 この一連のワークショップを通して、**子供たちが本番への期待をふくらませ、互いの違いを理解し合いながら〈全員でひとつのものをつくれるという豊かさ〉を共有して欲しい**と考えています。

特別支援学校での実施における工夫点	**基本的には他校と同様のワークショップ・本番を行い、先生方の意向を汲み、以下のような工夫をします。** **◇先生方の意向を伺い、それらを具体化するための打合せ** 先生方も安心と期待を持てるワークショップ・公演になるよう、先生の要望や疑問点を聞いていきます。そのうえで当日のスケジュールや上演時間、舞台設営の方法など、個々の学校に対応すべくプログラムを作成・提案し、実施に臨みます。 **◇個々の子供たちに対応した、観劇・参加のための環境づくり** 舞台設営においては、子供たちが通る通路の配線や道具の設置位置など、ひとつひとつ細かい点に気を配ります。 会場内の明るさや音の調整、パンフレット作成の工夫、鑑賞を補助する機材の導入、参加のためのスロープの設置など、よりよい環境で子供たちが観劇・参加できるよう工夫します。 **◇子供たちがいきいきと演劇に親しむための工夫** 子供たちが、先生方と一緒に親しみを持って共演者や舞台に触れ、「自分たちの舞台だ！」と感じられるよう、俳優との交流、音や光の操作体験、先生と一緒に舞台の道具や仕組みに触れる機会を多く設けます。 **◇視覚や聴覚の障害に関わらず、みんなが一緒に演劇を楽しめるための工夫** 目が見えない、見えにくい子供たちのためのライブによる「音声ガイド」、耳が聞こえない、聞こえにくい子供たちのための「日本語字幕の表示」、出演者と共に手話で演じる「舞台手話通訳」を付した〈バリアフリー演劇〉として公演を行うことが可能です。舞台の大きさの説明や出演者による自己紹介を行う事前の「舞台説明」や、手話通訳・UDトークを活用したワークショップにも取り組みます。 何より、すべての子供たちが舞台芸術に自由に触れ、友だちや先生と、一緒に楽しめる環境を創り出せるよう、先生方と細やかな打ち合わせを重ねながら、ワークショップ・公演を行いたいと考えています。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

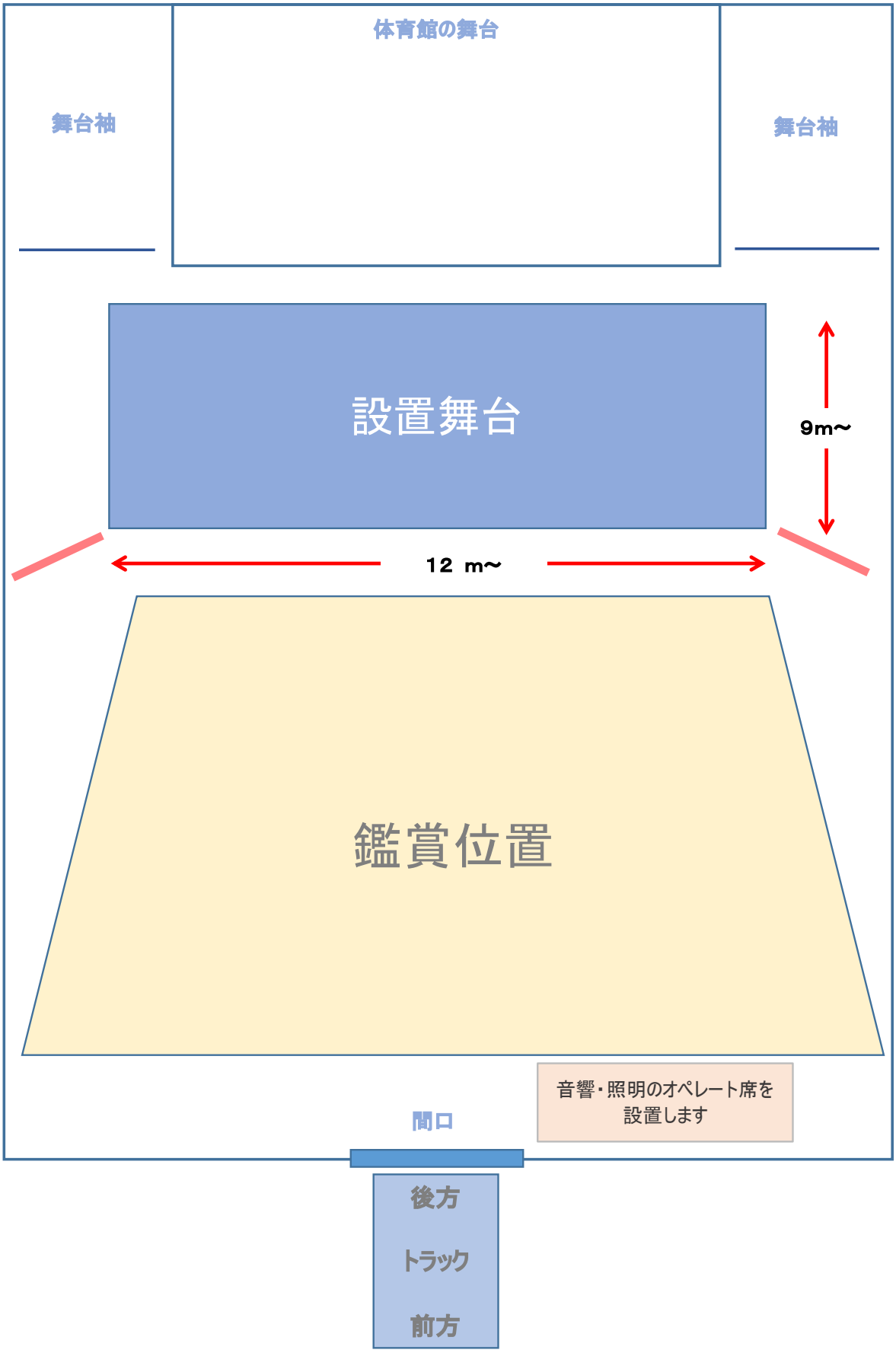
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1605	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック	B	区分	B区分
公演団体名	東京演劇集団 風				制作団体名	株式会社　東京演劇集団 風			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	特にありません				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			10tトラック　1台	中型バス　1台			
					4tトラック　1台				
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			10tトラック・4tトラック				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			不要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問わない				
	可	搬入経路の最低条件			特にありません				
		理由			学校の状況に応じてスタッフが搬入します				
	可	設置階の制限＊			問わない				
	―	搬入間口について 単位：メートル	幅	問いません	高さ	問いません			
WSについて	可	参加可能人数		全校児童・生徒の参加を提案しています					
	―	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		最大1000人程度					
	不可	舞台設置場所＊		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	12m	奥行	9m	高さ	指定なし	
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		不要				
	―		舞台袖スペースの条件＊		ありません				
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由	暗幕がない場合は劇団が対応			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		どんな状況でも問題ありません				
	可	公演に必要な電源容量		150A	※主幹電源の必要容量 満たない場合でも電源車を用い公演が可能				
	その他特記事項								
	可	電源容量が満たない場合でも公演が可能です（劇団で発電機を用意します）							
	―	本公演当日は、11tトラック・4tトラック・中型バス（必要な場合は電源車）を使用します							
	―	ここに記載した条件は一例です。体育館の条件を問わず、本格的な舞台設営を行えるよう工夫します							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	問いません	高さ	問いません
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問いません		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

知ってますか？

10月1日は「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

東京演劇集団風

―未だ形を採らない豊かさを求めて

1987年に創立。
この名前には“自由に風のようにものをつくる”という思いが込められています。1999年には、東京・東中野に専属の拠点劇場〈レパートリーシアターKAZE〉を建設。
劇作家ベルトルト・ブレヒトや現代劇作家マテイ・ヴィスニユックなどの作品を中心に、現代劇を上演しています。2003年からは、国際演劇祭を開催し、海外アーティストとの交流や共同制作も行なっています。
また、中学生・高校生を対象とした巡回公演にも力を注ぎ、ブレヒト作『肝っ玉おっ母とその子供たち』、ヴィスニユック作『ジャンヌ・ダルク―ジャンヌと炎』をはじめ、6作品が各地での上演活動を続けています。特に創立以来、上演を続けている『星の王子さま』は劇団の代表作です。2017年には創立30周年を迎え、記念企画として、レパートリー作品と新作の上演を2年間にわたり行いました。

東京演劇集団風
Tokyo Theatre Company KAZE
〒164-0003 東京都中野区東中野1-2-4
Tel.03-336 3-3261［代］　Fax.03-3363-3265
E-mail: info@kaze-net.org　URL: http://www.kaze-net.org/

作　サン＝テグジュペリ　Saint-Exupéry
訳　内藤濯（岩波書店刊）
構成・演出　浅野佳成

ミュージカル　ほしのおうじさま

星の王子さま

東京演劇集団風

文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

令和２年度　文化芸術による子供育成総合事業 ― 巡回公演事業 ―

Le Petit Prince

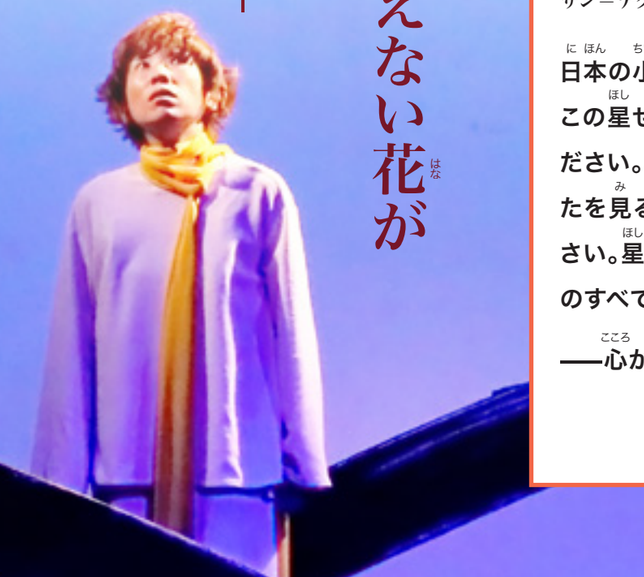
東京演劇集団風の

ミュージカル

星の王子さま

ちっぽけな星にひとりで住んで
いる王子さま。ある日、その星にきれい
な一輪の花が咲きます。王子さまは喜んで、花と仲良く暮らします
が、ある時ちょっとしたことでけんかになってしまいます。
そして王子さまは、自分の星を飛び出して、星を巡る旅に
出かけます。王子さまは、さまざまな大人たちと出会い
ますが、なかなか自分が住みたいと思う星が見つかりま
せん。最後に地球にやってきた王子さまは、砂漠で飛行
士と出会い、一緒に旅を続けます。飛行士や一匹のキツネ
と友だちになることを通して、誰にでも“かけがえのないもの”
があることを知った王子さまは、花が自分にとって大切な、守らなけれ
ばならない存在だと気がつきます。そして成長した王子さまは、飛行士と
地球に別れを告げて、花のために自分の星に帰ろうと決心するのです。

星があんなに美しいのも、目に見えない花が
ひとつあるからなんだよ——



キャスト

王子……白根有子
飛行士……緒方一則
キツネ……工藤順子
花……渋谷愛
星の住人 など……栗山友彦
蒲原智城
酒井宗親
坂牧明 ほか

スタッフ

音楽……八幡茂
演出助手…江原早哉香／西垣耕造
舞台美術…松井るみ
照明……坂野貢也
音響……酒見篤志
衣裳……出川淳子
振付……郡司行雄
舞台監督…前田浩和
制作……佐藤春江

フランスで生まれた作者サン＝デグジュペリは、
1943年、第二次世界大戦のさなかに、この小さな少年
の物語『星の王子さま』を書きました。大きな戦争の時代を経験したサン＝テグジュペ
リは、この作品に、“物事の奥深くにある真実を心で見てほしい”“思い出や美しいもの
を感じる心を大切にしてほしい”という想いを込めています。懸命に生きる小さな王子
さまの勇気と、美しさや、はかなさが描かれているこの物語の世界を大切に、『星の王子
さま』を上演しています。

“日本のすべての子どもたちへ”

東京演劇集団風の『星の王子さま』の上演活動に共感した
サン＝テグジュペリの遺族から日本の観客に届けられたメッセージ

日本の小さな子どもたちよ、あなたがたの勇気は、
この星ぜんたいにとってのお手本です。太陽がまた輝きだすという希望を失わないでく
ださい。あなたがたはわたしたちからはあまりに遠く離れているので、この目であなたが
たを見ることはできません。でも心の目で見ることができるのです。そして言わせてくだ
さい。星の王子さまはあなたがたとともにいて、あなたがたを助けてくれます。彼は世界
のすべての子どもたちの友だちです。彼はあなたがたの友だちなのです。

——心からの友情を込めて

フランソワ・ダゲイ François d'Agey
（サン＝テグジュペリ財団理事長 Succession Antoine de Saint Exupéry）

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	(バレエ)，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　A区分のみ　・　(A区分とB区分の両方)　・　C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　(あ り)　・　な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん すたーだんさーず・ばれえだん 公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団		
代表者職・氏名	理事長　法眼健作		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒107-0062 東京都港区南青山 2-22-4（東京メトロ銀座線外苑前駅）		
電話番号	03-3401-2293	ＦＡＸ番号	03-3401-2252
ふりがな 公演団体名	すたーだんさーず・ばれえだん スターダンサーズ・バレエ団		
代表者職・氏名	総監督　小山久美		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒107-0062 東京都港区南青山 2-22-4（東京メトロ銀座線外苑前駅）		
制作団体設立年月	昭和 56(1965)年　3 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長　法眼健作 常務理事　小山久美 その他理事　:4 名 監事　:1 名 評議員　:5 名 事務職員　:4 名	1)団体構成員　50 名 2)主な構成員 【総監督】小山久美 【ﾊﾞﾚｴ･ﾐｽﾄﾚｽ】小山恵美 【ﾊﾞﾚｴ･ﾏｽﾀｰ／常任振付家】鈴木稔 【団員】渡辺恭子、塩谷綾菜、池田武志、林田翔平他 加入条件:総監督、ﾊﾞﾚｴ･ﾐｽﾄﾚｽらの審査による。	

事務体制の担当	専任　・（他の業務と兼任）	本事業担当者名	小山久美、平野綾那 平野友里恵
経理処理等の監査担当の有無	（有）　・　無	経理責任者名	須藤陽子

制作団体沿革	太刀川瑠璃子を代表として昭和 40 年に創立。昭和 56 年には日本のバレエ団初の財団法人化を果たし、平成 24 年に公益財団法人となった。 邦人振付家の作品の上演に力を注ぐ一方、アントニー・チューダーをはじめとする海外の優れた近代バレエ作品を日本に紹介し、常に日本のバレエ界の発展を念頭に歩みを進めてきた。これまで年2～3回の自主公演、文化庁の移動芸術祭・青少年芸術劇場を実施し、近年では戦略的芸術文化創造推進事業やその他のワークショップやアウトリーチ等、普及活動にも積極的に取り組んでいる。海外公演は昭和 61 年北京での日中合同公演、平成 5 年ソウル国際舞踊祭、平成 14 年ドイツ・ハイルブロン市立劇場招聘公演、平成 19 年上海・南京公演、平成 22 年上海万博公演、令和元年パリ Japan Expo 公演等の実績がある。平成 27 年には創立 50 周年を迎えた。
学校等における公演実績	**芸術鑑賞教室**　学校からの依頼による「芸術鑑賞教室」を実施。 ＜実績例＞ 平成 17 年 「ジゼル」 東京女学館　昭和女子大学人見記念講堂 平成 18 年「ジゼル」 吉祥女子中学高等学校　府中の森芸術劇場 平成 23 年 「コッペリア」 東京女学館　ゆうぽうとホール 平成 29 年 「ジゼル」 跡見学園中学校・高等学校　東京文化会館 **ワークショップ等アウトリーチ活動**　子どもを対象としたアウトリーチ活動を展開。 ＜実績例＞ **平成 17～26 年度**　東京都「子どもたちと芸術家の出あう街」のアウトリーチ活動として都内の小学校などでワークショップや小規模公演を実施。 **平成 26 年度～継続**　小田原市内小学校にて公演及びワークショップを実施。 **平成 27 年度～継続**　特定非営利活動法人子ども劇場東京都協議会が実施する「文化芸術による子供の育成事業（芸術家の派遣事業）」において小学校でのワークショップを担当。
特別支援学校における公演実績	■　平成 22 年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」において 1 校実施。 実施校：北海道余市養護学校しりべし学園分校 ■　平成 24 年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演）」において 1 校実施。 実施校：兵庫県篠山市立篠山養護学校 ■　平成 26 年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において 1 校実施。 実施校：福井県立奥越特別支援学校 ■　平成 27 年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において 1 校実施。 実施校：福井県立南越特別支援学校 ■　平成 28 年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において 2 校実施。 実施校：金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校、富山県立にいかわ総合支援学校 ■　平成 29 年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において 2 校実施。 実施校：北海道鷹栖養護学校、岩手県立宮古恵風支援学校 ■　平成 30 年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」において 2 校実施。 実施校：茨城県立霞ケ浦聾学校 このほか、特別支援学校教員や理学療法士の協力のもと障がいのある子どもたちを対象とするダンスプログラム「We Ballet!（ウィー・バレエ）」を開発し、平成 28 年より実施している。

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	（有）　・　無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	（有）　・　無

		※公開資料有の場合 URL	**第 1 部** https://www.youtube.com/watch?v=QWTTOjZ-NSI **第 2 部** https://www.youtube.com/watch?v=AUwg8In6fRM
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有　・　無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

Ａ区分・Ｂ区分・Ｃ区分共通

No.2(実演芸術)

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名 公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団】**

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生
企画名	シンデレラ
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	**第 1 部 「バレエって何だろう」** 構成・演出 小山久美 **第 2 部 「舞台をみてみよう」** 『シンデレラ』 原作: シャルル・ペロー 作曲: セルゲイ・プロコフィエフ 演出・振付: 鈴木稔 公演時間(80～100 分)

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	○	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要	●体育館の舞台を前方に張り出して拡げ、劇場のように照明機材を設置し、本格的な舞台空間のなかでバレエをお楽しみいただきます。舞台を拡張することで、フロアに座る全ての児童・生徒たちにとって鑑賞しやすい環境を作ります。 **第 1 部「バレエってなんだろう」** バレエについて実演を織り交ぜながらやさしく説明し、次に続く第 2 部の作品が細部までよく理解できるよう導きます。児童・生徒による体験コーナーもあります。 **第 2 部「シンデレラ」** 子どもにも親しみやすい演目として「シンデレラ」を上演します。美しいプロコフィエフの音楽や見どころはそのままに、ダイジェスト版として約 45 分にまとめました。途中にはあらすじ解説も組み込まれるので、どなたでも安心してお楽しみいただけます。意地悪なお姉さんたちの愉快なシーンや、涙がほろっとするような心に響くラストシーンなど、起伏に富んだ演出で児童・生徒を飽きさせることなく、常に大きな満足感を与えています。

<table>
<tr><td>演目選択理由</td><td colspan="3">●1 部、2 部を通して、「人と人が心を通い合わせることの素晴らしさ」をテーマに演目を選択しました。言葉に頼らない表現形態であるバレエならではの、頭で理解するのではなく心で感じる体験を通して、豊かな心を育む一助となることを願っています。

●「シンデレラ」は、そのストーリーに誰もが一度は触れたことがあり、非常にわかりやすい演目です。バレエに馴染みのない人でも無理なく楽しんでいただけると考え選択しました。
また、「シンデレラ」の物語には、喜びや悲しみ等の様々な感情が含まれます。身体の動きと表現を通して喜怒哀楽を心で感じることができるため、子どもたちの想像力を刺激し、伸ばすのに最適な演目と考えます。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</td><td colspan="3">【小学生との共演】
「シンデレラ」の一場面で、十数名の児童がダンサーたちと一緒に舞台に上がり、演技に参加します。12 時の鐘とともに魔法がとけて逃げ出したシンデレラを、王子が残された靴を片手に探すシーンで、王子が児童の皆さんにもシンデレラの行方を聞いて回る、という設定です。事前のワークショップではこのシーンに取り組み、それぞれの個性や能力が発揮できるよう振付家が指導します。児童の皆さんが身体表現を体験し、ダンサーたちと共演して学校オリジナルの『シンデレラ』を創り上げたいと考えています。

また、ワークショップで学んだ踊りを舞台上で選抜メンバーが発表する機会もあります。

【中学生との共演】
公演の一部として、生徒たちによるダンスを舞台で発表していただきます。事前のワークショップにおいてダンスの基礎を学びながらひとつの踊りとして完成させ、それをバレエ団とともに観客の前で上演します。ダンスの特性やリズムの特徴をとらえ、スペースの使い方など互いに気を配りながら、皆で踊る楽しさを味わってもらうよう導いていきます。

【その他の参加・体験】
バレエの動きを紹介する公演の第 1 部では、数名の児童・生徒による体験コーナーを設けています。小学生は男性に高く持ち上げられるリフト、中学生は男性が女性をエスコートして支えるパートナリングに挑戦してみます。
 </td></tr>
<tr><td>出演者</td><td colspan="3">スターダンサーズ・バレエ団員 （別紙参照）</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者: 30 名
ス タ ッ フ: 25 名
合 計: 55 名</td><td>機材等
運搬方法</td><td>積載量 4t
車長 10m／車高 3.80m
台 数 2 台</td></tr>
</table>

№3(実演芸術)

【公演団体名　公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み((有)・ 無) 会場設営の所要時間(　　6　時間程度)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>8:00</td><td>8:00～12:30</td><td>13:30～15:10</td><td>10 分</td><td>15:30～18:00</td><td>18:00</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね 2 時限分程度(90 分)です。

いかなる搬入条件においても滞りなく実施するためには、前日に仕込みをすることを希望します。
<u>13:30 開演の場合のスケジュール＜例＞</u>
前日　装置搬入・仕込み(時刻は移動日程による)　　所要時間:約 3 時間
当日　8:00～　仕込み、リハーサル(公演団体)、公演準備　　所要時間:約 5 時間
　　12:30～13:00　リハーサル(児童との共演)　　所要時間:約 30 分
　　13:30　開演</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>約 50 名(100 名程度でも実施可能です)</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>上限なし(収容できる範囲)</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td colspan="2">講師
計 6 名(振付・演出家 1 名、指導助手 5 名)

対象人数
上限約 50 名
ただし、クラス単位、学年単位など選別方法は学校側にお任せし、50 名以上での参加をご希望の場合は可能な限り対応します。

内容
① 自己紹介、バレエのデモンストレーション(バレエってどんなもの？)
② バレエの挨拶、ポジションや動きに挑戦してみよう！
③ バレエの表現方法とは？(セリフつき、ジェスチャーのみ、バレエの 3 パターンでのお芝居を通して、言葉のないバレエの表現方法を理解する)
④ 実際に身体を使ってやってみよう！(バレエのステップに挑戦)
⑤ 本公演「シンデレラ」共演者の選抜</td></tr>
</table>

	まずはダンサーの実演を間近で見て身体による表現を理解していただき、次は一緒に楽しく身体を動かしていきます。そして、その動きを取り入れながら、公演で共演する部分を創り上げていきます。
ワークショップ実施形態の意図	・ バレエにおける知識を活用して、児童・生徒の皆さんがのびのびと自由に表現できるように指導します。「言葉で伝えること」と「身体の動きで伝えること」、その伝わり方の違いを感じることによって、コミュニケーション能力を刺激することを狙います。 ・ 本公演で出演する児童・生徒にとっては、照明や装置が入った大きな舞台でダンサーたちと共演し、さらに観客の前で自分を表現することは貴重な体験になるでしょう。「自分の表現が人にわかってもらえるように」工夫し、見る側にとっては「人の表現をわかってあげようとする」ことがポイントです。人と人が気持ちを伝えて分かり合える喜びを共有したいと思っています。
特別支援学校での実施における工夫点	**本公演について** ・ 第2部の「シンデレラ」は十分にわかりやすく誰でも楽しめる内容に創られているため、これまで担当した特別支援学校においても同様に上演しています。児童生徒の共演部分については、各校のご希望を伺った上で有無を決定します。 ・ 第1部はご相談の上、時間を短縮して上演します。体験コーナーでは、腕や手を使って着席したままできる身体表現を全員で体験し、第2部の鑑賞へとつなげます。 **ワークショップについて** ・ ワークショップでは、ダンサーの実演を間近で見て、音楽に合わせて一緒に身体を楽しく動かします。研修・経験を重ねた指導者が担当しますのでご安心ください。 ・ 指導者（ダンサー）と触れ合う時間をとるなど、学校側のご希望に柔軟に応じて適切なプログラムを構成することが可能です。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

No.2 別紙メンバー表（A区分）

解説	1	小山久美
ダンサー ＜内29名＞ （一部交替出演）	2	秋山和沙
	3	荒蒔礼子
	4	池田武志
	5	井後麻友美
	6	石川聖人
	7	石山沙央理
	8	岩崎醇花
	9	榎本文
	10	海老原詩織
	11	加地暢文
	12	柏知里
	13	角屋みづき
	14	金子紗也
	15	喜入依里
	16	久野直哉
	17	鴻巣明史
	18	塩谷綾菜
	19	鈴木優
	20	鈴木就子
	21	関口啓
	22	田中絵美
	23	谷川実奈美
	24	冨岡玲美
	25	友杉洋之
	26	仲田直樹
	27	西原友衣菜
	28	野口熙子
	29	橋本まゆり
	30	林田翔平
	31	フルフォード佳林
	32	前田望友紀
	33	南亜紗子
	34	宮司知英
	35	森田理紗
	36	山内優奈
	37	和田瞬
	38	渡辺恭子
	39	渡辺大地

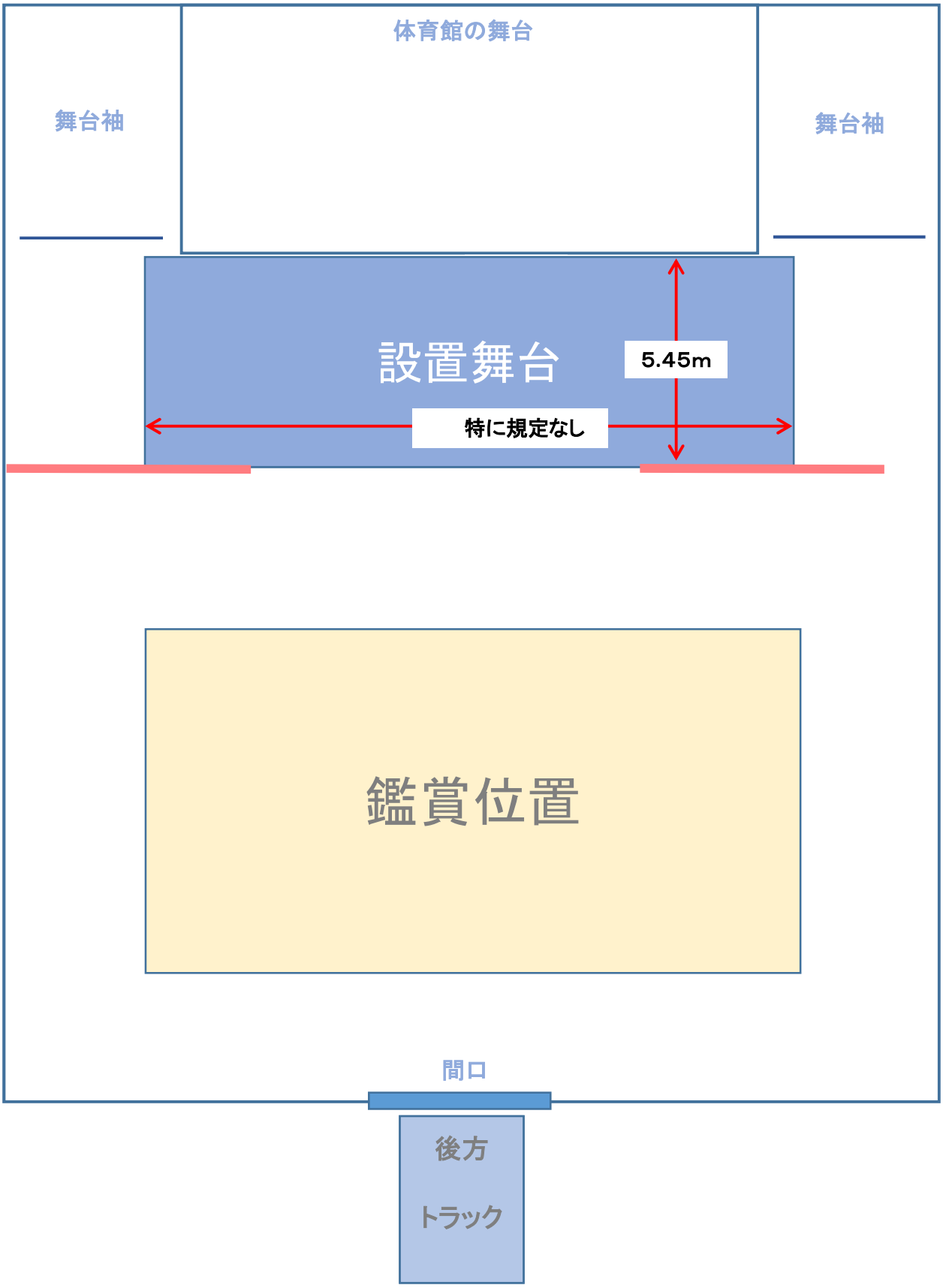
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	702	分野	舞踊	種目	バレエ	ブロック		区分	A区分
公演団体名	スターダンサーズ・バレエ団				制作団体名	公益財団法人　スターダンサーズ・バレエ団			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	男性，女性の着替え用であるためカーテンがある部屋が希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　2台	電源車　1台			
	可	来校する車両の大きさと台数＊			大型バス　2台				
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			車長　10m／車高　3.80m				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			出来る限り階段のない通路が望ましい。				
		理由			機材、大道具等の搬入をするため。				
	可	設置階の制限＊			基本的に2階以上不可だがエレベーターの設置有無や大きさ等により2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m	高さ	1.8m			
WSについて	可	参加可能人数		基本は50名ほど。柔軟な対応は可能。					
	可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊	低学年のみは不可			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		舞台設営後に収容できる人数					
	不可	舞台設置場所＊		体育館のステージ上					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	指定なし	奥行	5.45m以上	高さ	指定なし	
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	不要					
	―		舞台袖スペースの条件＊						
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	演出上の理由による			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	―	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	問わない					
	―	公演に必要な電源容量		不要	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								
	可	設置舞台は体育館の舞台からせり出す形となるため、舞台自体の奥行は「体育館の舞台＋5.45メートル」となります。体育館の舞台がなくても対応は可能です。従って参加可能人数も体育館の広さによって異なりますが、可能な限りお応えしますのでお気軽にご相談ください。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目(該当する**種目**に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，○現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　○A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り ・ ○な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃまじぇすてぃっく 有限会社マジェスティック		
代表者職・氏名	代表取締役　平 富恵		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒115-0055 東京都北区赤羽西 4-21-22(JR 赤羽駅)		
電話番号	03-3905-7900	ＦＡＸ番号	同左
ふりがな 公演団体名	たいらよしえすぺいんぶようだん 平富恵スペイン舞踊団		
代表者職・氏名	代表　平 富恵		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-2-1-B1F(JR 神田駅)		
制作団体設立年月	1998 年 4 月		
制作団体組織	役　職　員 代表取締役 1 名　平 富恵 取締役 1 名　Jeremy Aaron Eaton 経理 1 名　藤崎 祥子 事務職員 1 名　宮北華子 監査(監査役)1 名　平 妙子	団体構成員及び加入条件等 (1)団体構成員　個人 5 人 (2)主な構成員 平富恵(代表・舞踊家・演出家・振付家) 山田美貴子(常勤講師・舞踊家) 宮北華子(常勤講師・舞踊家) (3)加入の条件 5 年以上の経験者または基礎曲を全て習得したもの。専門的に舞踊活動を行える者。	
事務体制の担当	専任・○他の業務と兼任	本事業担当者名	宮北華子

経理処理等の監査担当の有無	○有　・　無	経理責任者名	藤崎祥子
制作団体沿革	代表 平富恵は、1988 年小松原庸子スペイン舞踊研究所に入門。以来、国内外公演に、プリンシパルとして多数出演。(2006 年独立) 1997 年スペイン留学。1998 年帰国後、NHK 教育をはじめ、TV、CM、ラジオ出演など多方面で活躍。同年、平富恵スペイン舞踊研究所スタート。より専門的なスペイン舞踊教育ができる機関を目指し、2001 年千代田区内神田に研究所専用スタジオ設立。 2002 年第 1 回 CAF フラメンココンクール優勝。2003 年スペインで開催の第 43 回カンテ・デ・ラス・ミナス国際フラメンココンクールにおいて日本人初のセミファイナル進出。審査員特別賞受賞。2004 年法人化し、(有)マジェスティック設立。毎年研究所生による劇場定期公演を開催し、昨年第 18 回目を実施。2009 年からは毎年、自主制作による劇場新作公演を発表。2010 年には「エル・スエニョⅡ」にて第 65 回芸術祭賞を受賞。2013 年「シャンバラ・ムーン」、2014 年「ゾディアック」、2015 年「真夏の夜の夢」、2016 年「梁塵秘抄」、2017 年「Hokusai Flamenco Fantasy」、八千代座「フラメンコの粋と情熱」、2018 年「愛の賛歌」、2019 年「ザ・クラシコ」を上演。H28-29(第 18 回)河上鈴子スペイン舞踊賞受賞。他、東京都に選出され都民芸術フェスティバルに出品、藤原歌劇団オペラなどにも振付および出演を果たすなど、様々な公演やスペイン舞踊普及のための講座活動を行う。		
学校等における公演実績	平成 22 年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」、 平成 23～25 年度「次代を担う子供の文化体験事業」、 平成 26 年度「文化芸術による子供の育成事業」に、蘭このみスペイン舞踊団依頼出演。 当舞踊団として、 平成 27 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて C ブロック(8 校)実施。 平成 28 年度同事業にて D ブロック(9 校)を実施。 平成 29 年度同事業にて F ブロック(14 校)を実施。 平成 30 年度同事業にて J ブロック(10 校)を実施。 令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」にて E ブロック(8 校)を実施。 令和2年度同事業にて A ブロック(11 校)を実施予定。(コロナによる中止校有り)		
特別支援学校における公演実績	平成 27 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 1 校実施 (茨城県立大子特別支援学校) 平成 28 年度同事業にて 1 校実施(愛知県立豊橋特別支援学校) 平成 29 年度同事業にて 3 校実施 (大阪府立平野支援学校、大阪府立守口支援学校、三重県立聾学校) 令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」にて 1 校実施 (福井県立南越特別支援学校) 令和2年度同事業にて 3 校実施予定(青森県立弘前聾学校、北海道手稲養護学校、北海道網走養護学校)＊北海道 2 校はコロナによる中止		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	㊒　・　無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	㊒　・　無
		※公開資料有の場合 URL	URL を提出いたします。 https://youtu.be/Bs5dvq8fYZw
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公　演　・　ワークショップの内　容　　**【公演団体名　平富恵スペイン舞踊団】**

<table>
<tr><td colspan="2">対　　象</td><td colspan="6">○小学生(　低学年　・　中学年　・　高学年　)○中　学　生</td></tr>
<tr><td colspan="2">企画名</td><td colspan="6">わくわく体験！スペイン舞踊・フラメンコの情熱世界</td></tr>
<tr><td colspan="2">本公演演目
原作／作曲
脚　　本
演出／振付</td><td colspan="6">スペイン舞踊「夢、フラメンコの情熱世界」
演出/構成/振付　　平富恵
公演時間(　90分)</td></tr>
<tr><td></td><td>著作権</td><td>○</td><td>制作団体が所有</td><td></td><td>制作団体以外が所有する事項が含まれる</td><td></td><td>(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)
許諾の有無</td></tr>
<tr><td colspan="2">演　目　概　要</td><td colspan="6">はじまりは、暗闇から幻想的な照明とともに、ミステリアスな音楽と声のナレーションが聴こえ一気に場内を舞台の世界へと引き込みます。森の自然が描かれた舞台上のパネルが開き、突如舞踊家が姿をあらわします。
導入には、壮大なスペイン舞踊を伝統的スタイルのドレスにショールとカスタネットを用い披露します。以降、様々なアイテムや衣装で、バラエティに富んだスペイン舞踊の主要スタイルをほぼ全て鑑賞できるように上演します。
　途中に、フラメンコについての解説をはさみます。
児童生徒には実際にパルマ(手拍子)とハレオ(かけ声「Ole!」の発声)、足打ちやダンスの体験して頂きます。また音楽コーナーでは、プロのミュージシャンがわかりやすく実演＆解説します。
　後半はスペイン舞踊をより古典的なものからモダンなものまで上演します。フラメンコの特に重要なナンバーを選曲しました。ギター・歌・舞踊が持つ独特の迫力と醍醐味を実際に味わって頂きます。

　全体を通し、スペイン舞踊の過去から現在への時間的・形式的な変遷を知ることができます。各曲にそれぞれテーマを持たせ(「夢」「絆」「愛」「人生」など)、低学年でも決して飽きることなく、また「人間模様」をテーマにした大人向け同様の曲も配置し、物語を想像する力を養う構成です。最後は、代表生徒の舞台パフォーマンスと、生演奏をバックに全員でのアンコールダンスを体験し、みる・きく・やってみると五感をフル活動させる内容です。</td></tr>
</table>

■実施プログラム構成

［前半 40～45 分］

1.マラゲーニャ：作曲家レクォーナのスペイン各地をテーマにした組曲「アンダルシア」の中で最も愛される名曲。風光明媚なマラガの女性を称えたメロディーは世界的にポピュラーである。

2.サパテアード：サラサーテの名作。題名が示すようにサパテアード（靴音）のみで、リズムを創り出し、ダイナミックに盛り上げる。

【スペイン舞踊＆カスタネット解説】

「スペイン舞踊」と「フラメンコ」の違いを解説します。

重要アイテムのカスタネットのデモンストレーション。

3.アラゴネサ：作曲家ビゼーの名作「カルメン」より。情熱的な女性「カルメン」の登場シーンとして親しまれている名曲中の名曲。

【フラメンコの解説＆体験コーナー】

フラメンコの成立ちやフラメンコとは何かを理解してもらう解説。ギタリスト、歌手、打楽器奏者のデモンストレーション。続いて児童生徒の皆さんには実際に手拍子パルマ、足打ちダンスを体験し、1 曲（ルンバ）を練習します。

休憩

［後半 0～55 分］

4.ムヘレス：スペインの大作曲家ファリャの名曲「ラ・ビダ・ブレベ（はかなき人生）」にのせて、ムヘレス（女性たち）の様々な生き方を表した作品。

5.タクトゥタ：フラメンコ発祥の起源と言われるインドのタブラ音楽にのせ“人の矛盾”を表す作品。「君は僕の話を聞こうとせず、僕は君に話をさせない。お互いに絶えず相手の話を

	遮っていたら、本当は、同じ思いを伝えたいということに一生気付かないだろう。」 **6.デリリオス・イベリコ**：静寂の中から、突如爆音が響き、スペイン舞踊のカスタネットを持った踊り手たちが、次々颯爽と踊る。続いて、曲はパルマに導かれ、徐々にフラメンコのリズムに変化する。重なり、止まり、また走る。様々な動きとともにスペイン舞踊の世界は繰り広げられる。 **7.リトモ・イ・コンパス**：フラメンコ最重要曲であるシギリージャ。カホン（リズム楽器）とカスタネットの絶妙な掛け合いに注目！ **8.ファンタシア**：扇子で優雅にグアヒーラを舞う女性たち。突然表れたいたずら青年が魔法をかけるとたちまち皆の動きは止まる。しかし、面白がっていた魔法使いの最後の運命は・・・。“恋”や“いたずら”、“逆転劇”などファンタジックな物語を想像させる人気の演出。 **9.ヴェラ・デ・サンタ・アナ**：帽子で踊る粋な曲ガロティン。70年代アンダルシアのエッセンスの上に、研ぎ澄まされた現代の感覚をちりばめた様々な次代の融合を探った意欲作。 **10.アレグリアス**：スペイン南端カディス発祥のカンテ・アレグレ（明るい歌）を代表する曲。港町の美しい情景を彷彿させるフラメンコならではの明るく楽しい曲。 **11.わくわく・de・フィエスタ**：フラメンコ公演の最後は、フィン・デ・フィエスタというお祭りの形式で終ることが多く、ここでは、生徒代表の晴れ舞台「ルンバ」の名曲パフォーマンスを披露します。その後、生の演奏にて、会場全員が立って踊り、楽しくフィナーレを飾ります。
演目選択理由	2009年から上演する舞踊団作品「エル・スエニョ（夢）」シリーズをこの事業公演版に改良しました。この公演は、2010 年文化庁芸術祭賞を受賞し、実績を重ね高評価を頂く自信作です。児童生徒には、分かりやすく、親しみやすく、楽しく参加ができる内容です。 日本ではフラメンコ公演は盛んですが、スペイン舞踊全般を扱う公演は少ないです。私どもはこのジャンルにおける数少ない専門家と自負しております。この公演により、フラメンコの持つ元気パワーや、生の舞台芸術の迫力を体験いただきたい。将来の重要になるユニバーサル性、多様性に触れていただきたい。 日本では、英語圏の文化は親しみがありますが、スペイン語圏の文化にはまだ馴染みがありません。スペイン語圏の文化は、世界的には非常に勢力が強く、特に欧米では第二外国語として定着しています。欧米と日本でのこの文化に対する理解度には、大きな差があります。今後の世界において、次世代を担う児童生徒のみなさんにとって、この多様性は必須となるでしょう。多彩なプログラムにより、この舞台芸術が、忘れ難い体験の一つとなること、そして「夢」の続きを担う次代の芸術家・芸術に携わる人が現れるきっかけになることを願っております。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	前半で、パルマ（手拍子）、ハレオ（かけ声）、足打ち、足打ちダンスに全員参加していただきます。これを活かし後半 1 曲「わくわく・de・フィエスタ」で、代表生徒さんには舞台上で、カホンとダンスにて披露して頂きます。その後、全員で、生演奏を背景に足打ち＆手拍子ダンスでフィナーレを飾ります。
出　演　者	平富恵、菊池和緒子、宮北華子、久保田晴菜、永田健、佐藤哲平、秦史乃、監物栞、濱野紗帆、小松美保、長谷川暖、容昌

公演出演予定者数 （1公演あたり）	出 演 者：12名 スタッフ：18名 合　　計：30名	機材等 運搬方法	積載量　4t 車 長　8.64m 台 数　2台

【公演団体名　平富恵スペイン舞踊団】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間（タイムスケジュール）の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(　　3 時間程度　)
<table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>8 時</td><td>8 時～11 時</td><td>14 時～15 時 45 分</td><td>15 分</td><td>16 時～18 時</td><td>18 時半</td></tr></table>→仕込み終了後から公演まではリハーサルを行います。
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>80 名程度（場合によっては 100 名前後もあります。ご相談ください）</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>会場の大きさにもよりますが、400 名程度</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>【ごあいさつ・文化の違い】 まず、自己紹介・舞踊団メンバーを紹介した後、スペインについての簡単な Q&A を実施し、ワークショップ内容を説明します。また導入として、映像を用いてスペイン文化・舞踊の種類を説明します。
【映像】
・スペインの街並み・文化紹介
・スペイン人から見た日本とは？
・スペイン舞踊とは？どんな種類があるの？
【フラメンコの解説】</td></tr>
</table>

・「フラメンコ」とは何か？踊り・音楽・歌？（音楽試聴＆クイズ方式で楽しく探ります。）
・「フラメンコの起源と歴史」をスライドを中心に解説します。
　＊フラメンコの曲は、リズムとメロディーによって区別され、曲の形式や意味がある等。
　＊フラメンコはどのようにして起こったのか？（最重要ポイント）
・フラメンコの歌、ギター実演。
・フラメンコの踊り実演

【体験コーナー】 ＊全て解説とデモンストレーション有り
参加人数や学校様側の希望にもよりますが、全員で出来るもの以外は、生徒さんを 3～4 グループに分け、順番に全ての項目を体験してもらう形式をとります。

- **パルマ（手拍子）**/表・裏拍、アクセントの取り方の体験。（フラメンコ特有）
- **サパテアード（足打ち）**/足の打ち方主な 4 種類を実際に体験。代表生徒は専用シューズを履き舞台上で、他の生徒も全員立って実際に体験。
- **ルンバ（足打ちダンス）**/足打ち、手拍子、回転、リズム、ステップ等による簡単な振付ダンスに挑戦。
- **カスタネット**/音楽で使うカスタネットと踊り用の違いを説明。実際に両手に持ってもらい体験。カスタネットを打ちながら、足打ち＆ターン＆ポーズでフィニッシュ。子供たちは思いのほかできます。
- **カホン**/四角い木製のリズム楽器を実施に体験。リズムリレーに挑戦。
- **ハレオ**/フラメンコにはハレオという掛け声があり、どういうタイミングでどのように掛け声をかけたらよいのか、一緒に声出しを体験

従　来

- 2 時限：座学講座＆体験講座　定員人数 100 名前後の生徒（代表学年または場合により全校生徒）

ワークショップ実施形態の意図	• ダンス経験がない、あるいは経験が浅い児童生徒に舞踊（音楽）を理解し、楽しんでもらえるように、また本公演の鑑賞時に少しでも興味を持てるように指導します。最初は日常的な動きから、どのようにダンスの動きに変わっていくかを体験してもらいます。 • バラエティ豊かに、多角的にスペイン舞踊を捉えてもらえるように考え、カスタネットやカホンなどの楽器も全員が実際に触れられるようにグループ分けを導入しております。 • ワークショップで覚えたパルマ（手拍子）やカホン、ダンスが 1 曲として完成し、学んだことが形になる達成感や共演者・仲間との一体感を味わえるようにします。 • 代表の生徒さんに本公演の出演プログラムを練習してもらいます。 • **スペイン語圏の文化は、全世界的には圧倒的な存在感を示しているものの、日本では触れる機会が少なく馴染みがないのが現状です。スペイン語文化は、世界では大勢力として中心に位置し、特に欧米では第二外国語としての理解度も高く、一般教養としての定着度における日本との格差は大きいです。世界は、益々多様性を必須とする中、日本の児童生徒にスペイン文化であるフラメンコ芸術の素晴らしさに触れてもらいたいという狙いを根底に持ちプログラムを進行します。**
特別支援学校での実施における工夫点	• 児童生徒の状況によりますが、原則的には全ワークショップ内容を実施できればと考えております。生徒さんの体調や集中力など様々なことに配慮しながら、あらかじめご担当の先生と綿密に打合わせたうえで、項目をカスタマイズしながら、当日は様子を見て進めます。（全体の上演時間や演目の調整を行うことは、可能ですのでお気軽にご相談いただければと存じます） • 着席したまま体験できる生演奏リスニングと Q&A、手拍子やカスタネット、そして掛け声（ハレオ）で、どのような方でも様々な形で参加し、楽しむことができるようにします。 • カホンなどの大きな楽器は、車椅子や寝たきりの児童生徒には先生にご協力いただきながら、メンバーがカホンを持ち上げ手の届くところまで持っていきます。実際に触ってもらう、叩いてもらい本物の音や振動を感じてもらう等の対応をさせて頂きます。 • **フラメンコは、踊り（やってみる・見る）、音楽（聴く・リズム）、振動（感じる）など様々な角度から子供達の五感に素晴らしい影響をおよぼすことと確信しております。** • **＊過去実施しました全特別支援学校からは、想像以上の良い成果を得られた旨ご報告をいただいております。**
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

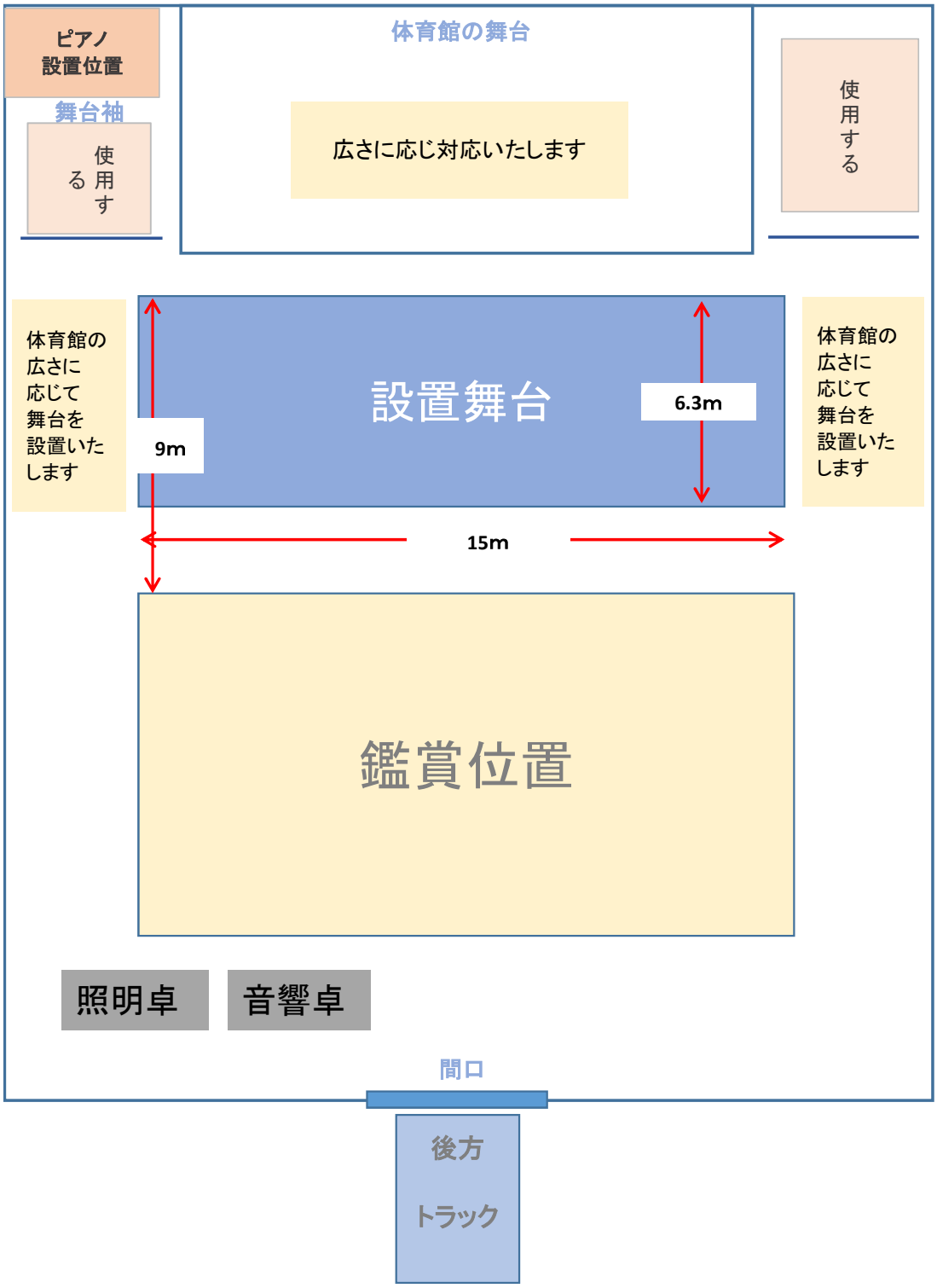
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	803	分野	舞踊	種目	現代舞踊	ブロック		区分	A区分
公演団体名	平富恵スペイン舞踊団				制作団体名	有限会社　マジェスティック			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	・男性、女性用の着替のため目隠し希望（カーテン等又はつい立てや模造紙などで隠せる部屋） ・できるだけ会場に近い。（同じ階） ・女性用は衣装準備で業務用アイロン使用のため、家庭科室など電圧に問題がない部屋。または、隣の部屋から電気を引っ張ってこられる部屋（目安：2ブレーカー必要） ・部屋の掃除。（裾の長い衣装など保護のため）衣装準備に時間がかかるため、部屋の机と床の清掃を事前にお願いしたいです。			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック　2台	電源車　1台			
	可				大型バス　1台				
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			車長10m/車高3.8m				
	不可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	不可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			20m以内				
	可	搬入経路の最低条件			コンクリートの、できるだけ階段のない経路				
		理由			多数のコンパネ板、舞台美術などの大道具と照明・音響機材を搬入するため				
	不可	設置階の制限＊			2階以上不可				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.5m	高さ	1.8m			
WSについて	可	参加可能人数		80名程度まで（場合によっては100名等もあります。応相談）					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		300-400名程度(体育館の大きさによる。合同開催等または劇場の施設利用が可能な場合には鑑賞人数を増やすことも可能です。)					
	不可	舞台設置場所＊		ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	15m	奥行	9m	高さ	—	
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		要				
	可		舞台袖スペースの条件＊		袖に荷物がない状態				
	可		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	演出上の理由による			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	—		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	問わない					
	—	公演に必要な電源容量		—	当方の電源車にて対応				
	その他特記事項								
	可	会場の規模と鑑賞可能人数は条件前後で対応可能ですのでお気軽にご相談ください。							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	約2m	高さ	約2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		不可		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

開催日程

開催日程	実施校名
2020年11月17日(火)	大館市立成章小学校
2020年11月18日(水)	十和田市立西小学校
2020年11月20日(金)	青森県立弘前聾学校
2020年11月27日(金)	盛岡市立米内中学校
2020年12月 1 日(火)	塩竈市立第二中学校
2020年12月 2 日(水)	大崎市立鳴子小学校

知ってますか? ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

フラメンコが世界遺産に。

フラメンコは2010年、ユネスコの世界無形文化遺産に認定されました。スペインの芸術文化だったフラメンコが、世界の文化として知られるようになるでしょう。

スタッフ

〈構成・演出・振付〉平　富恵　〈舞台監督〉伊藤 郷生　〈照明〉木山 正隆　〈音響〉須藤 洋

〈製作〉有限会社マジェスティック

令和2年度　文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―

平富恵スペイン舞踊団〈現代舞踊公演〉

スペイン舞踊「夢、フラメンコの粋と情熱」

文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。

また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

Flamenco's Passion and Spirit

昔から、人々は辛いことや悲しいことがあると、歌ったり、踊ったりして、
自分や仲間を励ましてきました。
また、嬉しい時にも歌や踊りで暮らしを豊かにしてきました。スペイン南部で
生まれたフラメンコには、人々を元気にする力がいっぱい詰まっています。
フラメンコの持つエネルギーや緊張感、不思議な力を体験しましょう。

■スペイン舞踊とは?

スペインには各地にたくさんの民族舞踊があり、有名なものにアンダルシアが生んだ民族音楽舞踊のフラメンコがあります。
また、アラゴン地方のホタ、古くはバレエの流れから独自に発達したエスクエラボレラ、さらに洗練されオーケストラ曲などで踊るスペイン古典舞踊(クラシコエスパニョール)などがあり、大きく分けてこの4つをスペイン舞踊といいます。

■フラメンコはどんな風に生まれたの?

アンダルシアは15世紀までの約800年間アラブに占領されていました。その後北部インドを追われた流浪の民ロマ(ジプシー)が、気候の良いアンダルシア地方に住み、彼らの音楽と、アラブ、アンダルシア固有の音楽などが混ざり合いフラメンコの始まりとなりました。ロマ達は、迫害を受け、安定した仕事を持てず、過酷な生活の中での嘆き、悲しみ、夢、はかなき希望などを歌にたくし感情を表しました。きっとその想いがフラメンコに他の民族音楽舞踊に見られない哀愁や奥深さを与えたのでしょう。

■フラメンコは踊りなの?

日本ではフラメンコは、「踊り」と思われていますが、本場スペインでは「うた」が主流と考えられています。前の部分で説明しましたが、ヒトの苦しみや嘆きを歌ったのがフラメンコの始まりです。そこに、指鳴らしや手拍子、踊りが加わり現在のフラメンコの形ができました。フラメンコは、うた・ギター・踊りの三つで一つなのです。
フラメンコには、「ハレオ」というかけ声をかける習慣があります。演奏や踊りの盛上りに達すると観客側から「オーレ」などと声がかかります。「オーレ」にはいいぞ、その調子だという意味があり、その声がかかると演者は、一層盛り上がるのです。見る側、行う側が一体となって創り上げていくのもフラメンコの醍醐味です。

スペイン舞踊家　平　富恵

平富恵スペイン舞踊団主宰。国内外の公演多数出演。NHK教育番組をはじめTVやCMに出演・振付など多方面で活躍。02年第一回CAFフラメンココンクール優勝。03年スペインの第43回カンテ・デ・ラス・ミナス国際フラメンココンクールにて日本人初のセミファイナル進出。審査委員長特別賞受賞。H22芸術祭賞、「RyojinHisho」「Hokusai Flamenco Fantasy」等意欲作にてH28−29河上鈴子スペイン舞踊賞受賞。

平富恵スペイン舞踊団

平富恵作品発表を軸に、スペイン舞踊公演活動をしている。2009年より文化庁芸術祭に連続出品を果たし、また文化庁事業、芸術団体公演に多数参加。「エル・スエニョ」「シャンバラムーン」「ゾディアック」「真夏の夜の夢」「愛の賛歌」などの代表作がある。

◆プログラム

第1部

1　マラゲーニャ　作曲:レクォーナ
組曲「アンダルシア」の中で最も愛されている名曲。
マンティージャ(レースの布)とカスタネットを使ったクラシコエスパニョールです。

2　サパテアード　作曲:サラサーテ
曲名の通りサパテアード(足音)の軽快な足さばきが目に浮かびます。

3　アラゴネサ　作曲:ビゼー
名作「カルメン」組曲の中の1曲。情熱的な女性"カルメン"の登場の場面として親しまれています。

スペイン舞踊とフラメンコのお話し
スペイン舞踊とフラメンコ、またフラメンコのリズムなどについて。
手拍子(パルマ)と足踏みダンス(サパテアード)、かけ声(ハレオ)に挑戦してみましょう!

休　憩

第2部

4　ムヘレス　作曲:ファリャ「ラ・ビダ・ブレベ(はかなき人生)」
ムヘレス(女性たち)の様々な生き方を情熱的に表すクラシコエスパニョール作品。

5　タクトゥタ
人の矛盾を表した作品。「君は僕の話を聞こうとしない。僕は君に話をさせない。
そうやっておたがいに相手の話をさえぎっていたら
本当は同じことを伝えたいと思っていることに、一生気づかないだろう」

6　デリリオス・イベリコ
カスタネットを鳴らすクラシコエスパニョールから、だんだんとパルマと共にフラメンコの世界に変化していく曲。

7　リトモ イ コンパス[シギリージャ]
人の悲しみや苦しみを唄った、フラメンコにとって最も重要な曲。変則的な5拍子。
カホン(木箱)とカスタネットがリズムを刻みます。

8　ファンタシア[グァヒーラ]
せんすを持ち優雅に踊る女性たち。突然現れたいたずら青年が魔法をかけるとたちまち皆の動きは止まる。
しかし、面白がっていた魔法使いの運命は・・・。

9　ヴェラ・デ・サンタ・アナ[ガロティン]
70年代アンダルシアと現代のモダン感覚をちりばめた帽子の粋な曲。

10　アレグリアス
フラメンコの代表曲。港町カディスで生まれたカンテ・アレグレ(明るい歌)を代表する曲。

11　わくわく・de・フィエスタ
民衆に愛されている愛嬌のある踊りルンバを生徒代表の皆さんのカホンリズムとともに楽しく踊ります。

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	(歌舞伎)・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　(あ り)・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんしゃだんほうじんげきだんぜんしんざ 一般社団法人劇団前進座		
代表者職・氏名	代表理事　今村民路		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町二丁目 4-3 前進座ビル 303 (最寄り駅＝吉祥寺)		
電話番号	0422-49-2633	ＦＡＸ番号	0422-45-0312
ふりがな 公演団体名	いっぱんしゃだんほうじんげきだんぜんしんざ 一般社団法人劇団前進座		
代表者職・氏名	代表理事　今村民路		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町二丁目 4-3 前進座ビル 303 (最寄り駅＝吉祥寺)		
制作団体設立年月	2017 年　6 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事　今村民路 理事　寺田克己　楠脇厚子 監事　寺田義雄・大久保康雄 文芸演出部長　中橋耕史 演技部長　河原崎國太郎 映放宣伝部長　菊池雅代 制作部長　楠脇厚子	(1)　団体構成員 個人52名（会員52名） (2)　主な構成員 ＊演技部員　35 名 ＊文芸演出部員　5 名 ＊制作・事務職員　11 名 ＊映放・宣伝部員　1 名　計 52 名 (3)加入条件　特になし	
事務体制の担当	専任　・　(他の業務と兼任)	本事業担当者名	**森田　賢**
経理処理等の監査担当の有無	(有)　・　無	経理責任者名	**佐藤琢人**

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">昭和6年、河原崎長十郎、中村翫右衛門、河原崎国太郎ら若い歌舞伎俳優によって劇団創立。「仮名手本忠臣蔵」を通し上演、「元禄忠臣蔵」連続上演などで注目を浴びる。映画「人情紙風船」などユニット出演、昭和12年武蔵野市に稽古場と住宅を併せ持つ研究所を建設。戦後すぐに行った“青少年劇場公演”に対し朝日文化賞を受賞、昭和28年名古屋歌舞伎座出演を契機に大阪歌舞伎座、名古屋御園座。京都南座、明治座、新橋演舞場等、大都市商業劇場での自主公演を続ける。昭和43年に株式会社となる。昭和45年「遠山の金さん」（中村梅之助）を皮切りにNHK大河ドラマ「花神」等テレビ出演も活発となる。昭和52年より国立劇場にて、歌舞伎を中心に伝統演劇を自主上演。昭和57年、劇団50周年を記念し、前進座劇場を竣工。平成29年6月、分社化。興行部門として一般社団法人劇団前進座を設立登記した。令和3年に創立90周年を迎える。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">前進座《青少年》劇場公演として、1991 年~93 年にかけて通算 256 ステージ上演。
2017 年 1 月京都先斗町歌舞練場にて、28 ステージ上演。
2017 年 2 月 3 月、フェアミリーを対象として、全国巡演 28 ステージ。（浅草公会堂・国立文楽劇場公演を含む）</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">参考資料の有無</td><td rowspan="3">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>（有）・無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>（有）・無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>https://youtu.be/KFzw7fislyE</td></tr>
<tr><td rowspan="2">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有・無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　**【公演団体名　一般社団法人劇団前進座　】**

対　　象	(小学生)(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ (中 学 生)
企画名	創作歌舞伎『牛若丸』
本公演演目 原作／作曲 脚　　本 演出／振付	創作歌舞伎『牛若丸』 併演『歌舞伎の楽しさ』 作:小池章太郎／演出:香川良成／振付:六世嵐芳三郎 装置:小林　楓／照明:寺田義雄／音楽:杵屋佐之忠 公演時間(120 分)

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要	あらすじ いまから800年ほど昔。世の中は源家と平家に別れて争っていました。源義朝の妻、常盤御前は、わが子牛若丸を連れて逃げているところを捕えられてしまいます。しかし、平宗清は、情けをかけて母子を逃がしてやるのでした。(伏見の里　雪の場) それから、何年か後、京の都に美少年が夜毎に五条橋に現われ、早業で人の刀を奪い取るとの噂が流れていました。実はこの少年こそ、牛若丸。噂を聞きつけた、武蔵坊弁慶は、懲らしめる為に牛若丸に斬りかかりますが、降参し、二人は主従となります。(五条橋　月の場) その後も、鞍馬山で剣術の稽古に励んでいた牛若丸は、大天狗僧正坊から、平家に打ち勝つための兵法書の一巻を与えられます。 その一巻を手に弁慶を伴い、勇躍して陸奥へと旅立つのでした。(鞍馬山　花の場) ・この作品は、前進座の創作歌舞伎であるが、単なるオリジナルではなく、日本舞踊『橋弁慶』や歌舞伎の古典に発想を得、伝統を継承しつつも発展的な作品となっている。 ・本編『牛若丸』の前段に、歌舞伎の解説・入門編『歌舞伎の楽しさ』を併演し、初めて歌舞伎と出会う子どもたちにとって、少しでも歌舞伎が親しみやすいものになるように、子どもたちの興味を引き出す構成となっている。
演目選択理由	前進座は、昭和6年、当時の歌舞伎界の因襲を改善したいとした、若き下積みの役者たちにより結成され、2016 年に85周年を迎えました。そうした経過があって、劇団活動の目的に伝統演劇の継承と普及を掲げ今日にいたっていますが、中でも歌舞伎劇を、日本の将来を担う青少年にも、そして日本の隅々まで届けたいとして、工夫・努力を重ねてきました。『牛若丸』は、創立60周年記念公演として平成3年に創作され、大きな評価を得たものです。(その後、系列の仕事として、平成10年に『土蜘蛛退治－金太郎と山んば－』平成 23 年『髪飾不思議仕掛』を世に問うている) 雪・月・花と 3 幕構成となっており、がそれぞれ日本の伝統的な美を象徴しています。それぞれの場面に明確な見せ場があり、長いセリフの言い回しも少ないので、初めて歌舞伎を観る子どもたちにとっても楽しい舞台となっている。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	『歌舞伎の楽しさ』では、歌舞伎での音楽の紹介や、立廻り・附け・見得などを紹介します。生徒の代表に舞台に上がっていただき、出演者と共に、太鼓で自然現象を表現したり、女形や歌舞伎の演技を実演していただきます。また、参加生徒全員で、見得を体験、大向うの掛け方などレクチャーし、声を出していただきます。
出　演　者	牛若丸:玉浦有之祐／武蔵坊弁慶:渡会元之／常盤御前:早瀬栄之丞 監物太郎頼方:新村宗二郎／平広盛:藤井偉策／平宗清:忠村臣弥 僧上坊実は鬼一法眼:松涛喜八郎／郎党1:嵐市太郎／郎党2:和田優樹

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者:　9名 スタッフ:　15名 合　　計:　24名	機 材 等 運搬方法	積載量　4 t 車 長　7m 台 数　1台

【公演団体名　一般社団法人劇団前進座　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(8 時間程度)
<table><tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr><tr><td>時</td><td>8:00～13:00</td><td>13:30～15:30</td><td>15 分</td><td>15:45～17:15</td><td>17:30</td></tr></table>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。
前日は 18:00～21:00</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td><table><tr><td>ワークショップ</td><td>100 人以下</td></tr><tr><td>本公演</td><td>500 人以下</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>① 歌舞伎の成り立ちや、歌舞伎の種類、「立役」「女形」など、歌舞伎の簡単な解説を行います。
② 歌舞伎のセリフや見得などの演技を体験していただきます。
③ 附打、鳴り物など歌舞伎の効果音、体験していただきます。
立ち廻りを体験していただき、セリフと組み合わせてグループで発表します。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態の意図</td><td>事前に、世界無形文化遺産でもある歌舞伎について学習、体験することにより、演劇の楽しさ、先人が育んできた豊かな伝統への興味がわいていく、きっかけにしたい。観劇への導入、期待につなげたい。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td>解説部分を少なくし、体験していただくことを増やしたいと思います。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

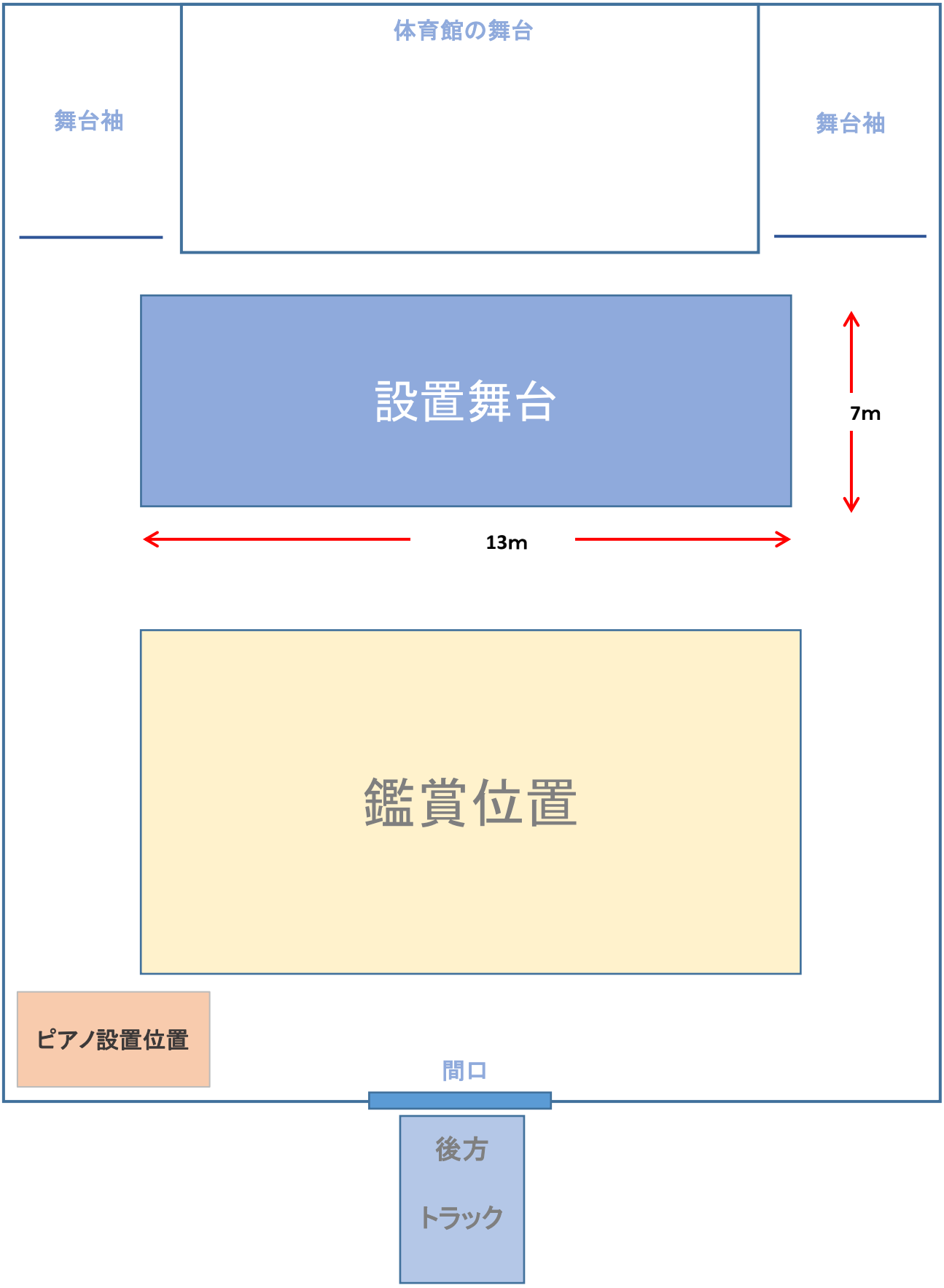
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	919	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック		区分	A区分
公演団体名	一般社団法人　劇団前進座				制作団体名	一般社団法人　劇団前進座			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	合わせて教室2室相当の広さがあるのが望ましい				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			4tトラック		1台		
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック（車長7m）				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内				
	不可	搬入経路の最低条件			搬入経路の広さ				
		理由			大道具の搬入のため				
	不可	設置階の制限＊			2階以上不可				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m以上	高さ	2m以上			
WSについて	可	参加可能人数		100名以下					
	可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊	高学年			
	可	所要時間の目安 単位：分		90分					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		500名					
	不可	舞台設置場所＊		フロア					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	13m以上	奥行	7m以上	高さ	指定なし	
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊		不要				
	―		舞台袖スペースの条件＊						
	可		緞帳＊	要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	演出効果を妨げないため			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	―		ピアノの事前調律＊		不要				
	不可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量		100A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m以上	高さ	2m以上
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

創作歌舞伎
牛若丸
作◎小池章太郎 演出◎香川良成 振付◎六代目嵐芳三郎
併演『歌舞伎の楽しさ』
弁慶 渡会元之
牛若丸 本村拓樹
常盤御前 早瀬栄之丞
今輝く伝統の美
庶民が愛した歌舞伎
味わい尽くす
至福の時間

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・(能楽)・人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　あ り ・ (な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん うめわかかい 公益財団法人 梅若会		
代表者職・氏名	代表理事 梅若 善政(芸名:梅若 実)		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒164-0003 東京都中野区東中野 2-6-14(JR 東中野駅・地下鉄 東中野駅 中野坂上駅)		
電話番号	03-3363-7748	ＦＡＸ番号	03-3363-7749
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうじん うめわかかい 公益財団法人 梅若会		
代表者職・氏名	代表理事 梅若 善政(芸名:梅若 実)		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒64-0003 東京都中野区東中野 2-6-14(JR 東中野駅・地下鉄 東中野駅 中野坂上駅)		
制作団体 設立年月	昭和 36 年 10 月		
制作団体 組織	役職員 代表理事 梅若善政(芸名 実) 常務理事 梅若靖記(芸名 長左衛門) 監事 宮内威 理事 10 名、評議員 10 名	団体構成員及び加入条件等 団体構成員：個人（能楽師）：正会員 27 名 準会員 22 名 主な構成員：梅若善政（芸名 実・重要無形文化財各個認定保持） 加入条件：能楽の所定の免状取得および代表理事の承認	
事務体制の担当	専任 ・ (他の業務と兼任)	本事業担当者名	理事 山崎 正道 事務局長 山本 祥一
経理処理等の 監査担当の有無	(有) ・ 無	経理責任者名	事務局長 山本 祥一

制作団体沿革	1. 歴史 猿楽の発祥の地とも言われている丹波地方において、平安時代の末期より鎌倉時代の初期に職業的猿楽師の団体があり、その中で丹波猿楽梅若の名が文献に出てきたのは、応永 23 年(1416 年)3 月 9 日の条に【仙洞に猿楽あり梅若仕る】と看聞御記に始めて出てきます。梅若家の系譜は奈良朝の橘諸兄に始まり、現梅若家当主四世梅若実(本名:善政)は橘諸兄から計算すると五十六代となります。 四世梅若実の曽祖父である初代梅若実(1828～1909)は、明治維新で幕府や大名家の保護を失った能の再興に尽力し、現在の能楽界の礎を築きました。初代梅若実は明治 4 年に青山下野守の舞台を譲り受け、厩橋(現台東区蔵前)に舞台を建てますが、その後戦火により焼失し、昭和 36 年、五十五世梅若六郎が現在の中野区東中野に我が国唯一の能楽教習の場として梅若能楽学院を開校、同時に財団法人の設立をしました。 設立当初より自主公演の定期開催と国内外の能楽公演等を中心に能楽普及振興のため精力的に活動しています。 2. 設立目的 当法人は、我が国固有の伝統芸能である能楽の普及振興及び人材育成を図るため、能楽の公演及び伎芸の伝承・継承と法人が所有する能舞台(梅若能楽学院会館)の貸与を広く一般へ行い、もって我が国芸術文化の向上発展に寄与することを目的としています。 3. 略歴 昭和 36 年(1961 年)8 月 5 日梅若能楽学院会館竣工披露能開催 同年 8 月 6 日梅若能楽学院開校式、初代校長岩倉具栄 同年 10 月 25 日財団法人認可 平成 24 年(2012 年)3 月 22 日梅若能楽学院創立 50 周年記念発表会開催 平成 26 年(2014 年)4 月公益財団法人移行認定
学校等における公演実績	1. 令和 2 年度 文化芸術による子供の育成事業において狂言「柿山伏」、能「殺生石」上演予定 (コロナウイルス感染症の影響により現時点で1校開催予定) ・岐阜県安八郡安八町立牧小学校(1回予定) 2. 令和元年度 (1)文化芸術による子供の育成事業において狂言「柿山伏」、能「殺生石」上演 ・三重県名張市立美旗小学校(1 回) ・三重県松阪市立大河内小学校(1 回) ・滋賀県湖南市立菩提寺小学校(1 回) ・滋賀県甲賀市立伴谷小学校(1 回) ・和歌山県橋本市立境原小学校(1 回) ・和歌山県紀の川市立調月小学校(1 回) ・和歌山県海南市立黒江小学校(1 回) ・和歌山県有田市立保田小学校(1 回) ・和歌山県上富田町立上富田中学校(1 回) ・奈良県香芝市立鎌田小学校(1 回) ・奈良県大淀町立大淀中学校(1 回) ・奈良県葛城市立新庄中学校(1 回) (2)学生能楽鑑賞会:福岡県下の5校に実施。(昭和58年より毎年継続して行われている

<table>
<tr><td></td><td colspan="3">高校生対象のレクチャー、鑑賞会）①生徒参加による能楽体験教室 ②狂言「柿山伏」、半能「土蜘蛛」実演

（3）その他
・IES 留学生のための能体験英語ワークショップ
・専修大学留学生のための能体験英語ワークショップ
・CIEE 留学生のための能体験英語ワークショップ
・宝仙小学校のワークショップ
・牛込仲之幼稚園ワークショップ</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">特にありませんが、特別養護老人ホームの訪問はございます。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>（有） ・ 無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>（有） ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有 ・ 無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容 **【公演団体名 公益財団法人 梅若会】**

対　　象	小学生(~~低学年 ・ 中学年 ・ 高学年~~) ・ 中 学 生
企画名	(公財)梅若会 能狂言鑑賞教室
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	1. ごあいさつとお話「狂言について」 2. 狂言「柿山伏」 3. お話「能について」 4. 能「殺生石」 ＊総合監修:梅若　実(芸術院会員・人間国宝・(公財)梅若会代表理事) 公演時間(100 分)

著作権	無	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	無	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要

1. ごあいさつとお話「狂言について」
冒頭に能楽師がごあいさつと能狂言の全体的な見方をお話します。一見堅苦しいイメージがある古典芸能に対して、各々がどのように接し、見たら良いか、感じたら良いかなどお話します。続いて狂言についてお話しします。このあと演じる狂言のあらすじについても解説しますが、最後の結末は伏せます。

2. 演目のあらすじ
(1)狂言「柿山伏」
大和の国(今の奈良県)大峰山・葛城山での修行を終わり、本国の出羽の国(今の山形県)羽黒山へ帰る旅の途中の山伏、修行のおかげで、空を飛ぶ鳥をも祈り落とす程の力を持つようになったと自慢しています。
さて、今朝早く出発したので空腹になった山伏は、柿の実が実っているのを見つけ、何とか落とそうと試みますが、うまくいきません。そこで柿の木に登って実を食べていると、見回りにやって来た柿の木の持ち主に見つかってしまいました。怒った柿主はわざと、「あそこにいるのは鳥だ、猿だ、鳶だ」と言っていじめます。山伏は懸命にそれらの物真似をして何とか取り繕おうとします。しかし最後に、「鳶ならば羽を伸ばして鳴くものだ。もうそろそろ飛び立つ頃だ。」と言われ、思わず高い木の梢から飛んでしまいます。

3. お話「能について」
能楽師が本日の演目解説を致します。当日配布予定のパンフレットを元にあらすじ、曲目に関する親しみやすい知識も含め、敷居が高くないわかりやすい解説をします。

(2)能「殺生石」
奥州の玄翁和尚（ワキ）が修業の途中、那須野の原の大石に近づくと、里女（シテ）にその大石は触れれば鳥獣も死ぬと声をかけられます。玄翁が話を聞くと里女はこの石は国を滅ぼそうとした野干の精（妖孤）だと話します。その野干は玉藻の前に化け鳥羽法皇に近づきましたが、野干と見破られて殺され、この石となった今も殺生を続けていると話し、実は自分がこの石魂と明かし石の中に消えます。（中入）　玄翁が仏事を営むと石が割れ中から妖狐（シテ）が現れ、三国（インド・中国・日本）の王朝に危害を加えた事を語ります。その後この国の武士達に討たれ石魂となっても悪事を続けていますが、妖狐は玄翁の御法により悪事を行わない事を約束し姿を消します。

演目選択理由	古典芸能との出会いは第一印象が最も大切であり、楽しく、わかりやすい曲目を検討した結果、能狂言の現行曲の中でも人気曲の狂言「柿山伏」、能「殺生石」を選択しました。 理由としては狂言「柿山伏」は学校教科書にも掲載されており、あらすじも大変わかりやすい内容となっていることです。 能「殺生石」は一般的に九尾の狐伝説として知られおり、現在もその殺生石は栃木県那須に実在し、観光名所となっています。比較的静かな印象がある能ですが、この曲は激しい動きもあり、限られた時間内で古典芸能の魅力を伝えることが可能な曲であることも採択理由のひとつです。 また、みどころに後半、狐の精が岩を割って登場するシーンがありますが、当会が所有する「岩」の作り物は分解、持ち運びが容易なため、能楽堂以外の会場でも省略せず、上演が可能となります。 ◆狂言「柿山伏」:物まねなど面白さの中に、山伏というカリスマ的な者への風刺的な要素もあり、子どもから大人まで楽しめる狂言です。 ◆能「殺生石」:インドから中国を経て日本へ渡り、国を傾けようとした狐の精の物語で、殺生石伝説の元になったものです。能の中でも動きが激しい場面があり、視覚的にも魅力がある曲目です。劇中、狐の精に化けた里女が自らの正体を語った後、石の中へ姿を消し、供養のため玄翁和尚が石を砕き割りますが、このとき使用した道具が今の大工道具のカナヅチ(玄能)の由来といわれています。また九尾の狐は子ども達に人気のあるアニメのキャラクターにも登場します。以上のようなトリビア的な知識もあり、幅広く日本の文化を認識することができると考えています。
児童・生徒の共演,参加又は体験の形態	１．事前ワークショップ「能楽鑑賞のためのみちびき」にて行います。 ２．体験の形態について （１）お話 10 分 ・能の歴史についておよび狂言「柿山伏」、能「殺生石」について解説します。 （２）能の動きを体験しよう（生徒代表20名まで）：30分 ・能の構え、摺り足等といった代表的な動きを学びます。 ・能における独特な動きの感情表現を体験します。 ・能面をつけて歩いてみます。（生徒代表20名の中から6名のみ） （３）能の楽器に触れてみよう（生徒代表 小鼓3名、太鼓3名）：10分 ・能の楽器（小鼓、太鼓）に触れてみます。道具に対して心をこめて扱うなどを学びます。 （４）謡を謡ってみよう（全校生徒）：10分 ・能「殺生石」の一部分を全員で合唱します。プリントを元に謡曲の独特な節使いなどをレクチャーし、皆で謡います。 （５）能面を見てみよう：15分 ・本物の能面を間近に見てみます。 （６）仕舞「殺生石」実演 ：5分 （７）質問コーナー等：10分 ・皆様からの質問にお答えします。 ３．参加可能人数：全校生徒対象（最少人数無し～500名） ４．所要時間：90分前後

出　　演　　者	シテ方:★山崎　正道・★小田切康陽・★角当　直隆・★山中　迸晶・松山　隆之・川口晃平・内藤　幸雄・伶以野陽子・小田切亮磨・山崎　友正・山中　景晶(11 名) (シテ方詳細はNo.2 別紙メンバー表参照) 狂言方:山本東次郎家(4名) 他　ワキ方 2 名、囃子方 4 名 ★重要無形文化財総合認定保持者 公演の出演者は人間国宝梅若　実に指導を受けた当法人所属のシテ方能楽師、また経験豊富な狂言方、囃子方、いずれも能楽の伎芸が高度なレベルに達した者で構成します。		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者:　21 名 ス タ ッ フ:　1 名 合　　計:　23 名	機 材 等 運搬方法	積載量 ｷｬﾗﾊﾞﾝｻｲｽﾞ 車 長　5m 台 数　3 台

【公演団体名 公益財団法人 梅若会】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(有 ・ (無)) 会場設営の所要時間(2時間程度)
<table>
<tr><td>到着</td><td>仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>時</td><td>10:30～12:30</td><td>13:00～14:40</td><td>10分</td><td>15:00～16:30</td><td>16:45</td></tr>
</table>
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td>児童・生徒の参加可能人数</td><td>
<table>
<tr><td>ワークショップ</td><td>最小人数無し～500名</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>全校生徒</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td>1．お話10分
・能の歴史についておよび狂言「柿山伏」、能「殺生石」について解説します。

２．能の動きを体験しよう（生徒代表20名まで）：30分
・能の構え、摺り足等といった代表的な動きを学びます。
・能における独特な動きの感情表現を体験します。
・能面をつけて歩いてみます。（生徒代表20名の中から6名のみ）

３．能の楽器に触れてみよう（生徒代表 小鼓3名、太鼓3名）：10分
・能の楽器（小鼓、太鼓）に触れてみます。道具に対して心をこめて扱うなどを学びます。

４．謡を謡ってみよう（全校生徒）：10分
・能「殺生石」の一部分を全員で合唱します。プリントを元に謡曲の独特な節使いなどをレクチャーし、皆で謡います。

５．能面を見てみよう：15分
・本物の能面を間近に見てみます。

６．仕舞「殺生石」実演 ：5分

７．質問コーナー等：10分
・皆様からの質問にお答えします。

８．参加可能人数：全校生徒対象（最少人数無し～500名）

９．所要時間：90分前後</td></tr>
</table>

ワークショップ実施形態の意図	一般的に敷居が高いと思われがちな古典芸能ですが、まずワークショップを通して見たこと、触れたこと、学んだことは、漠然とした古典芸能に対するイメージを払拭し、これまでより一層身近に感じてもらいたい意図があります。特に能の動き、感情表現を体験し、能面を付けて歩く等の楽しく新鮮な体験は、本公演を鑑賞するための大きな助けになり、より理解が深まるものと思っています。
特別支援学校での実施における工夫点	施設側と密な打合せを行い、可能な限りご要望に沿えるよう努力したいと思います。また過去に特別養護老人ホームを訪問した際に、ワークショップを入所者と共に行ったことがあり、その際得た経験を生かすことができると考えております。
実施可能時期	実施可能時期スケジュールをご確認ください。

＜おもな出演者＞

・山崎　正道（やまざき　まさみち）重要無形文化財総合指定保持
昭和 38 年 8 月生まれ。昭和 41 年初舞台。昭和 57 年五十六世梅若六郎（現 実）に入門師事。
昭和 53 年石橋、平成 2 年猩々乱、平成 6 年道成寺などを披く。
平成元年観世流準職分に認定。
緑英会（りょくえいかい）主宰

・小田切康陽（おだぎり　やすはる）重要無形文化財（総合）指定保持
昭和 40 年福岡生まれ。幼少より祖父・観世流シテ方小田切梧陽の手ほどきを受け、昭和 58 年観世流シテ方五十六世梅若六郎（現　実）に内弟子入門し平成 4 年に独立。
平成 5 年独立、石橋を披く。その後道成寺、望　月、翁、安宅を披く。
緑滄会（ろくそうかい）主宰

・角当　直隆（かくとう　なおたか）重要無形文化財（総合）指定保持
昭和 62 年入門。五十六世梅若六郎（現 実）に師事。
平成 7 年独立。昭和 47 年初舞台、仕舞「老松」。52 年初シテ「菊慈童」。披き昭和 57 年「石橋」。平成 8 年「猩々乱」。平成 9 年「千歳」。
平成 12 年「道成寺」。平成 16 年「望月」。平成 17 年「俊寛」。平成 19 年「翁」。
緑皇会（りょくおうかい）主宰

・山中　迸晶（やまなか　がしょう）重要無形文化財（総合）指定保持
昭和 45 年 1 月生まれ。父山中義滋、五十六世梅若六郎（現 実）に師事。
昭和 47 年初舞台「老松」。幼少より子方として舞台に立ち現在に至る。
平成 5 年より 2 年間、京都造形大学の非常勤講師を務め、同大学に初めて能学部をつくり、生徒と共に学園内での公演などを行う。平成 7 年、梅若六郎家に入門し 4 年間の修行期間を経て、平成 11 年春、卒業する。
緑蘭会(りょくらんかい)主宰。

・松山　隆之（まつやま　たかゆき）
昭和 50 年生まれ。五十六世梅若六郎（現 実）に師事。
昭和 53 年初舞台仕舞「老松」。
通年、国内公演に多数参加の他、これまで数々の海外公演にも参加。
舞台活動の他、多方面に亘る講演（寺院・百貨店・施設ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱなど）や稽古事の指導にも積極的に従事。児童・生徒に向けた公演・講演にも携わる。
緑翔会（りょくしょうかい）主宰

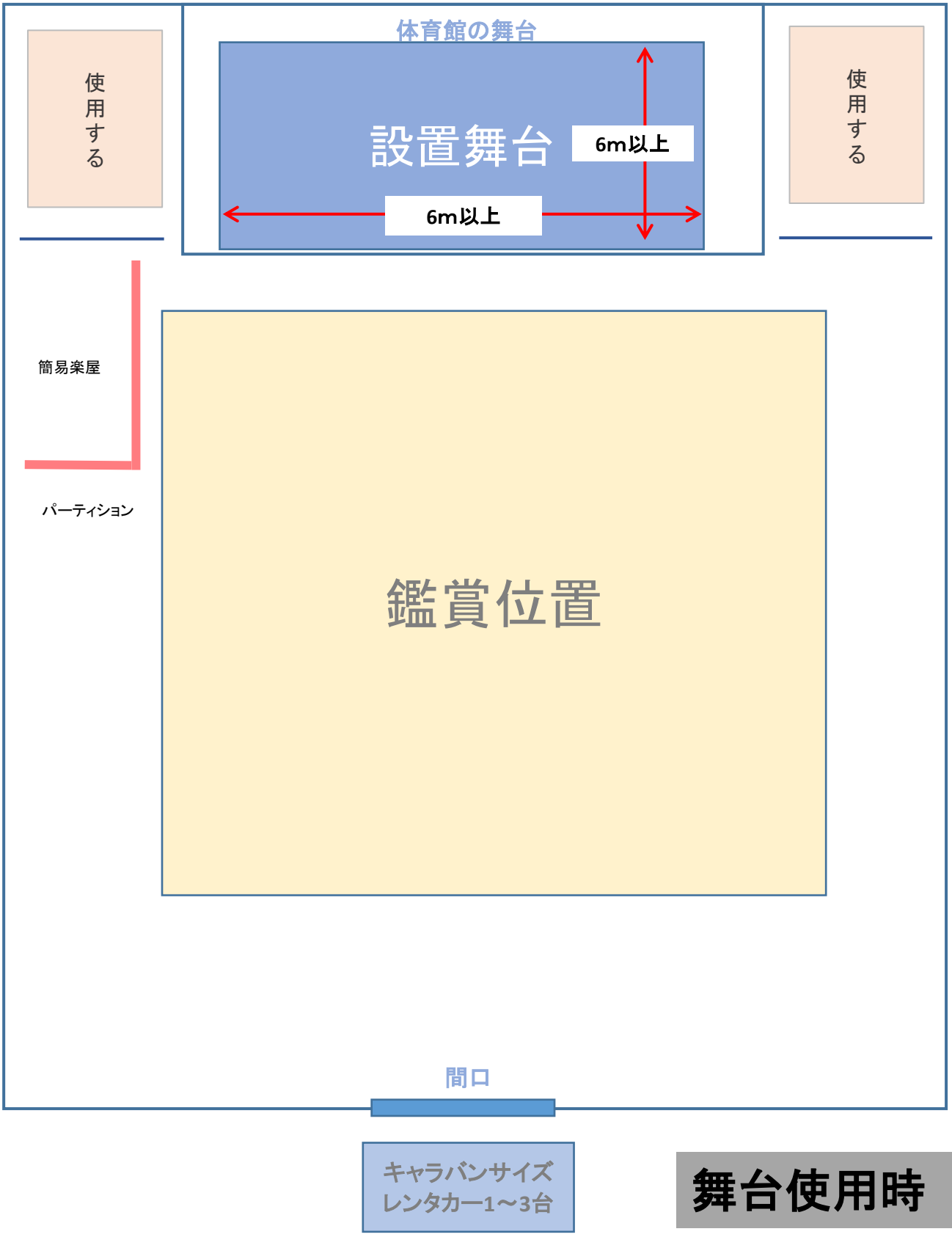
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	935	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック		区分	A区分
公演団体名	公益財団法人　梅若会				制作団体名	公益財団法人　梅若会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	―	必要数＊	不要	条件	なし				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　3台		乗用車　4台		
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			およそ全長5m×全幅1.7m×全高2.3m				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			できる限り屋根のある経路が望ましい				
		理由			舞台上で使用するカバーできない大きさの道具の搬入出のため				
	―	設置階の制限＊			問わない				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m		高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数		最少人数なし～500名					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊		なし		
	可	所要時間の目安 単位：分		90分前後～100分前後					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		会場設営：11:00-12:30・本公演：13:00-14:40・内休憩10分 撤去：15:00-16:00・退出16:10					
	可	鑑賞可能人数		全校生徒					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	6m以上	奥行	6m以上	高さ	ステージの高さで対応	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	出演者の着替えが可能な広さが必要					
	―		緞帳＊	不要		バトン＊	不要		
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由				
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		20A	※主幹電源の必要容量				
		その他特記事項							
	可	体育館で使用するワイヤレスマイクを数本使用させて頂きたくお願い致します。							
	可	出演者人数分のスリッパ（20足前後）をお借りします。							

会場図面(表記単位:メートル)

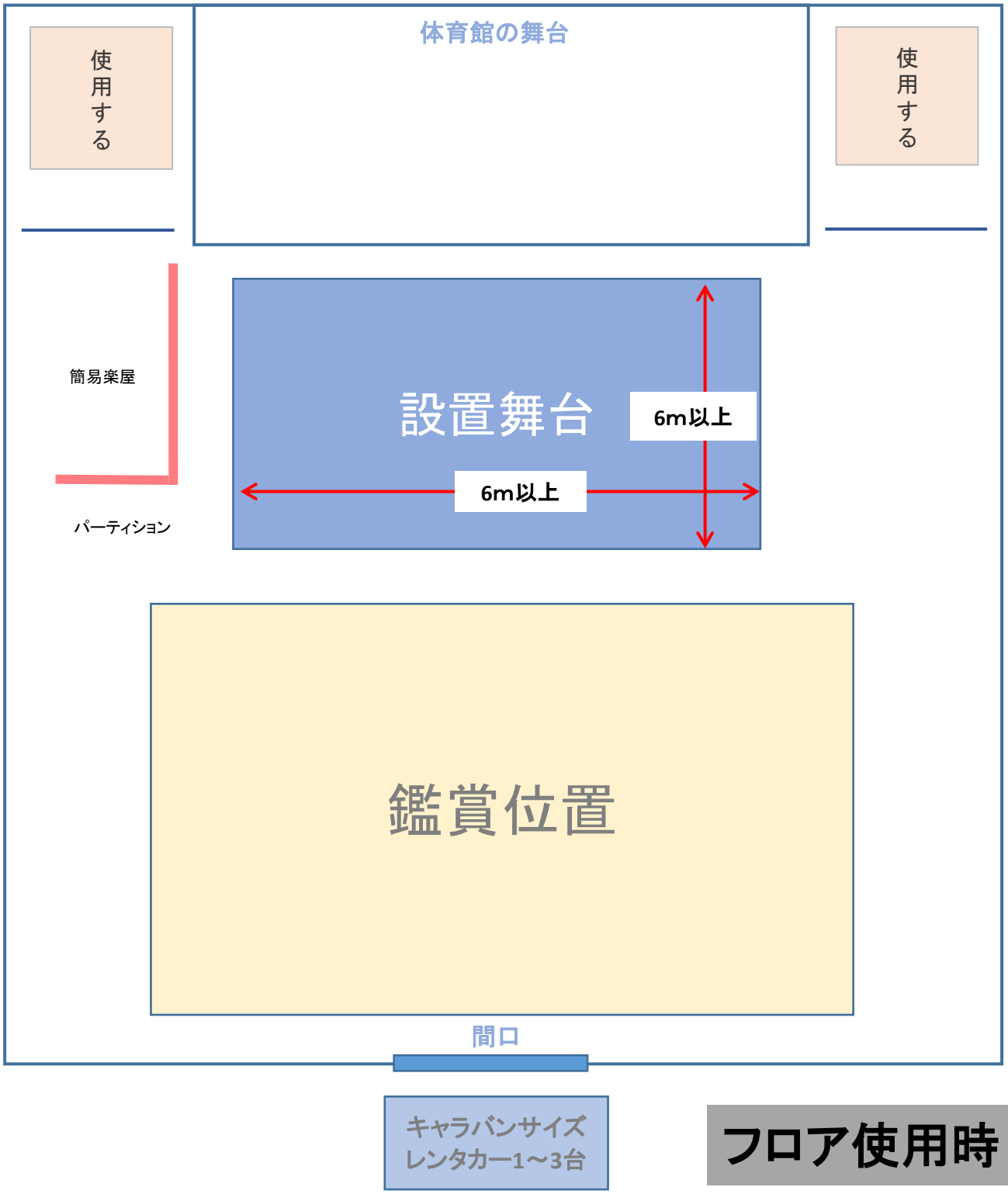


舞台使用時

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

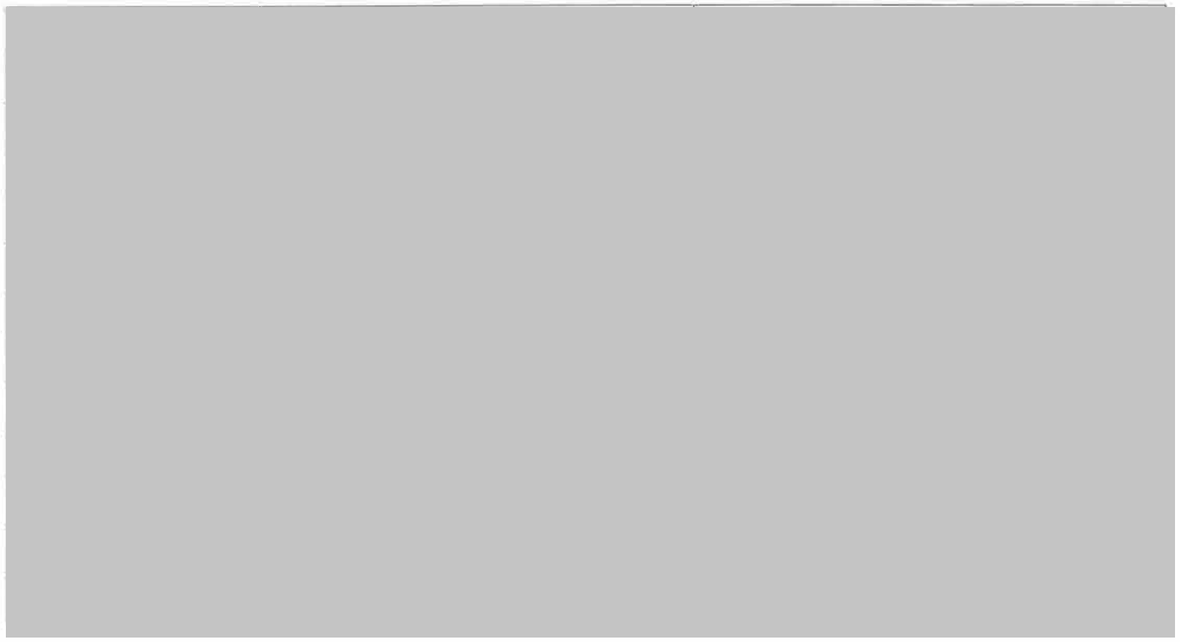
会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	10m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

公演日程



知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

公益財団法人梅若会

〒164-0003 東京都中野区東中野2丁目6番14号
TEL. 03-3363-7748
FAX. 03-3363-7749
ホームページ umewakanoh.exblog.jp
メールアドレス umewakakai.piif@gmail.com

公益財団法人梅若会は1961（昭和36）年に設立された、能楽観世流の主要団体のひとつです。当主の四世梅若実（人間国宝・日本藝術院会員）は、現代の能楽界を代表する演者のひとりであり、古典はもとより、新作上演にも積極的に取り組み、今日を生きる古典芸能としての能を支えています。梅若能楽学院会館（東京・中野区）を活動拠点に定期公演を開催する他、梅若能楽学院では後進の育成にも力を注いでいます。

撮影：神田佳明

発行：公益財団法人梅若会　イラストレーション・デザイン：中村健（MO' BETTER DESIGN）　編集：村岡駿作（HITODE BOOKS & PUBLISHING）

文化庁

令和元年度

文化芸術による子供育成総合事業

―巡回公演事業―

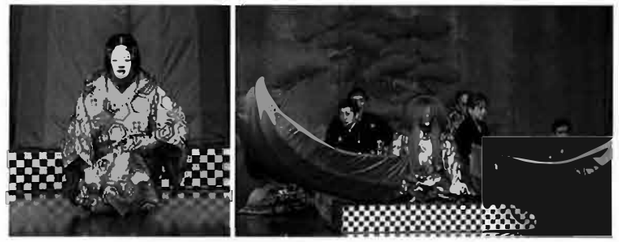
公益財団法人梅若会 能楽公演

本日のプログラム

1. ごあいさつ
観世流 梅若家当主 四世 梅若実
2. お話「狂言について」
3. 狂言「柿山伏」
4. お話「能について」
5. 能「殺生石」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



撮影：吉越研

今日の演目について知ろう

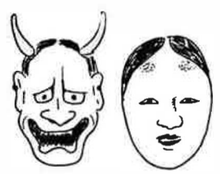
能「殺生石」あらすじ

玄翁という僧（ワキ）が、那須野の原（現在の栃木県）を通りかかったとき、巨石に近づいた空飛ぶ鳥が落ちるのを見て不思議に思います。そこに一人の女（前シテ）が現れ、石は殺生石といい、近づくと命を奪われると教えます。その昔、玉藻前という女官がいて帝に寵愛されていました。しかし狐の化身であることが知れたことで討たれ、その怨念が石となったのでした。女は自分こそがその玉藻前だといいながら消えていきます。

やがて、玄翁が祈りを捧げていると殺生石が２つに割れ、狐の霊（後シテ）が姿を見せます。そして、自らが討たれた様子と石となり生き物を殺してきた過去を語ります。しかし、玄翁の力で今はその恨みも消え、狐の霊は静かに去っていくのでした。

狂言「柿山伏」あらすじ

山伏が修行を終えて帰る途中、空腹に負けてしまい、柿の木に登って勝手に柿を食べ始めます。するとそこに柿の木の持ち主が現れて、木の上にいる山伏を見つけます。持ち主は、盗み食いをする山伏をからかって、そこにいるのは「犬だ」「猿だ」「鷲だ」といって、それに応えて山伏もモノマネをしてその場を逃れようとします。終いには「そろそろ飛び立つ頃だ」といわれ、山伏は柿の木から飛び降りてしまいます。遂に顔を合わせた山伏と柿の木の持ち主のふたり。さて、最後はどのなような展開になるのかというと……。



「なぜ」「どうして」を知る！

はじめまして

能と狂言

のう　きょう　げん

能と狂言は、どちらも古くから楽しまれてきた演劇です。いろいろな人が工夫をして、長い時間をかけて今のような奥の深い芸能になったのです。ここでは８つの話題から、そんな能と狂言の世界を少し学んでいきましょう。

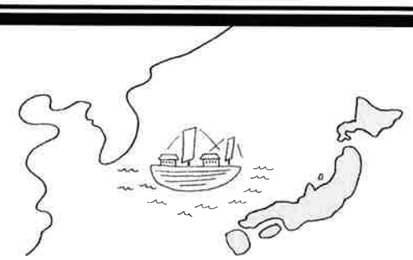
❶ 能ってなに!?

能と狂言、２つの芸能をまとめて「能楽」と呼びます。まずは能について、お話ししましょう。能は、仮面をつけて演じられる演劇です。神様が出てくるもの、鬼が出てくるものなど、たくさんの物語があり、その数は200種類以上もあります。笛・小鼓・大鼓・太鼓という楽器の演奏と、情景描写や登場人物の気持ちを独特のリズムをつけて謡い上げる地謡という人たちによって、物語が進んでいきます。主役をシテ、その相手役をワキといいます。

❷ 狂言ってなに!?

次は、狂言のお話しをしましょう。狂言は、笑いを中心とした演劇です。主人公には、少しばかりイタズラをしてしまうお調子者や、嘘がバレてしまい大目玉を食らう間抜け者がたくさんいます。能には歴史上の人物が登場することもありますが、狂言は夫・妻・主人など、私たちの身近にもいる普通の人が主役になることが多い喜劇です。通常は２～３人で物語が進みます。

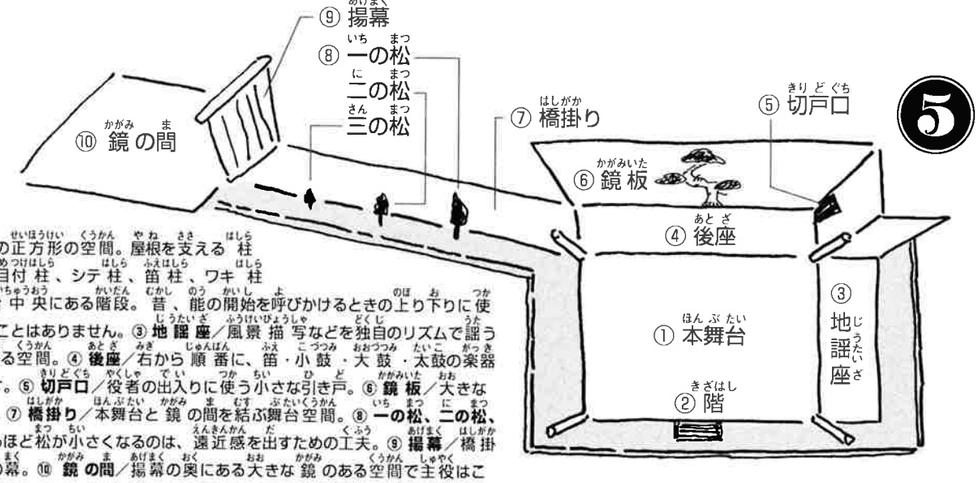
❸ 散楽➡猿楽➡能楽！



今から約700年前の室町時代、能は観阿弥と世阿弥という親子によって今のようなスタイルにまとめ上げられました。さらに古い時代には、猿楽と呼ばれていました。大陸から伝わったモノマネなどの芸能を散楽といい、それが訛ったというわけです。江戸時代には「式楽」という公式の儀式で用いられる芸能として認められ、能と狂言の地位は確かなものになりました。

❹ ベストセラー『風姿花伝』

観阿弥・世阿弥親子は、能楽を学ぶときの最重要人物！　そのふたりを知るのに欠かせないのが『風姿花伝』です。父・観阿弥の教えをもとに世阿弥が書き残した本で、日本で一番古い演劇論です。例えば、秘めることでモノの魅力が高まることを、世阿弥は「秘すれば花」という言葉で表現しました。今では日本文化を知る手掛かりとして、世界で読まれている名作なのです。

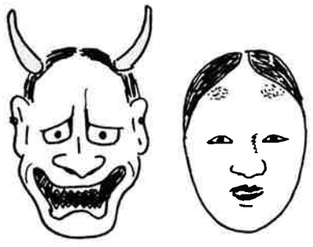


① **本舞台**／一辺が約6mの正方形の空間。屋根を支える柱は、左下から時計回りに目付柱、シテ柱、笛柱、ワキ柱といいます。② **階**／舞台中央にある階段。昔、能の開始を呼びかけるときの上り下りに使いましたが、今は使われることはありません。③ **地謡座**／風景描写などを独自のリズムで謡う地謡を担当する役者が座る空間。④ **後座**／右から順番に、笛・小鼓・大鼓・太鼓の楽器を演奏する役者が並びます。⑤ **切戸口**／役者の出入りに使う小さな引き戸。⑥ **鏡板**／大きな老松が描かれた舞台背景。⑦ **橋掛り**／本舞台と鏡の間を結ぶ舞台空間。⑧ **一の松、二の松、三の松**／本舞台から離れるほど松が小さくなるのは、遠近感を出すための工夫。⑨ **揚幕**／橋掛りと鏡の間を仕切る五色の幕。⑩ **鏡の間**／揚幕の奥にある大きな鏡のある空間で主役はここで能面をつけ、出番に備えます。

❺ ナゼがいっぱいの能舞台

その昔、能舞台は屋外に建っていました。今の能舞台に立派な屋根があるのはそのためです。周囲の４本の柱は屋根を支えると同時に、能面をつけた役者が舞台を動く時の目印にもなっています。舞台奥の松は年中枯れることのない植物で、どんな物語にも寄り添いやすい自然物として描かれています。そして、舞台左側の長い廊下を橋掛りと呼び、ここでの演技にも注目です！

❻ ほほ笑み、涙する能面



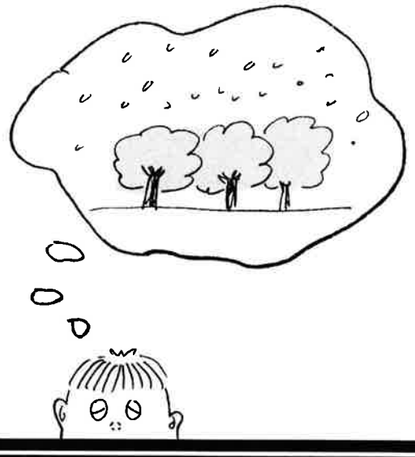
表情に変化のない人を指して「能面のような顔」ということがありますが、それは大きな間違いです。能面をつけて、顔を少し上に向けたときを「テル」と呼び、明るい表情が現れます。反対に顔を少し下に向けたときを「クモル」と呼び、悲しい表情が現れます。いずれもその動きはわずかですが、実は物語の場面に合わせて能面はとても豊かな変化をみせているのです！

❼ 足元にも注目しよう

能楽の基本動作は、つま先をわずかに上げて踵は舞台から離さず、ゆったりと歩みを進めます。重心は常に一定の水平運動が基本で、その動作に欠かせないのがすり足です。ゆっくり動いているからカラダも楽なのかといえば、そうではありません。それは、地上からは空をのんびり進むかのように見える飛行機が、実際はもの凄いエネルギーを使っているのと同じことなのです！

❽ まとめ「能楽の楽しみ方」

能や狂言が演じられる舞台は、役者と少しばかりの小道具（作り物といいます）だけが並ぶ空間です。そして、美しいリズムをつけた言葉（謡いといいます）で物語を描きます。能楽を楽しむとき、大切なことのひとつが言葉をよく聞くことです。そして頭の中で、その場面を想像してください。そのとき、隣の人と同じイメージである必要はまったくありません！　能楽は、皆さんの想像力を信じて、役者と観客が一緒になって物語を進めていく日本独自の演劇なのです。



Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，(邦楽)，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　(A区分のみ)・ A区分とB区分の両方 ・ C 区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　(あ り)・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) ~~公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能~~
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんしゃだんほうじん　たいことしばいのたまっこざ 一般社団法人 太鼓と芝居のたまっ子座		
代表者職・氏名	代表理事　持永貴子		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒197－0003 東京都福生市熊川1346－2　最寄駅:JR 青梅線　拝島駅		
電話番号	042-552-0046	ＦＡＸ番号	042-552-2137
ふりがな 公演団体名	たいことしばいのたまっこざ 太鼓と芝居のたまっ子座		
代表者職・氏名	代表　末永克行		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒197－0003 東京都福生市熊川1346－2　最寄駅:JR 青梅線　拝島駅		
制作団体設立年月	2016年　5月		
制作団体組織	役職員 代表理事:持永貴子 事務局:福本早希	団体構成員及び加入条件等 別途、定款に記載	
事務体制の担当	(専任)・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	末永桂子
経理処理等の監査担当の有無	(有)・ 無	経理責任者名	福本早希

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">＜1985年3月＞劇団創立（福生市民会館にて旗揚げ公演）　以来、本公演・研究公演他、首都圏を中心に保育園、幼稚園、児童館、子ども劇場・おやこ劇場公演等、開始
＜1987年＞学校公演、開始
＜1988年＞アシテジ世界大会西ドイツ公演招聘。以来、欧米・アジア等海外公演多数
＜1988、92年＞厚生省中央児童福祉審議会推薦授与　児童館巡回公演、開始
＜2011年＞WAM 助成による被災地公演、開始
＜2015年6月＞文化庁「文化芸術による子供の育成事業」に採択を得、巡回公演、開始
＜2016年5月＞一般社団法人として法人設立
＜2017年・18年＞台湾・員林／中国・泉州等で和太鼓ワークショップ実施
＜2018年2月＞アジア TYA フェスティバルに参加、ドラマチック和太鼓「打」を上演
＜2018・19年6月＞中国・杭州国際音楽祭に参加、「大地と海」「忍者狂歡」上演
★福生市教育委員会表彰受賞
★全国児童青少年演劇協議会正賞受賞
★オラディア国際演劇祭特別審査員賞受賞</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">劇団創立3年目から開始した学校公演（芸術鑑賞教室公演）は、首都圏を中心に、代表作の「こっからまつり」（アシテジ世界大会招聘作品）を皮切りに、年間25～50ステージの上演を続けてきました。
現在上演中の作品は、「輪にな～れ」「水の星」「太鼓はばびやんこ!?」　他
＜学校公演＞　（除　文化庁巡回事業公演）
H28年度　計20公演
H29年度　計10公演
H30年度　計9公演
R1年度　　計9公演（新型コロナウイルスの影響により、キャンセル1公演）
＜その他＞
幼稚園・保育園公演 「太鼓で遊ぼう！」「ドドンとへそから」他 （年間約50公演）
幼・小・中学校への太鼓指導（ワークショップ）、先生方への講習会
子ども劇場・おやこ劇場公演／一般公演／海外公演　他 （年間10～20公演）</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">主に関東地方の聾学校・養護学校・特別支援学校において、公演多数。
近年では、学芸大学附属特別支援学校、北特別支援学校、若葉台特別支援学校、麻生養護学校、京都府立聾学校、となみ総合支援学校、中津支援学校、由布支援学校ほか</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>（有）・無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>（有）・無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>https://youtu.be/-DjoNV-UADc</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>有　・　無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　太鼓と芝居のたまっ子座】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）　・　中 学 生
企画名	和太鼓ライブ「いちにのドン」　心のふるさと、和太鼓を全身で楽しもう！
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	和太鼓ライブ「いちにのドン」 太鼓曲：「虫追い豊年太鼓」「月夜のカエル」「機関車太鼓」「祝祭」 他 児童・生徒共演曲：「風とカミナリ」 作･作曲･演出　末永克行 振付　若林宏二　　公演時間（　75　分）

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要

たまっ子座は 1985 年の創立以来、和太鼓や様々な楽器の表現をお芝居の「台詞」のように位置づけ、演劇的表現、舞踊的表現、パントマイム的表現を伴いながら、ドラマチックに演じてきました。本作品「いちにのドン」は、オリジナルの太鼓曲数曲を、ユーモラスなパフォーマンスによる曲目紹介を挿んで演奏。中盤の児童・生徒参加の演目をメインに据え、後半は壮大な太鼓曲という構成で、劇団代表の末永克行が創作に込めた「様々ないのちが輝き生き合う喜び」を、日本の伝統の響きを通して伝える作品です。

＜おもな演目紹介＞

オープニングは、グルグル渦を巻いた７０cm 程の角笛が登場。パネルの中央に様々な楽器で形作る生き物が顔を出し、元気な太鼓の演奏で幕開きです！

「虫追い豊年太鼓」虫が付く程の豊作を願って打つ、明るく元気な太鼓

「月夜のカエル」貝や竹のオリジナル楽器、民俗楽器の響きで描く水辺の情景

「機関車太鼓」力強く人間味あふれる機関車！窓辺を過ぎる風景の楽しさ…

★共演：小学校「風とカミナリ」黒雲が湧き稲妻が走り、カミナリ様が大暴れ！児童たちが力一杯打ち出すリズムに、客席も演者も心が躍る！

★共演：中学校「牛と欅の太鼓」何百年も生きた樹と動物たちのいのちへ思いを込めて、中学生とたまっ子座のダイナミックなコラボ演奏！

「穴のあいているものは…」擬音笛や手作りのいろいろな笛を、ユーモラスなパフォーマンスと共に紹介する人気コーナー

「祝祭」一期一会の出会いを祝って打ち鳴らす、躍動感溢れる太鼓　　**他**

<table>
<tr><td>演目選択理由</td><td>上演作品「いちにのドン」は 1989 年の初演以来、スペインやアメリカ、カナダ等海外も含め各地で大好評をいただいてきています。たまっ子座の魅力が濃厚に詰まった作品であると同時に、子どもたちが、伝統楽器による身体表現を本格的に体験できるという観点から選択しました。太鼓や様々な民俗楽器の音色から、子どもたちは自然やいのちのメッセージを感じ取り、笑いがいっぱいのパフォーマンスからは、共感する喜びについて思いを巡らせます。生の舞台ならではの全身を揺さぶる響きに包まれ、豊かにイメージを膨らませる子どもたち。共演の演目では、級友や劇団員と息を合わせ、コミュニケーションを取り合いながら力いっぱい表現し、単なる参加を超えた、作品全体に力を吹き込む重要な場面を創り上げ、実施校の先生方からも高い評価をいただいています。

 </td></tr>
<tr><td>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</td><td>プログラム中盤の共演の演目として、たまっ子座の創作曲の中から、小学生は「風とカミナリ」、中学生は「牛と欅の太鼓」を演奏します。
<u>「風とカミナリ」</u>は、ワークショップ参加の児童（３０～７０名程度）全員が登場し、舞台の上、舞台の下、通路等、体育館全体を使って客席を取り囲み、劇団員と大合奏の共演をします。ワークショップの前半で全員が太鼓の演奏を体験し、後半、希望に沿いながら決めた配役で練習を積み、当日リハーサルを経て、約 7 分間の本番演奏に臨みます。
<u>「牛と欅の太鼓」</u>は、ワークショップで初めて太鼓に触れる生徒も含め、基本から表題曲の演奏までを体験した生徒たち（２０～４０名程度）が、舞台の上と下に並べた大太鼓、小太鼓、鳴り物に分かれ、劇団員と共演。希望により、照明操作にも加わります。
演奏以外にも、舞台の仕組みや用語の説明を聞いたり、終演後には共演者全員で楽器や衣裳、照明機材などプロの使う本物の道具に触れ、劇団員と一緒に片付けを手伝いながら裏方体験を行います。その後、感想発表等、振り返りの時間を取って交流、まとめとします。

●ワークショップ・共演用の大太鼓・小太鼓、計１６～２０台、その他の楽器、小道具類は出演団体手配を基本としています。
●基本人数を超える大または小規模校や、特別支援学校などでの実施は、担当の先生方とご相談の上、実施校の特色を生かした内容で構成していきます。
◆感染症拡大予防のため、ご相談の上、実施方法を変更する場合があります。</td></tr>
<tr><td>出　演　者</td><td>末永克行　若林宏二　モトム　考　末永桂子　瀧口早紀　九万田みさき
丸山田加賜　高橋素子　佐藤蕗子　戸前優子　ムーラ（ダブルキャスト有り）</td></tr>
<tr><td>公演出演予定者数
（1公演あたり）</td><td>出 演 者:　10 名
<u>ス タ ッ フ:　3 名</u>
合　　計:　13 名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>積載量　2t　1t
車 長　5. 5m　4. 6m
台 数　1台　2台
計3台</td></tr>
</table>

【公演団体名　太鼓と芝居のたまっ子座　】

<table>
<tr><td>公演に当たっての会場条件</td><td>実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>前日仕込み(<u>有</u>・無) 会場設営所要時間(3時間半 程度＋児童当日リハ約 90 分)
<table>
<tr><th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内休憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr>
<tr><td>当日 7:00
(前日 17:00)</td><td>7:00～10:30
(17:00～19:00)</td><td>13:30～14:45</td><td>なし
応相談</td><td>15:00～16:30</td><td>16:30</td></tr>
</table>
★基本は当日仕込みですが、前日仕込みにご協力いただく場合もございます
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の参加可能人数</td><td>ワークショップ</td><td>小学校　30～70名　　中学校20～40名</td></tr>
<tr><td>本公演</td><td>500名程度 （体育館の広さ等により応相談。小規模校も可。）</td></tr>
<tr><td>ワークショップ実施形態及び内容</td><td colspan="2">＜小学校＞
１）たまっ子座の創作曲「風とカミナリ」小学生版。口伝で、リズムを少しずつ区切りながら太鼓を打ち、ジャンプや回転、力こぶといったカミナリの振付を加え、全身で覚えていきます。
２）一通りリズムが入った頃、講師６名による演奏を観て、イメージを拡げます。
３）児童の希望に添って、太鼓を演奏する役、雲旗を振り走り回る役、銅鑼や鉦を鳴らす役、竹ボラを吹き（感染症の拡がりを鑑み、別楽器に差し替える場合もあります)、瓢箪を振る役等に分かれ、其々劇団員と共に稽古を進め、黒雲が湧き雷鳴が轟き、稲光や降り出す雨の様を想像しながら、全身で自由に創造的に楽しむ表現を目指します。
・ワークショップ終了後、先生方に向けて、新聞紙で作る<u>**「マイ撥」の作り方**</u>を指導。
・<u>**高学年のうち希望する一学年の全員参加**</u>を基本とし、人数が著しく多い場合は要相談。

＜中学校＞
１）たまっ子座の創作曲「牛と欅の太鼓」を、口伝で、リズムを少しずつ区切りながら、太鼓を打ち、動きを加え、全身で覚えていきます。
２）一通りリズムが入った頃、講師６名による演奏を観て、イメージを拡げます。
３）生徒の希望に添って、櫓太鼓、長胴太鼓、締め太鼓、鳴り物等に分かれ、其々劇団員と共に丁寧に稽古を進め、中学生ならではの多感な思いを音に乗せ、動きに乗せて、表現する楽しさを体感することを目指します。</td></tr>
</table>

ワークショップ実施形態の意図	 たまっ子座はこれまで、小・中学校や児童館、本事業においても数多く太鼓のワークショップを実施し、表現欲求を引出す講師たちのダイナミックな演奏と、心と体を開放していく楽しく柔軟な進行により、子どもたちの自由で豊かな発想と表現を導き出してきました。本事業では、伝統楽器でありながら、普段はなかなか触れる機会の少ない**和太鼓の、音楽表現**と**演劇表現、並びに舞踊表現**が体験できる「風とカミナリ」「牛と欅の太鼓」をテキストとすることで、多角的な表現力の向上を目指し、楽器のアンサンブルとソロを織り交ぜることで、他者の表現を受け取り、深め合う**相互のコミュニケーション力の向上**を図ります。また、全校児童・生徒を前にした公演当日の共演において、子どもたちが程よい緊張感の中、**自己を開放し、表現を発信する喜びと達成感**を得られるよう、見守り、リードしていきます。その為にワークショップを、共演する演者と子どもたちとの信頼関係を結ぶ重要な場として位置付けています。 ＜公演当日の最終リハーサル＞ 実施校の教職員の方々からも 「ワークショップの進行に伴い、子どもたちの目がどんどん変わっていくのがわかった」 「本番が楽しみだけど、ワークショップだけでも素晴らしい作品」 と、非常に高い評価をいただいています。
特別支援学校での実施における工夫点	たまっ子座の舞台は、どの演目においても音だけでなく視覚的にも楽しめるよう、お芝居やパントマイムの要素をふんだんに盛り込んで創られています。特別支援学校ではそういった作品の特徴を生かしながら、日々現場で児童を見守り、指導されている先生方のご要望を伺い、時間配分の調整をはじめ、ワークショップのプログラムに自由体験を盛り込んだり、本番の演目に視覚的要素を増やす、演目を一部差し替える等して、子どもたち一人一人が関わり、楽しめる公演を創り上げていきます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

令和3 年度文化芸術による子供育成総合事業−巡回公演事業−		
太鼓と芝居のたまっ子座　「いちにのドン」 出演メンバー表		
1	末永 克行	篠笛演奏
2	若林 宏二	鳴り物演奏・パフォーマンス
3	末永 桂子	和太鼓演奏・トーク
4	モトム	和太鼓演奏・パフォーマンス
5	考	和太鼓演奏・パフォーマンス
6	瀧口 早紀	和太鼓演奏・パフォーマンス
7	九万田 みさき	和太鼓演奏・パフォーマンス
8	高橋 素子	和太鼓演奏・パフォーマンス
9〜10 ダブルキャスト	羽賀 優子	和太鼓演奏・パフォーマンス
	丸山 田加賜	和太鼓演奏・パフォーマンス
	佐藤 蕗子	和太鼓演奏・パフォーマンス
	戸前 優子	鳴り物演奏・パフォーマンス
	京本 千恵美	鳴り物演奏・パフォーマンス
	ムーラ	鳴り物演奏・パフォーマンス

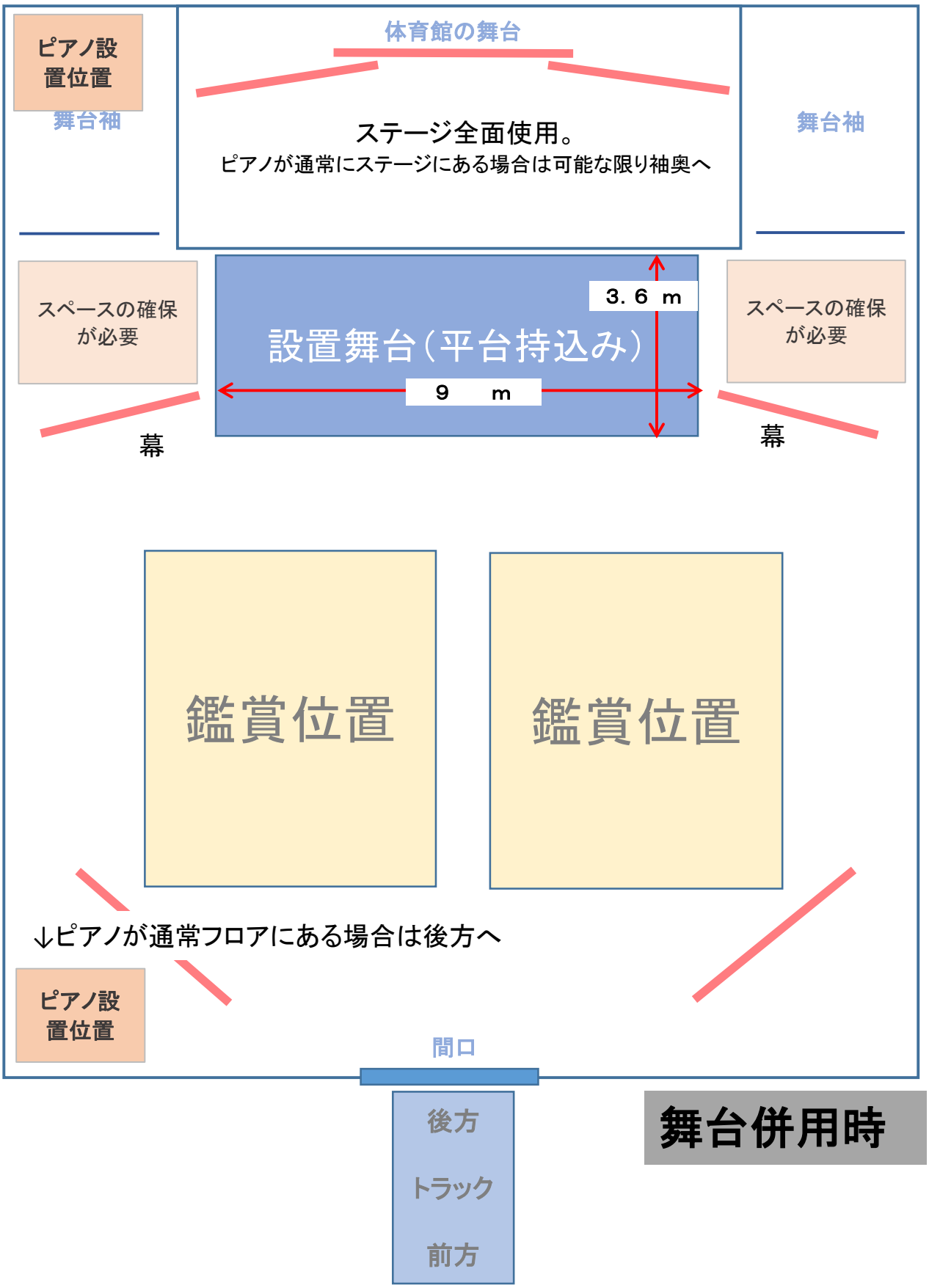
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1115	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック		区分	A区分
公演団体名	太鼓と芝居のたまっ子座				制作団体名	一般社団法人　太鼓と芝居のたまっ子座			

① 会場条件等についての確認

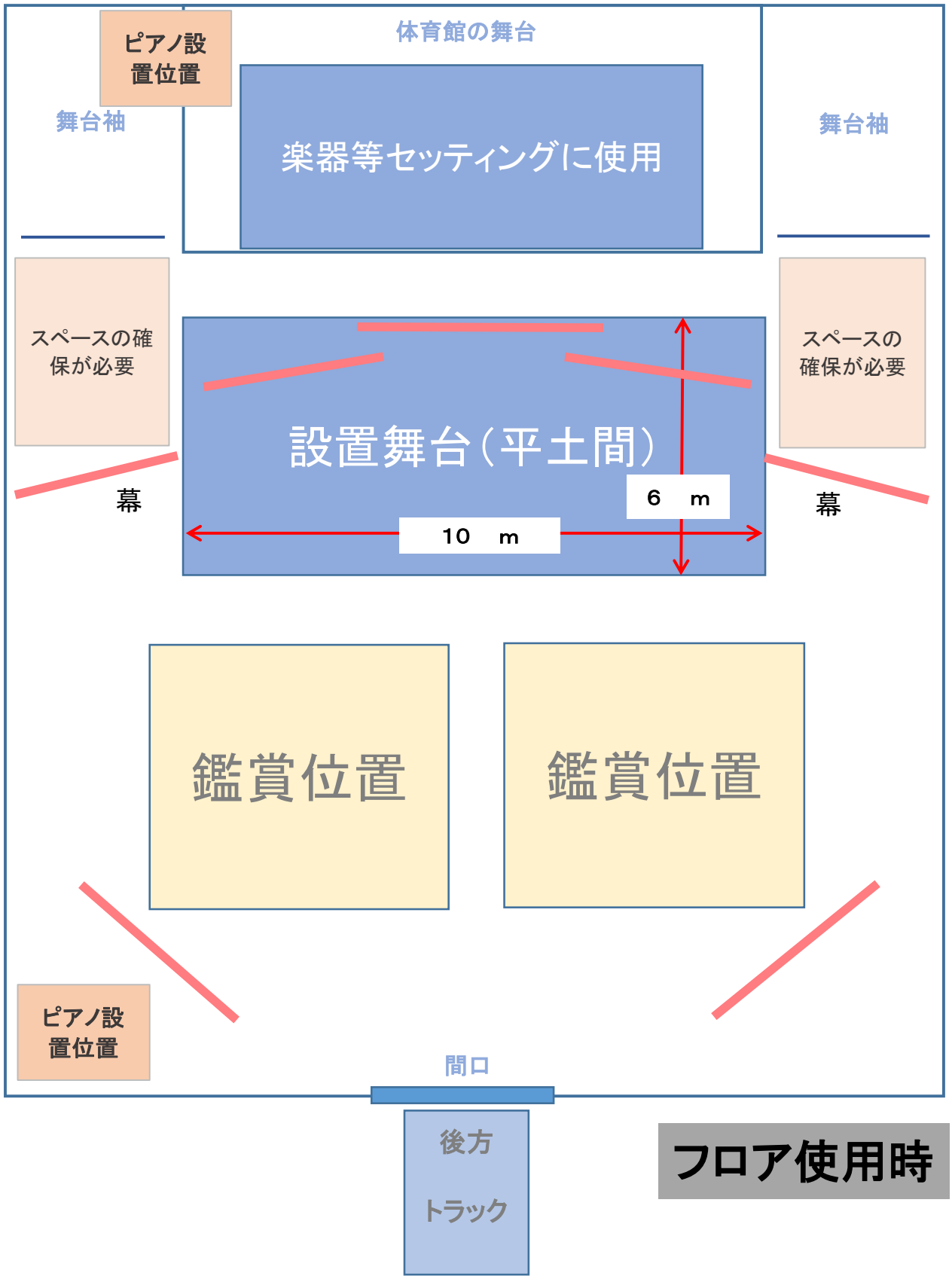
項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	1室	条件	なるべく体育館に近い部屋希望。窓に目隠し要。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　1台	バン　2台			
	不可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック及び中型ワゴン（長さ5m、車高2.4m）				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			10m以内（難しい場合は、搬入手伝いのご協力をお願いすること等で対応させていただきます。）				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。（台車使用予定） ・屋根のある経路が望ましい。				
		理由			張り出し舞台用の平台や舞台大道具、及び大太鼓等楽器の搬入をするため				
	可	設置階の制限＊			不可はありませんが、人的ご協力をお願いできればと思います。				
	不可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数		小学生30～70名、中学生20～40名					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	4年生以上を基本。30名以下の小規模校は全学年も可			
	可	所要時間の目安 単位：分		100分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		500名程度まで					
	可	舞台設置場所＊		ステージ上・フロアの両方を基本に、観客数によりフロアのみも有り					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	9～10m	奥行	3．6～6m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	・袖に荷物がない状態 ・袖からフロアへの動線が確保できる					
	―		緞帳＊	不要	バトン＊	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	見やすさのため（暗転はナシ）			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		60A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



フロア使用時

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

文化庁

文化芸術による子供の育成事業

巡回公演事業　－伝統芸能・邦楽－

和太鼓ライブ

いちにのドン

スペイン・アメリカ・カナダ国際児童演劇祭上演作品

「たまっこざのたいこのこえがしんぞうにひびいた！」

「音を使って話をしているように聞こえました」

日本伝統の響きを子どもたちに！

ご覧頂いた先生方の感想より

◆太鼓とは何と心を揺さぶる楽器なのでしょう。なぜこんなにも胸が痛くなるほど心に響いてくるのでしょう。たまっ子座の代表の方が言っておられました。「言葉と太鼓を持たない民族はない」。言葉と同じくらい、もしかしたら言葉以上に気持ちを込めることができる楽器、それが太鼓。今日コラボをさせていただいた五・六年生は、どれほど気持ちを開放できたことか。そしてそれを聞いた下級生たちはどれほど気持ちを揺さぶられ、胸打たれたことか。かけがえのない体験をさせてくださった、たまっ子座さんに心から御礼申し上げます。◆教室に戻ってくるなり、子どもたちは興奮気味に感想を話し始めました。同時に少しぐったりと疲れた様子でした。まだまだ集中力の続きにくい二年生が、約一時間、食い入るように楽しんだのだと気づきました。「本物」に出会い、感じることができる体験が、子どもたちの心に強く残り、豊かにしていくのだと実感しました。

作・演出・作曲　末永克行

現代に息づく伝統文化、日本人としての心の在りようを
太鼓を通し芝居を通して、子どもたちの全身に語りかける舞台です

太鼓と芝居の たまっ子座　since1985

和太鼓ライブ

いちにのドン

プログラム

「アレアレ何かな？」　・・・　小さな太鼓がパネルの上で動き出す！？

「虫追い太鼓」　・・・　虫がつくほどの豊作を願って打ち鳴らす！　虫とカカシの愉快なパフォーマンス！

「月夜のカエル」　・・・　カエルの鳴き声はどんな楽器で表現するの？興味津々！不思議な音色が響きます！

「風とカミナリ」　・・・　黒雲が湧きカミナリが轟く！カミナリ様が大暴れ！たまっ子座と子どもたちによる特別ステージ！

「機関車太鼓」　・・・　野を越え山越え、音と動きで描き出す！煙を上げて楽しい旅の始まりです！

「牛と欅の太鼓」　・・・　けやきの木に牛の皮。自然のいのちをもらって生まれた日本の太鼓。心を震わせる力強い響き！

子どもたちとたまっ子座の共演

わくわくのワークショップ！

体験できる楽器多数！

長胴太鼓・平太鼓・竹ボラ
チャッパ・銅鑼・鉦・雲旗
雨ひょうたん・などなど！

◆元気一発
力試し音試し、思いのままに叩こう！

◆太鼓体操
伸ばして回してジャンプして！

◆太鼓曲「風とカミナリ」
音と動きからイメージを膨らませ、
みんなでドラマチックに表現してみよう！

本番！「風とカミナリ」

駆け抜ける風！

カミナリエネルギーがほとばしる！！

●雲を旗ひとつで表現するのは難しかったけれど、たまっ子座の方が「ひざを使ったらいいよ」と教えてくださったので、うまくできるようになりました。見ているだけでも楽しいけれど、やるからこその楽しさを知ることができて良かったです。（６年生）　●雷の音を思いうかべてたいこをたたきました。友だちのえんそうもじょうずでした。せいこうしてうれしかったです。（特別支援学校中学部）●発表の時、きんちょうしたけれど、なんか心がたのしくなりました。皆さんが勇気をくれたおかげです。またやりたいです。（聾学校小学部）
●「竹ぼらを　みんなとふいて　雨をよぶ」「ドラ楽器　みんなの前で　あばれちゃお」「ありがとう　一生に一度の　たいこライブ」「和太鼓で　風とカミナリ　大成功」　（感想を五七五に詠んでくれた４年生たち）　出演児童・生徒の感想より

登場する楽器…大太鼓、締め太鼓、鉦、銅鑼、チャッパ、枝鈴、ささら、大皮、篠笛、うちわ太鼓、雨ひょうたん、アンクルン、竹ポコ、バンボン、ビリンバリン、ディジュリドゥ、他

▶日本の伝統文化の最深部にしっかり根をおろしたものから、全くオリジナルな創意と身体性の驚く程豊かなスペクタクルを創り上げ、次々と表現される詩的世界へ観客を誘う。飽きる瞬間など全くない。（フランス）
▶太鼓と言えば、力で押しまくる怒涛のような音の炸裂に慣れている我々には、和太鼓がこんなにも表現力が豊かだったのかと目ならぬ耳を見開かされた。（カナダ）　海外公演の新聞評より

◆オラディア国際演劇祭審査員特別賞受賞（ルーマニア）◆全児演賞受賞（全国児童・青少年演劇協議会正賞）◆福生市教育委員会表彰受賞

たまっ子座は…1985年創立。日本の伝統や自然と共に生きる人々の思いを縦糸に、和太鼓を中心とした音楽表現はもとより舞踏やパントマイム的表現、言葉の表現を交えた舞台を創作し、国内をはじめ海外でも高い評価を頂いています。（代表 末永克行/劇作・演出・作曲/篠笛奏者/和太鼓講師）

一般社団法人 太鼓と芝居のたまっ子座　東京都福生市熊川1346-2　TEL042-552-0046　http://www.interq.or.jp/drums/tamakko

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
(【伝統芸能】)	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，(邦舞)，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　Ａ区分のみ　・　(Ａ区分とＢ区分の両方)　・　Ｃ区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り　・　(な し)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ　ぶようしゅうだん　きくのかい 株式会社　舞踊集団　菊の会		
代表者職・氏名	代表取締役　・　畑　　聡		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒161-0031 東京都新宿区西落合 2-21-23 （西武新宿線「新井薬師前駅」下車徒歩 7 分）		
電話番号	03-5983-6001	ＦＡＸ番号	03-5983-6002
ふりがな 公演団体名	ぶようしゅうだん　きくのかい 舞踊集団　菊の会		
代表者職・氏名	代表　畑　聡		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒161-0031 東京都新宿区西落合 2-21-23　（西武新宿線「新井薬師前駅」下車徒歩 7 分）		
制作団体設立年月	1972 年　　4 月		
制作団体組織	役　職　員 代表取締役　畑　　聡 取締役　鶴岡泰重 取締役　飯田栄志 取締役　畑久美子	団体構成員及び加入条件等	1、団体構成員数　中央本部・事務局 6 名　団員　30 名 準団員　20 名　各教室責任者 23 名　師範・担当講師 14 名 各地教室役員 45 名　助師　10 名　教室生徒　180 名 2、主な構成員　演出・振付　畑　聡 舞踊手:畑　聡、鶴岡泰重、宮沢りか、青木有子、葛西輝子ほか 3、加入条件　：　幼少時より菊の会に入会し修練を続けてきた者
事務体制の担当	(専任)　・　他の業務と兼任	本事業担当者名	中山　順子
経理処理等の監査担当の有無	(有)　・　無	経理責任者名	大川　慶子

制作団体沿革	1972 年　尾上菊乃里こと故畑道代によって設立。 （六代目尾上菊五郎の創流した尾上流で、二代目家元初代尾上菊之丞に薫陶を受けた。） 1976 年　文化庁芸術祭において優秀賞受賞。（「カッチャ行かねかこの道を」） これまで民俗芸能をモチーフにした舞踊劇を数多く創作。（「藍の女」「にほん大通り」「阿国かぶき」「追分の女」 他） 1986 年　外務大臣より表彰を受ける。（この前年、中近東 5 ヶ国を訪問） ※（現在までに世界延べ 62 ヶ国 104 都市で外務省事業・文化庁事業等での海外公演を行っています。） 1988 年　黒澤明監督の作品映画「夢」の振付を畑道代が担当、団員が出演。 1993 年　第 14 回松尾芸能賞舞踊特別賞受賞。 2002 年　第 22 回伝統文化ポーラ賞優秀賞受賞 2009 年　第 6 回　目代清「創新賞」受賞。 2010 年　東京新聞主催「舞踊芸術賞」受賞。 東京新聞主催の全国舞踊コンクール邦楽部門で10年に亘り上位(1 位 2 位 3 位)入賞。（平成 9.10.11.12.13.14.15.16.17.19.30 年度） 2014 年　小泉堯史監督作品「蜩ノ記」の振付を畑聡が担当、団員が出演。 2016 年　ペルー共和国に菊の会舞踊教室を開設。 （首都圏・京都の 23 教室で 43 年間に亘り舞踊教室を続けている） 2020 年公開予定　小泉堯史監督作品「峠」の振付を畑聡が担当、団員が出演。
学校等における公演実績	小学校 102 校　　中学校 53 校　　高等学校 14 校　　ワークショップ　122 校 （平成 21 年度から平成28 年度・令和元年度　文化芸術による子供の育成事業・文化芸術による子供の育成事業　巡回公演事業含む） 国外　・フランス　10 校　　・ブラジル　1 校　　・シンガポール　　1 校 ・韓国　　2 校　　・トルコ　　1 校　　・ペルー　　4 校
特別支援学校における公演実績	札幌市立北翔養護学校　　広島県庄原特別支援学校 横浜市立若葉台特別支援学校　　横須賀市立ろう学校 三重県立特別支援学校北勢きらら学園　　三重県立城山特別支援学校 大阪市立光陽特別支援学校 計 7 校

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	（有）・無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	（有）・無
		※公開資料有の場合 URL	DVD を提出します
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有　・　無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　　舞踊集団菊の会　　】

対　　象	小学生（低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ）・ 中 学 生
企画名	みて・きいて・おどって感じる ニッポンの心！ オモシロ民俗芸能の魅力発見！！
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	① さなぶり荒馬（青森県） ② 鹿躍（岩手県） 〔ワークショップⅠ〕 装束をさわってみよう！ 今 舞台をつとめた鹿躍の扮装を外しながら、頭（かしら）や太鼓を 参加希望の生徒さんに持ってもらい、実際の重量感を体験して頂きます。 〔ワークショップ Ⅱ〕 みんなでお米づくり 次演目の「百姓おどり」に使用される小道具を説明しながら 昔ながらのお米ができるまでをみんなで見ていきます。 演目の最後に俵が積みあがったあとは全員が手拍子で参加して、 お米が出来た喜びを共有します。 ③ 百姓おどり（岩手県） ④ 飾山囃子（秋田県） ⑤ 鬼剣舞“一人加護”（岩手県） ⑥ 銭太鼓（島根県） ⑦ 傘おどり（鳥取県） 【ワークショップⅢ】 日本の楽器の音色を きいてみよう！ 日本の伝統的な楽器を紹介。（三味線・太鼓・締め太鼓・笛・鉦） ⑧ 阿波踊り（徳島県） 【ワークショップⅣ】 おどってみよう！ 代表学年の生徒さん達で「八木節」をおどり共演します。 会場の全員で手拍子やかけ声で参加してもらいます。 ⑨ 八木節（群馬県） 代表の生徒さんも参加して一緒に踊ります。 公演時間（　80　分）

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		（制作団体以外が所有する事項が含まれる場合）許諾の有無

演　目　概　要

【 みて ・ きいて ・ おどって ・ かんじる 】 をテーマに、
全曲、生演奏により 舞踊家たちが間近でおどり、
日本各地に伝わる様々な民俗芸能の持つ魅力に迫ります。

①　さなぶり荒馬（青森県）

田植え後に、豊作や害虫駆除を
祈願して地元の神様に奉納した芸能。
馬の他、獅子や猿も登場して賑やかな
囃子で、客席後方から生徒の中を通っ
て舞台まで踊りながら入場します。

② 鹿踊り（岩手県）

長い腰指（ささら）を背負い、腰に付けた
太鼓を激しく打ち鳴らし 念仏調の踊り歌を
自ら唄いながら勇壮に舞うダイナミックな
芸能です。

〔ワークショップⅠ〕 装束を みてみよう！

今 舞台をつとめた鹿躍の扮装を外して、
装束や道具の解説をしていきます。
頭（かしら）や太鼓を代表の生徒さんに
持って頂き実際の重量感を体験して
頂きます。

〔ワークショップⅡ〕 みんなでお米づくり

次演目の「百姓おどり」で使用する小道具を説明しながら
昔ながらのお米が出来るまでを見ていき、演目の最後に俵が積みあがったあとは
全員で手拍子をして参加してお米が出来た喜びを共に感じます。

③百姓おどり（岩手県）

五穀豊穣を祈願し奉納されてきた踊りで、
一年間のお米作りの中で伝統的な作業
の様子をコミカルに踊ります。
鍬、鎌などの小道具の他、うずまき傘を
脱穀機に見立てるなどして楽しい踊りから
お米作りに興味を持って頂ける一曲です。

④ 飾山囃子（秋田県）

飾山という人形などを飾った山車の上で演じられてきた芸能で、娘たちがその山車の上で華やかに踊る秋田県の祭礼です。

⑤ 鬼剣舞“一人加護”（岩手県）

鬼面（仏の化身）を付け、刀と扇子を扱いながら勇壮に踊ります。

鬼剣舞の数ある演目の中でも“一番庭”“八人加護”と共に剣舞を代表する演目です。

⑥ 銭太鼓（島根県）

竹の筒の中に古銭を入れて、両端にふさを付けた楽器を打ち振って文化文政の頃（1804～29）から盛んに唄われてきたと言われる“隠岐相撲取節”にのせてリズミカルに踊ります。

⑦ 傘おどり（鳥取県）

昔、雨乞いの為に踊られたのが始まりとされるこの踊りは、鈴と色紙で飾った傘を廻しつつ、元唄“貝殻節”にのせて踊ります。

【ワークショップⅢ】 日本の楽器の音色を きいてみよう！

日本の伝統的な楽器を紹介。（三味線・太鼓・締め太鼓・笛・鉦）

	⑧ 阿波踊り（徳島県） 日本三大盆踊りの一つで、 築城の祝いに城主が、武士も町民も隔てなく踊らせたのが始まりとも言われています。 様々に変化する演奏のリズムに合わせて手拍子で参加しながらおどりを見てもらいます。 **【ワークショップⅣ】 おどってみよう！** **代表学年の生徒さんによる八木節を共演します。** **会場の全員で手拍子やかけ声で参加してもらいます。** **⑨ 八木節（群馬県）** 提灯、すげ笠、花笠、唐傘 等を扱いながら活気のある囃子と唄で明るく賑やかに踊ります。
演目選択理由	日本各地の民俗芸能を 生演奏で、生徒さんの間近で踊る臨場感に加えて、 演目ごとの特色あるリズム感、情緒感、趣の異なる扮装や 手にする道具等、 視覚・聴覚に直接訴える迫力と、 古来から受け継がれ、込められてきた 「願い」「思い」 そして「祈り」を体感してもらいます。 鑑賞を通して、自分でも踊りたい、友達と一緒に踊りたい、家族にも披露したい、と コミュニケーションの輪が広がること、 そして、自分たちの地元の民俗芸能にも興味を持つ良いきっかけになることを願っています。
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	代表学年の皆さんにワークショップで練習した踊りを披露します。 又、生演奏の楽器のリズムに合わせて一緒に手拍子を打ったり、 装束をさわってみたり、かけ声をかけたり等して 日本のおどりを体験して頂きます。
出　演　者	舞踊集団菊の会 団員 11 名、 演奏家 4 名。

公演出演予定者数 （1公演あたり）	出 演 者:　15 名 ス タ ッ フ:　3 名 合　　計:　18 名	機 材 等 運搬方法	積載量　2t 車 長　6m 台 数　2 台

【公演団体名　　舞踊集団菊の会　　】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 ・ (無)) 会場設営の所要時間(1.5 時間程度)

到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
9 時	9 時～10 時 30 分	13 時半～15 時	10 分	15 時～16 時	16 時

※本公演時間の目安は、午後1時半～、2時限分程度です。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	～800 人
	本公演	～800 人

ワークショップ実施形態及び内容

民謡を踊って 日本のリズムを体感しよう！！

2 時限分の授業時間を使って行います。
1 時限目　全校生を対象
2 時限目　代表者 又は 代表クラスを対象に
「郡上節」「八木節」と比較的に緩やかなテンポで覚えやすい踊りから始め、
少しずつリズムも早くなり楽しみながら踊ってゆきます。

≪1 時限目≫ 全校生 対象

① 【おどりで表現してみよう】
山や海、色々なものを踊りのふりで、みんなで表現してみます。

② 【掛け声をかけよう！！】
特徴あるそれぞれの民謡の掛け声を全員で練習します。
(声を出す事でまずはリラックス)
・「郡上川崎」 ヘ\ ハァー ソンレンセ
・「八木節」 ヘ\ ヤンチキドッコイショー

③ 【民謡のリズムを楽しもう！！】
学年別やクラス別等に分かれて、その曲のリズムを手拍子にして掛け合います。
始めは座ったまま、次に言う人たちだけ立って言う
と段階的に踊りへと導く。

④ 【民謡を踊ってみよう！！】
参加人数によって 全員 あるいは 何組かに分けてその場に立ってもらい
振り指導をします。
次に、音楽をかけて踊ってみます。(1 コーラスを何度か繰り返す)
皆が分かってきたら、体育館中央にやぐらがあるような感じで全体に輪を作り、
フルコーラス踊ります。

	≪2 時限目≫　代表生徒 もしくは　代表クラス 対象 本公演で共演してもらう「八木節」を練習します。 少人数に分かれて少しずつ簡単な振りを覚えてもらい、出来たところで 指導者と一緒に音楽をかけて踊ります。 最後は生徒さん達だけでやってみます。 ※手順を書いた資料とDVDを本番までの練習用としてお預けします。
ワークショップ 実施形態の意図	日本の伝統芸能によくあるリズムや掛け声を体験してみます。 マネから入り、日本各地の芸能に興味を持ってもらう。 そして幾つかの手を覚えて、実際に踊って表現してみる。 私たち郷土の仲間が持っている芸能文化を体験・表現することで、 日本の伝統芸能の素晴らしさを感じていただくきっかけにしたい。
特別支援学校での実施における工夫点	生徒さんに合わせて、声だけ、手だけ、足だけで行う事や、 そのリズムを手拍子や足拍子、又は楽器を使って一緒に行います。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

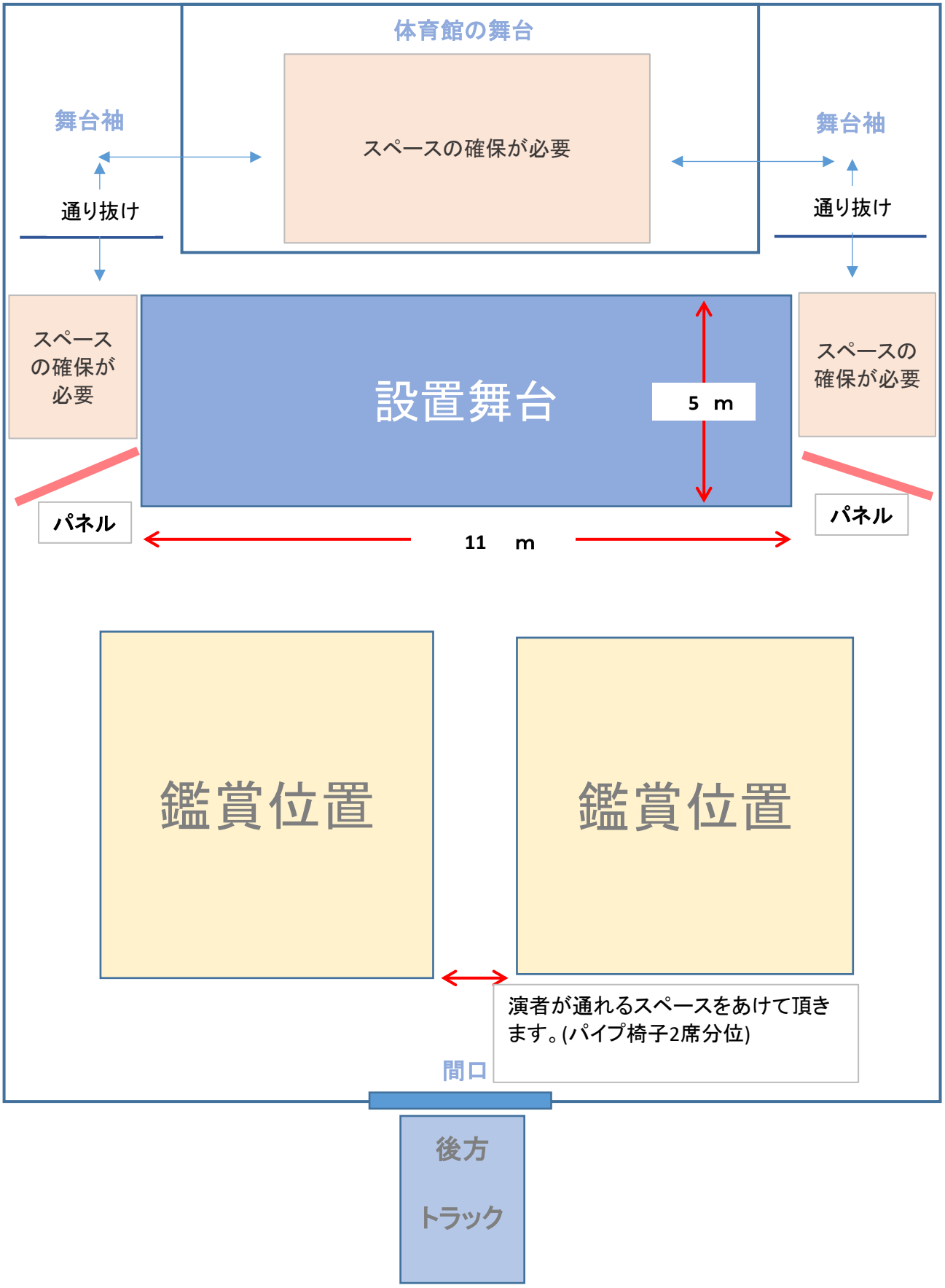
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1201	分野	伝統芸能	種目	邦舞	ブロック		区分	A区分
公演団体名	舞踊集団　菊の会				制作団体名	株式会社　舞踊集団　菊の会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等						
控室について	可	必要数＊	2室	条件	男性，女性の着替え用であるためカーテンがある部屋が希望です。			
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			2tトラック　2台		大型バス　1台	
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック（220×636×318cm）			
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要			
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			5m以内			
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り段階のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。			
		理由			舞台大道具、小道具、衣装を搬入するため			
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可			
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	2m		高さ	2m	
WSについて	可	参加可能人数			～800名まで			
	可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊		中学年	
		所要時間の目安 単位：分			90分程度（1時限目は全校生徒、 2時限目は指定学年〈1学年〉の生徒のみで行います。）			
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。			
	可	鑑賞可能人数			～800名まで			
	可	舞台設置場所＊			ステージ上・フロアの両方			
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	11m	奥行	5m	高さ	指定なし
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊			要		
	可		舞台袖スペースの条件＊			袖に荷物がない状態		
	―		緞帳＊	不要		バトン＊	不要	
	―	遮光(暗幕等)の要否＊		不要	理由			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	不可		ピアノの事前調律＊		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量		30A以上	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		5m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

舞踊集団 菊の会

ー みて・きいて・おどって感じる日本の心 ー

オモシロ

民俗芸能の魅力発見

生演奏による臨場感に加えて、演目ごとの特色あるリズム感、情緒感、趣の異なる扮装や 手にする道具等、視覚・聴覚に直接訴える迫力と 古来から受け継がれ、込められてきた「願い」「思い」そして「祈り」を間近で体感してもらいます。日本各地の民俗芸能に触れることにより、自分たちの地元の民俗芸能にも興味を持つ良いきっかけになることを願い、選曲しました。

「さなぶり荒馬」（青森県）

田植え後に、豊作を祈願して奉納した口承芸能。
馬の他、獅子や猿も登場して賑やかな囃子で、客席後方から生徒の中を通って舞台まで楽しく入場します。

「鹿　躍」（岩手県）

長いササラを背負い、腰に付けた太鼓を激しく打ち鳴らし念仏調の踊り唄を自ら唄いながら勇壮に舞うダイナミックな芸能です。

ワークショップⅠ

〔装束をさわってみよう〕

今 舞台をつとめた鹿躍の扮装を外していき、装束や道具の解説をしながら頭や太鼓を代表の生徒さんにつけてもらい演者と一緒に簡単な振りを踊ってみて実際の重量感を体験して頂きます。

ワークショップⅡ

〔お米づくりをみてみよう〕

次の演目の「百姓おどり」で使用する小道具を説明しながら、昔ながらのお米が出来るまでを見ていき、演目の最後に俵が積みあがったあとは全員で手拍子をして参加してお米が出来た喜びを共に感じます。

「鬼剣舞 “一人加護”」（岩手県）

鬼面（仏の化身）を付け、刀と扇子を扱いながら勇壮に踊ります。
鬼剣舞の数ある演目の中でも “一番庭” “八人加護” と共に剣舞を代表する演目です。

「百姓おどり」（岩手県）

五穀豊穣を祈願し奉納されてきた踊りで、一年間のお米作りの中で鍬や鎌を使って伝統的な農作業の様子をコミカルに踊ります。

「飾山囃子」（秋田県）

飾山という人形などを飾った山車の上で演じられてきた芸能で、秋田の祭礼に娘たちが華やかに踊ります。

「傘おどり」（鳥取県）

昔、雨乞いの為に踊られたのが始まりとされるこの踊りは、鈴と色紙で飾った傘を廻しつつ、元唄 “貝殻節” にのせて踊ります。

「銭太鼓」（島根県）

かつては竹の筒の中に古銭を入れて、両端にふさを付けたリズム楽器の銭太鼓を打ち振って “隠岐相撲取節” にのせてリズミカルに踊ります。

ワークショップⅢ

〔日本の楽器の音色を体験〕

日本の伝統的な楽器を紹介。（三味線・太鼓・締め太鼓・笛・鉦）

「阿波踊り」（徳島県）

築城の祝いに城主が、武士も町民も隔てなく踊らせたのが始まりとも言われています。日本三大盆踊りの一つです。

「八木節」（群馬県）

提灯、菅笠、花笠、唐傘 等を扱いながら活気のある囃子と唄で明るく賑やかに踊ります。
〈代表の生徒さんも踊ります。〉

Ⅵ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野，種目（該当する**種目**に○を付してください。）

分野	種目
【音楽】	合唱，オーケストラ等，音楽劇
【演劇】	児童劇，演劇，ミュージカル
【舞踊】	バレエ，現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽，人形浄瑠璃，邦楽，邦舞，演芸

申請する区分に，○を付してください。　　Ａ区分のみ・Ａ区分とB区分の両方 ・ Ｃ区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　　あ り ・ な し

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても，複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ，複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かんじやま・まいむ カンジヤマ・マイム		
代表者職・氏名	代表　藤倉　健雄		
制作団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒186-0001　東京都国立市北２－27－15 (JR 国立駅)		
電話番号	042-505-7074	ＦＡＸ番号	042-505-7074
ふりがな 公演団体名	かんじやま・まいむ カンジヤマ・マイム		
代表者職・氏名	代表　藤倉　健雄		
公演団体所在地 （最寄り駅・バス停）	〒186-0001　東京都国立市北２－27－15 (JR 国立駅)		
制作団体設立年月	1985年　8 月		
制作団体組織	役職員 **代表　藤倉健雄**	団体構成員及び加入条件等 正規団員 当団体の活動をその個人の主たる仕事として従事する団員 準団員 その個人の専門分野を当団体で活かし、当団体の目的達成のために従事する個人	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	**村上ゆみ**
経理処理等の監査担当の有無	有・無	経理責任者名	**藤倉健雄、豊田吉男(会計士)**

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="3">1985 年、アメリカマイムの巨匠、トニー・モンタナロ氏に長年師事した藤倉健雄がアメリカ、メーン州にて結成したマイムの精鋭グループ。代表、藤倉健雄（米国ウィスコンシン大学 Ph.D、教育演劇学博士、現早稲田大学および上智大学国際教養学部講師）の掲げる「演劇的アプローチの教育的応用」をその使命とし、長い実践歴と理論的な裏付けを土台に、学校公演、文化会館主催事業、演芸場、研究、著作活動、NHK 教育テレビ振付け、講演会、指導など幅広く行っている。また同時に応用マイムによる子どもの表現教育の研究、推進活動も精力的に行っている。

最近の大学特別講義歴：東京大学大学院、早稲田大学大学院、東京学芸大学、明治大学、立教大学、関西大学、専修大学、桐蔭横浜大学、他</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="3">★1990 年～「カンジヤマ・マイムバラエティーショー」発表。全国の学校、および子ども劇場親子劇場を中心に年間約 140 ステージ公演。
★1993 年～「黙れ！パントマイム」発表。学校および文化会館などを中心に年間約 130 ステージ巡演。～2001 年まで
★1996 年～「俳句マイム：僕の細道」発表。文化会館、高校、その他ジャンジャンなどの小劇場を中心に公演（年間約 30 ステージ）
★1998 年～「心の動話」発表、上記 3 プログラムと共に全国の学校で巡演。
★2001～2006 年、代表藤倉、ウィスコンシン大学院にて教育演劇学研究、その間、マディソン周辺の小学校を巡演し、演劇教育プログラムの実験と検証を繰り返す。
★2007 年～現在　特別英語教育プログラム「えいごとマイムのバラエティー」にて全国の小中学校を巡演（年間 20 ステージ前後）
★2007 年～現在「おしゃべりなパントマイム」にて全国の小中学校および高校を年間 110 校以上巡演。尚、「おしゃべりなパントマイム」は同タイトルで年齢別特別編成プログラムとして多彩なレパートリーを持つ。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="3">特別支援学校の芸術鑑賞会、病院内支援学校など多数公演実績あり。
主な場所;聖路加病院内特別支援学校、東大病院内こだま教室、東京都立駒込病院、沖縄小児発達センター、沖縄県立こども医療センター、信州大学医学部付属病院、その他、各地特別支援学校における当事業の巡回公演など。

代表藤倉は在米中よりアメリカの聾唖団体などの要請をうけ、ワークショップや公演を行ってまいりました。

また、最近では 8 月 8 日に医療デザイン大学主催、「第三回医療デザイン大学 LIVE」にて「こころの表現授業」という遠隔授業の講師をつとめ、コロナの影響により、子どもや親子の間に起こっているモヤモヤの解消についてオンライン講義し、解決の方法を提案、指導いたしました。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td>（有）・無</td></tr>
<tr><td>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td><td>有・（無）</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td></td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
<tr><td rowspan="3">A の提出が困難な場合</td><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td><td>（有）・無</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合 URL</td><td>DVD をお送りします。</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td><td>ID:
PW:</td></tr>
</table>

公 演 ・ ワークショップの内 容　　【公演団体名　カンジヤマ・マイム　】

対　　象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年)　・　中 学 生
企画名	
本公演演目 原 作 ／作 曲 脚　　本 演 出 ／振 付	演目　「おしゃべりなパントマイム」 脚本、演出、振付、藤倉健雄 (内容は小学生～中学生などの対象によって一部適応作品の変更可能) 公演時間(約１時間20分)

著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	○	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

演　目　概　要	通常の日常生活において私たちが無意識に使っている人間の生身の身体には、実は驚異的な無限の可能性が秘められています。この様々な表現の可能性の具体例を、ウィットが満ちた話芸で面白おかしく紹介する事からこの舞台は始まります。特に最近のコロナウィルスの影響による学校や家庭に於ける身体表現の機会の減少により、自分を身体で表現しなくなった子ども達の為に、私たちの舞台は極めて有効にその魅力を提示できると強く信じます。まずは古典的なマイム技術を駆使しながら、人間の身体の潜在的な表現力に驚嘆してもらい、同時に自らの身体の可能性を再認識してもらいます。 次に、対人関係や、物事に対する人の対応の面白さ、人間の優しさ、出会い、別れなどを、斬新なアイデアとユニークな人間観察を通じて、舞台上に表現し、人間の身体表現の奥深さを味わって頂きます。 作品はそれぞれのテーマにそって５～15 分程度のものをオムニバスで綴り、その間を話芸と身体マイム芸の紹介、子ども達参加型のコミュニケーションで有機的に繋ぎます。有機的にとは、作品の前後に、その作品が子ども達の日常とどのように関連しているのか、あるいは、どんな所が見どころなのかを、落語の枕噺のように、しかも教育的メッセージを盛り込んだ楽しい話芸で紡いでゆきます。休憩なしで1時間 20 分をまったく飽きさせずに 40 年以上この作品群で公演活動してまいりました。(勿論、これら個々の作品群は常に改良され、新作も随時挿入し、その中で最も「現在」に有効な作品を選りすぐりながら進化し続けております)
演目選択理由	通常の日常生活において私たちが無意識に使っている人間の生身の身体には、実は驚異的な無限の可能性が秘められています。この様々な表現の可能性の具体例を、ウィットが満ちた話芸で面白おかしく紹介する事からこの舞台は始まります。特に最近のコロナウィルスの影響による学校や家庭に於ける身体表現の機会の減少により、自分を身体で表現しなくなった子ども達の為に、私たちの舞台は極めて有効にその魅力を提示できると強く信じます。まずは古典的なマイム技術を駆使しながら、人間の身体の潜在的な表現力に驚嘆してもらい、同時に自らの身体の可能性を再認識してもらいます。 次に、対人関係や、物事に対する人の対応の面白さ、人間の優しさ、出会い、別れなどを、斬新なアイデアとユニークな人間観察を通じて、舞台上に表現し、人間の身体表現の奥深さを味わって頂きます。 作品はそれぞれのテーマにそって５～15 分程度のものをオムニバスで綴り、その間を話芸と身体マイム芸の紹介、子ども達参加型のコミュニケーションで有機的に繋ぎます。有機的にとは、作品の前後に、その作品が子ども達の日常とどのように

	関連しているのか、あるいは、どんな所が見どころなのかを、落語の枕噺のように、しかも教育的メッセージを盛り込んだ楽しい話芸で紡いでゆきます。休憩なしで1時間20分をまったく飽きさせずに40年以上この作品群で公演活動してまいりました。(勿論、これら個々の作品群は常に改良され、新作も随時挿入し、その中で最も「現在」に有効な作品を選りすぐりながら進化し続けております)
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	できそうでできない。でもやっていて楽しいし、面白い・・・そんな驚異的なデモンストレーションを通じて、最初は客席で座りながらできる動きを作品と作品の間に皆さんで経験して頂き、後半の一つのコーナーでは実際に何人かの希望者をつのって舞台上で全身を使用したパントマイムのテクニックの醍醐味である、緊張と弛緩を体験してもらいます。実際に真剣にやると誰でもできる技に客席がどよめいて楽しみながら身体の可能性を学べます。そして身体でそれぞれの子どもたちの将来の夢を語ってもらいます。
出　演　者	カンジヤマ・マイムA君(藤倉健雄) -マイム歴43年。教育演劇学博士。日本の教育演劇に関する英文博士論文で、アメリカ教育演劇協会より最優秀論文賞を受賞。全国での舞台活動の他、NHK「おかあさんといっしょ」の身体表現コーナー「パント！」の振り付け等、テレビでも活躍。 カンジヤマ・マイムB君(渡邊ありさ) -幼少よりダンスを始め、映像、舞台でダンサーとして長年活動。パントマイムをカンジヤマAに師事し、2012年より本メンバーとして活動。 カンジヤマ・マイムC君(佐々木諒) - 多摩美術大学大学院修了。パントマイムをガーマルチョバとカンジヤマAに師事し、俳優業と共にマイム研鑽を重ねる。 カンジヤマ・マイムD君(山口淳) - パントマイムをガーマルチョバとカンジヤマAに師事し、大道芸と舞台マイムの融合を目指してマイム研鑽中。

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 3 名 スタッフ: 3 名 合　計: 6 名	機材等 運搬方法	積載量 1 t 車長 4.5 m 台数 1 台

【公演団体名　　カンジヤマ・マイム　　】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(3 時間程度、但し二階以上の場合の搬入時間を含まない)

到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
時	9 時～ 12 時	13 時半～15 時	0 分	15:15～16:15	16 時半

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	120 名
	本公演	500 名

ワークショップ実施形態及び内容	20 名程度（最大 30 名）のグループに分かれ、教育演劇の基本的なアイスブレーキングから始まります。「ほぐし」の練習、身体のゲームです。簡単な動きの練習から始めて、子ども達のグループの経験、エネルギー、あるいは開放度をこの一連のゲームによって観察し、判断し、それに応じて臨機応変に対応してゆきます。 教育演劇の基本である、三つのプロセス:「Imagine」「Enact」「Reflect」(想像し、実際にやってみて、そして振り返り、学びを深める)を段階的に経験しながら、身体と想像性のギャップを埋めつつ、身体的理解を深めてゆきます。一例として、「自分の創造力と想像力で身体性を味わうエチュード」を楽しみながら、いくつか実践してもらい、互いに見せ合います。例えば小学生の自らの大好きな場所（自分の隠れ家やら、部屋）を、最初は言葉と動きで他人を案内してゆくことにより、五感を使って想像したり、自分の感動体験を身体のタブロー（静止状態の人間彫刻）にし、それをスナップ写真のように見せるという方法をとりながら、徐々に動きに対する恐怖感を取り除きます。勿論、最初から動きそのものに入れる場合は、子ども達の即興技能に挑戦しながら、言葉の動的印象などを動きに変えてゆく劇遊びを行い、動きの飛躍を奨励します。常に参加者との対話を重んじながら柔軟に効果的に身体を動かす事の喜びを学んで頂くように指導してまいります。最終的には簡単な創造活動の結果をそれぞれグループ単位で吟味しあい、それらへの感想を共有します。 Imagine, enact, and reflect「想像し、やってみて、そして 振り返る」という基本的なプロセスの中で、子ども達全員が楽しみながら五感で学びを深めます。
ワークショップ実施形態の意図	上記の方法論は教育演劇を実践経験と学問畑と双方で学び、ウィスコンシン大学教育学部にて 5 年間に渡り「Drama in Education」という演劇学部と教育学部の学部生必修科目を担当、指導してきた代表 藤倉健雄（教育演劇学博士）の方法論です。上記指導クラスでは必ず小学生の実際の参加があり、その長年の経験上、直接動きから入ったほうが効果的な場合と、ある種の導入があった方が効果的な場合があるが故に上記の方法をとっております。まずは身体で表現することに慣れない子ども達の動きに対しての恐怖感、間違ったらどうしよう？という不安感を取り除く事から始めます。楽しさに適切な指導を加えれば最も効果的な「学び」が展開されます。パントマイムはこの目的に最も適した手段だと確信しております。 なお、藤倉は現在も早稲田大学国際教養学部にてこれと同様の Educational Drama という科目を担当し、指導中であります。

特別支援学校での実施における工夫点	今までに日本全国の様々な支援学校で行ってまいりましたが、それぞれに対処法が違うのでこのスペースで工夫点をすべて述べるのは不可能です。個々のケースの条件に合わせて導入の仕方が千差万別になります。例えばカンジヤマは長年、定期的に小児がん病棟などで、その特殊な状況で支援クラスの子ども達に舞台を見せ、指導してまいりました。この場合はとにかく、個々の症状を常に観察、推測、判断し続けることによって、時間、メソッドを逐一使い分けてまいります。身体が動かない場合は指先のマイム、そして顔の表情だけのマイムなど、それぞれに慎重に対応してまいります。その際、常に動く事、表現することへの恐怖感、不安を取り除くことが第一のプライオリティー（優先項目）となります。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

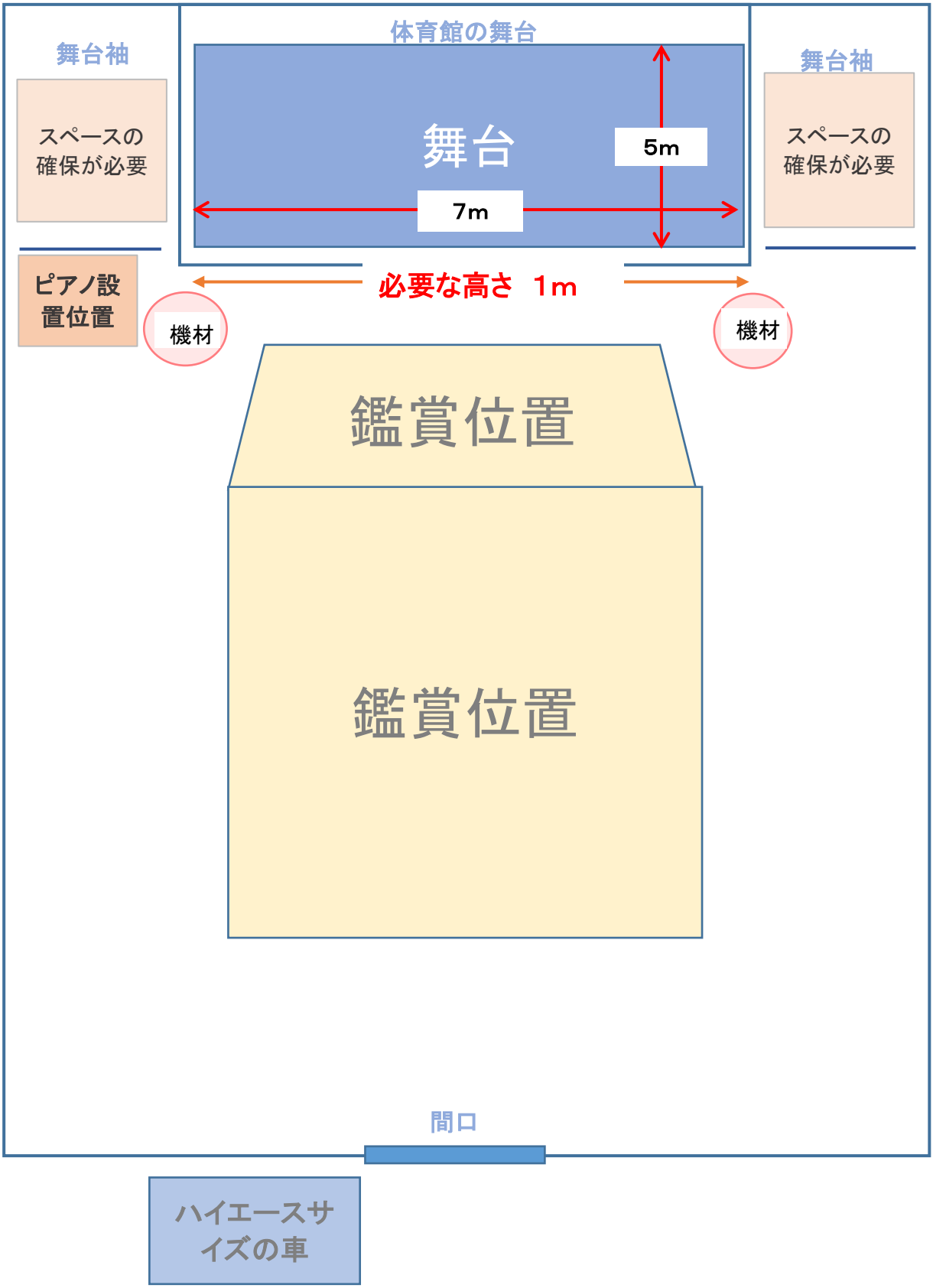
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1307	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック		区分	A区分
公演団体名	カンジヤマ・マイム				制作団体名	カンジヤマ・マイム			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件	なるべく体育館に近い部屋が有難いです。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　1台	乗用車　1台			
	可	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			ハイエースサイズの車				
	可	搬入車両の横づけの要否＊			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離＊			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。・横づけできず距離がある場合、大人のお手伝いをお願いしたいです。 ・屋根のある経路が望ましい。				
		理由			照明機材、大型スピーカー、精密機器等搬入するため。				
	可	設置階の制限＊			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位：メートル	幅	1.8m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数		上限 120 名					
	可	学年の指定の有無＊		なし	指定学年＊	なし			
	可	所要時間の目安 単位：分		各回50分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		500名程度					
	不可	舞台設置場所＊		体育館のステージ上					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	7	奥行	5	高さ	1	
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	要					
	可		舞台袖スペースの条件＊	特に上手にスペースが必要					
	可		緞帳＊	要	バトン＊	要			
	可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	照明効果の為。但し感染症予防対策を優先の為、状況による。			
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	―	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	可	公演に必要な電源容量		100A	※主幹電源の必要容量				
		その他特記事項							
	可	パントマイムは、常に観客の皆さんが演者の足元まで見られることが必須条件です。その為、ステージの高さは非常に重要です。(1m必要)							

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1．8m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

MEMO

カンジヤマ・マイム

アメリカ仕込みの本格派マイム。子ども、若者、お年寄り、そして演芸場からアカデミックまで、あらゆる客層を惹きつける「おしゃべりなマイム芸人達」。1985 年アメリカはメーン州で結成された。「感じる」心が「山もり」になったマイムという意味で命名された。現在、大爆笑と感動の涙の舞台を全国で展開中。徹底的に訓練された身体的至芸を道具に、洗練された発想と学問的な裏付けで、「人生に憧れをもつ」ことの大切さを伝えるべく、日夜努力を続けている。現在のテーマは笑いと教育の融合。英語教育などに身体芸を応用したユニークなアプローチを開発している。

テレビ出演等

「笑いがいちばん」、「演芸特選」（以上 NHK）、「笑点」、「遠くへ行きたい」（以上読売、日本テレビ）など。
2012 年から7年間、NHK「おかあさんといっしょ」の身体表現コーナー「パント！」のマイム振付・指導として参加。
その他、NHK 国際放送「日本語クイックレッスン」のマイムコーナー、E テレ「プレキソ英語」の"Let's go to the camp!"の回など、現在も配信中。

カンジヤマ・マイムのホームページを見てみよう！

カンジヤマ　検索

www.kanjiyama.com/

～ 感染予防・対策について ～

昨今の新型コロナウイルス感染拡大に関しまして、その状況と情報は日々更新されております。カンジヤマ・マイムは舞台をご覧になってくださる皆さん全員の健康、安全を第一優先事項とし、日々更新される情報を逐一収集し、その対策に万全を尽くしてまいります。そのため、スタッフ全員の健康管理、観客席の環境、照明、舞台配置、暗幕、その他の演出も、感染予防を最優先事項とし、逐次更新してまいります。皆さまが安心して舞台を鑑賞できるよう最善を尽くすことを、お誓いいたします。

令和二年度　文化芸術による子供育成総合事業
- 巡回公演事業 -

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演をし、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁

パントマイムって、なに？

「パント」はもともとギリシア語で「全てのもの」、「マイム」は「真似る」という意味です。人間だけじゃない、世の中の、身の回りの全てのものを真似して表現することから、始まっています。だから、パントマイムをする人は、絶対しゃべっちゃだめ、ということはありません。しゃべることもあるし、言葉でなくても、物の音を真似することもあるよ。

でも、「サイレントマイム」というのもあります。「サイレント」は、「言葉がない、静かな」ってこと。たとえば、皆さんは色んな絵本や本を読んだことがあるでしょう。本には言葉があります。言葉から皆さんは、そのお話の情景を頭の中で想像します。「サイレントマイム」は言葉がない。でも、ことばのないパントマイムでお話をするのを見てみて下さい、皆さんの想像力を使って。カンジヤマ・マイムのAくん達が体でお話を語るのを見ながら、想像してください。色んな人や、動物が見えるよ。ないはずのモノも見えるよ。周りの場所も情景も見えるよ。皆さんの素晴らしい想像力を使えば、どんどん素晴らしい世界が広がります。

そう、パントマイムは、たいてい、大した道具は使いません。パントマイムをする人の体が道具と言えるかも知れません。人間の体って、皆さんが思っている以上に色んなことができるんですよ。でも、カンジヤマ・マイムのAくん達の体を見てびっくりする君たちも、実は同じ人間、同じ体をもっているんです。今日は君たちの体も、一緒に動かしてみよう。

今日、君たちにお願いしたいこと。思いっきり笑って下さい。思いっきり驚いて下さい。そして、**君たちの想像力**をたっぷり使って下さい。カンジヤマAくんBくん達の体だけで描けることは限られているんだ。でも、そこに皆さんの想像力が加わると、無限に色んなことが描けます。「全てのものを真似する」パントマイムは、みんなの想像力とカンジヤマ・マイムのパントマイムで完成します。今日は色んな所の、色んな人、色んなものを、楽しく想像して観て下さいね。

おしゃべりなパントマイム

これまでの**パントマイム**を超えた
本物の芸を、ライブで感じて下さい。

プログラム紹介

- 漫才風マイム
- 早撃ちピエロ
- マイム体操
- ゲームの世界
- マイム体験講座
- オノマトペマイム
- おしゃべりな王様
- CM
- バイオリン弾きとその息子

※ 客層、その他により多少の変更がございます。

◆◆◆ カンジヤマ A くん ◆◆◆

Ph.D（教育演劇学博士）。早稲田大学国際教養学部（SILS）および上智大学国際教養学部（FLA）講師。ニューヨーク州立大学演劇学部修士課程を経て、ウィスコンシン大学大学院演劇学部博士課程修了。アメリカマイムの巨匠、トニー・モンタナロ氏に長年師事し、米国内の様々な大学にてマイムや教育演劇のクラスを指導する。マイム歴44年。マイム、教育演劇に関する著書、訳書、および論文多数。中でも2008年日本の教育演劇に関する博士論文が、アメリカ教育演劇協会より最優秀論文賞を受賞した。NHK「おかあさんといっしょ」の身体表現コーナー「パント！」の振付・指導や、NHK国際放送「日本語クイックレッスン」のマイムコーナー等を担当する。

◆◆◆ カンジヤマ B くん ◆◆◆

幼少よりダンスを習い始め、高校演劇科を経て、ダンス専門学校を卒業。その後、アメリカ、ヨーロッパでダンス修行を積み、クラッシックからコンテンポラリー、ストリートまで様々なダンスの技法を習得。NHKテレビ紅白歌合戦を始め、様々な映像、舞台等で活躍。2012年よりカンジヤマAに師事。現在、ダンスとマイムの創造的融合を模索しながら若者層を虜にする作品創造に意欲的に取り組んでいる。

◆◆◆ カンジヤマ C くん ◆◆◆

多摩美術大学大学院修了。彫刻を専攻後、身体表現に興味を持ちパントマイムの道へ。10年以上のダンス経験と役者としての経験を生かしてマイムの創作活動中。アーティストのMV出演やTEDxTokyo出演をはじめ様々な舞台に立つ一方、ギャラリーや芸術祭でのパフォーマンスもおこなう。またパントマイムワークショップの講師として都内の施設や保育園などでも活動している。

Ⅷ 令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(メディア芸術)

分野, 種目(該当する**種目**に○を付してください。)

分野	種目
【メディア芸術】	映像,(メディアアート等)

申請する区分に, ○を付してください。　(A区分)・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)　あり・(なし)

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)
(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
(4) その他(　　)

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	わうかぶしきがいしゃ ワウ株式会社		
代表者職・氏名	代表取締役　高橋裕士		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 150-0041 東京都渋谷区神南1-14-3		
電話番号	03-5459-1100	FAX番号	03-5459-1101
ふりがな 公演団体名	わう WOW		
代表者職・氏名	取締役　工藤薫		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 150-0041 東京都渋谷区神南1-14-3		
制作団体設立年月	1997 年　7 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役　高橋裕士 取締役　高橋秀明 取締役　於保浩介 取締役　森脇大輔 取締役　工藤薫 取締役　中路琢磨	社員数:50名	
事務体制の担当	専任・(他の業務と兼任)	本事業担当者名	稲垣拓也
経理処理等の監査担当の有無	(有)・無	経理責任者名	星靖浩

制作団体沿革	1997 年 4 月　株式会社デジタルメディアプロダクツ(代表取締役 高橋秀明)を仙台に設立 Web のシステム&コンテンツの開発事業を行う 1999 年 4 月　名称をワウ株式会社に変更。CM を中心とした映像制作およびプロダクション業務を展開 2000 年 4 月　ワウ東京ブランチを開設 2002 年 4 月　本社を仙台から東京に変更 2004 年 7 月　東京本社を銀座から青山に移転 2005 年 4 月　代表取締役に高橋裕士が就任 2007 年 10 月　東京本社を青山から渋谷に移転 2010 年 9 月　仙台支店を現住所に移転
メディア教育における活動実績	**BAKERU（WOWによるデジタルアート作品）:** 2017 年 3 月　せんだいメディアテーク オリジナル企画展「ハレとケ展」内で展示 2017 年 3 月　せんだいメディアテーク オリジナル企画展「ハレとケ展」内でBAKERU関連ワークショップ「ペーパークラフトでお面をつくろう」を開催 2018 年 4 月　東京鹿踊（岩手郷土芸能）とのコラボレーションによるコンセプト映像を公開 2018 年 4 月　青山スパイラル「WOW Visual Design Studio ーWOWが動かす世界ー」内で展示 2019 年 7 月　JAPAN HOUSE Los Angeles で個展「BAKERU: Transforming Spirits」を開催 2019 年～　文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」（メディア芸術）で関連プログラムを実施 **縦糸横糸合同会社（本プログラム共同実施団体）:** 2014 年 9 月　舞台芸術の創造と発信、そして地域に根ざした杉並区の文化活動の拠点座・高円寺『みんなの作業場』企画にて、子ども向けの鹿踊ワークショップを開催 2015 年 2 月　日韓芸能交流を目的とした公演 「マツリクロッシング」企画にて、国内外の観客向けの鹿踊ワークショップを開催 2015 年 8 月　子ども向けの体験型イベント「こどもの夢ひろば "ボレロ" ～つながる・集まる・羽ばたく～」企画にて、子ども向けの神楽ワークショップを開催 2016 年 5 月　G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議時に仙台市が市民向けに企画した東北トレジャーズカフェ「るるるる郷土芸能」にて子ども向けの鹿踊ワークショップを開催 2016 年 5 月　東京豊島区のとしま未来文化財団主催の「日本の民俗舞踊～踊り手が語るその魅力・祈り～」企画にて観客向けの鹿踊ワークショップを開催 2017 年 2 月　宮城県主催事業「文化芸術の力による心の復興フォーラム」企画にて地域の郷土芸能体験ワークショップを企画 2017 年 5 月　岩手県主催事業 「訪日外国人向け伝統文化鑑賞・体験プログラム開発事業」にて、外国人向けの各地域プログラムを企画、ワークショップを開催 2017 年 8 月　八戸市主催事業「八戸ポータルミュージアムはっちプロジェクトDASHIJIN」にて教育プログラムを企画、子ども向けのお祭り参加ワークショップを開催 2017 年12月　和太鼓や神輿の製作を行う宮本卯之助商店との共同企画で「訪日外国人向けの祭り・郷土芸能体験プログラム」にて外国人向けの鹿踊ワークショップを開催 2018 年 1 月　郷土芸能の衣装や道具を支える人の創出、育成を目的とした「カグラツクル」を自主企画、ワークショップを開催 2018 年 3 月　日本自然保護協会主催の「日本の伝統文化のなかに生きる動物たち」企画にて、子ども向けの鹿踊ワークショップを開催
特別支援学校における活動実績	特になし

参考資料の有無	Ⓐ	申請する企画のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
		申請する企画の DVD または WEB 公開資料	(有) ・ 無
		※WEB 公開資料有の場合 URL	http://bakeru.jp/
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:　不要
	A の提出が困難な場合	今回申請する企画に近い活動を記録した DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※WEB 公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

メインプログラム ・ ワークショップの内容　　【公演団体名　WOW　】

対　　象	小学生（ 低学年 ・ 中学年 ・ 高学年 ） ・ 中 学 生
企 画 名	BAKERU ー デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界 ー
プログラム全体の流れ	【プログラムの構成】

	ワークショップ 1 回 → メインプログラム
	ワークショップ 2 回 → メインプログラム
	ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ
	メインプログラム → ワークショップ 2 回
○	メインプログラム → ワークショップ 1 回

【全体の流れ】

※ はじめに、前年度プログラムの記録映像をご覧ください
https://vimeo.com/313292823

1日目　郷土芸能の鑑賞、レクチャー、およびワークショップ

デジタルアートとは何か、について分かりやすく紹介します。
また、郷土芸能と「変身する」ことのつながりについてお話します。

郷土芸能の一例として、岩手県「行山流舞川鹿子躍」を実演。
作品のモチーフになった実際の芸能を鑑賞します。

「変身する」ことをテーマに衣装について解説し
着付け体験などを通して芸能に触れ、理解を深めます。

レクチャーを参考に「自分が変身するとしたら」をテーマに
オリジナルのお面を制作。2日目の体験で使用します。

2日目　「BAKERU」の体験

ワークショップで制作したオリジナルの体験用お面を使って
デジタルアート作品「BAKERU」を体験します。

それぞれの想いがつまったお面。他の参加者がどのような
コンセプトで自身のお面をデザインしたか、見て考えます。

児 童 ・ 生 徒 の参加上限人数	ワークショップ (1日目)	120名程度
	メインプログラム (2日目)	最大120名程度 （1時限あたり40名程度が体験可能のため、人数が増える場合、時限数相談）

<table>
<tr><td>メインプログラムの主たる指導者</td><td colspan="3">工藤薫（ディレクター），
佐藤宏樹（テクニカルディレクター）アシスタント（エンジニア、デザイナー）2名，
稲垣拓也（プロデューサー），
山田雅也（ワークショップコーディネーター）アシスタント4名（演舞演者を兼ねる）</td></tr>
<tr><td>スタッフ人数
（1 公演あたり）</td><td>計10名</td><td>機 材 等
運搬方法</td><td>バン3台程度よる機材搬入を想定
積載量　1　t
車　長　5　m
台　数　3　台</td></tr>
<tr><td>企画のねらい</td><td colspan="3">

伝統文化の豊かな世界観に、デジタルアートを通して触れる

長い時間を受け継がれてきた郷土芸能には、自然、人の生き方、願いなど、大変豊かな世界観が内包されています。しかし、今日を生きる子供たちはそれらに触れる機会が多くありません。デジタルアート作品『BAKERU』は**東北の郷土芸能を様々なリサーチを通してデジタルアートに昇華させた作品**です。本公演は、デジタルアートという普段とは違った体験を通して、子どもたちに伝統文化に対する新たな気づきやまなざしが生まれることをねらっています。

▶ デジタルアート作品　『BAKERU』

BAKERUは東北に古くから伝わる**4つの郷土芸能（なまはげ、早乙女、鹿踊加勢鳥）をモチーフにした、体験型のデジタルアート作品**です。スクリーンの前に立って顔に体験用のお面をつけると自分の姿が変化し、それぞれの芸能の世界観で様々な体験ができます。現代的な視点と新しい表現を通して伝統文化に触れることで、その奥深さを広く知ってもらうことを目的にしています。

▶ 1日目（芸能実演とワークショップ）のねらい

1日目は、①郷土芸能のレクチャーと実演、②体験用のお面制作 を行います。①では、有史以前から続くお面を使って「変身する」という行為をテーマにお話した後、例として「東京鹿踊」による**実際の演舞を鑑賞**します。②では、「自分が変身するとしたら」をテーマに**BAKERU体験用のお面を参加者がカスタマイズ**します。子どもたちが自身の「願い」と「それに対応するデザイン」を考えて制作することで、芸能で衣装が果たす役割を深く学びます。

▶ 2日目（デジタルアート体験）のねらい

2日目は、体育館に設置したスクリーンで**デジタルアート作品「BAKERU」を体験**します。ここで1日目に制作したオリジナル面を利用することが、より深く作品に入り込み、体験を記憶に残すきっかけとなります。（感染症の流行状況等に応じて一回の体験人数や待機方法を柔軟に調整します）

</td></tr>
</table>

【公演団体名　　WOW　　】

<table>
<tr><td>実施にあたっての会場条件</td><td colspan="2">実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">当日の所要時間(タイムスケジュール)の目安</td><td>【ワークショップ】(1日目)</td><td>【メインプログラム】(2日目)</td></tr>
<tr><td>前日の夕方に機材搬入、また当日もしくは事前にワークショップの打ち合わせを行います。
開始1～2時間前学校到着、打ち合わせ
1時限目(45分想定)
イントロダクション　(10分)
郷土芸能レクチャー　(10分)
郷土芸能実演･体験　(20分)
ワークショップのイントロダクション　(5分)
休み時間
休憩　(10分)
2時限目(45分想定)
体験用お面制作(40分)
1日目のまとめ(5分)</td><td>前日の夕方に機材搬入を行います。
開始1～2時間前学校到着、打ち合わせ
1時限目(45分想定)
BAKERU体験　(25分)
参加者の制作お面鑑賞　(10分)
本企画のまとめ　(10分)</td></tr>
<tr><td colspan="2">※採択決定後，採択団体へ学校側に提示する条件の確認書の作成をお願いします。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での実施における工夫点</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="2">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

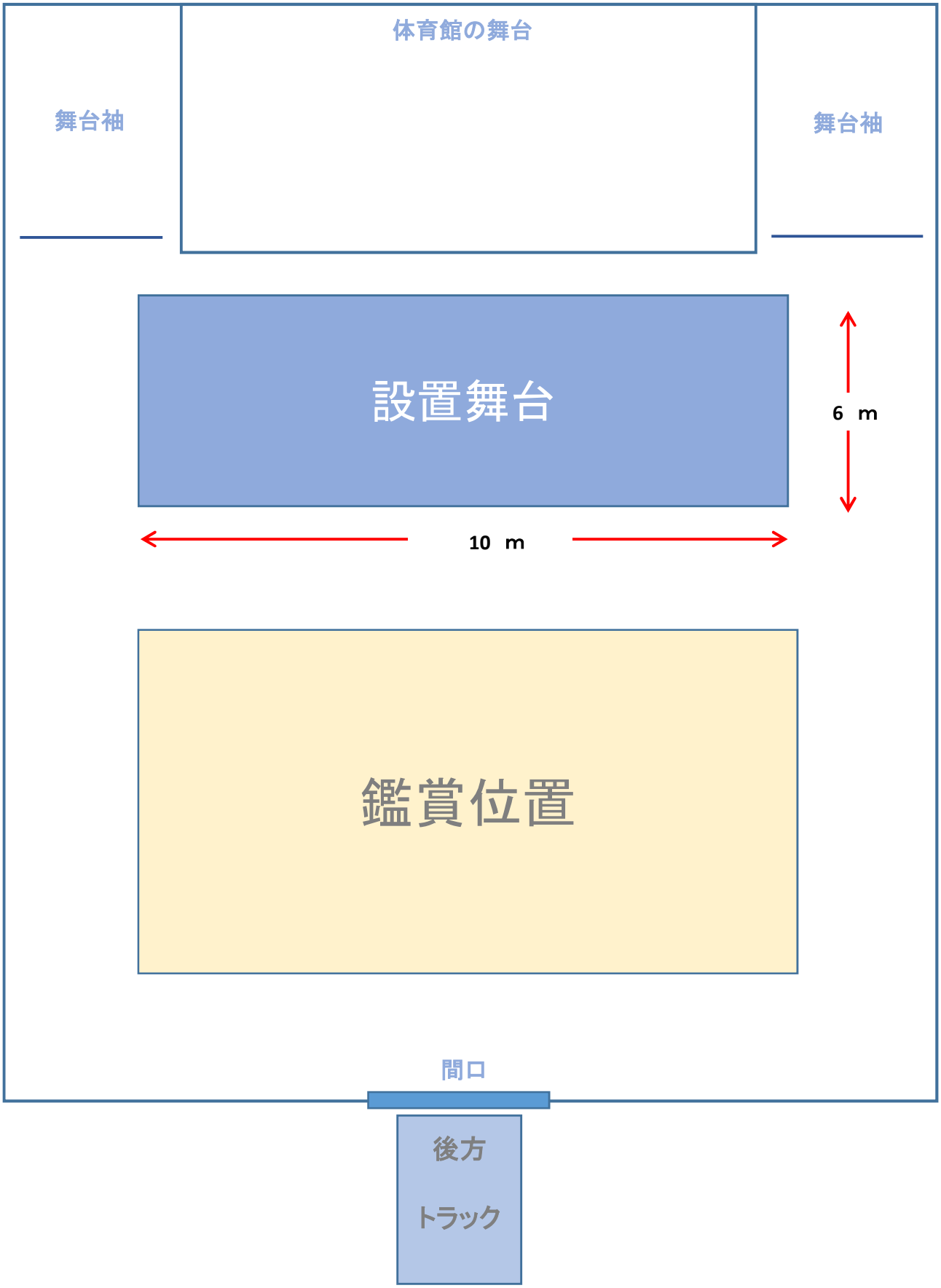
【令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	1502	分野	メディア芸術	種目	メディアアート等	ブロック		区分	A区分
公演団体名	WOW				制作団体名	ワウ　株式会社			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数＊	2室	条件					
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数＊			バン　3台				
	―	来校する車両の内，横づけが必要な車両の大きさ			不要				
	―	搬入車両の横づけの要否＊			不要				
	―	横づけができない場合の搬入可能距離＊			問わない				
	―	搬入経路の最低条件			問わない				
		理由							
	―	設置階の制限＊							
	―	搬入間口について 単位：メートル	幅	問わない		高さ	問わない		
WSについて	可	参加可能人数		120名程度					
	不可	学年の指定の有無＊		あり	指定学年＊	小学生のみ			
	可	所要時間の目安 単位：分		2から3時限（参加人数による）					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安を御参照ください。					
	可	鑑賞可能人数		120名程度					
	可	舞台設置場所＊		フロア					
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル	幅	10m	奥行	6m	高さ	5m	
	―	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保＊	不要					
	―		舞台袖スペースの条件＊	不要					
	―		緞帳＊	不要		バトン＊	不要		
	不可	遮光(暗幕等)の要否＊		要	理由	映像を投影するため			
	―	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動＊	不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	―		ピアノの事前調律＊	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況＊	格納されていれば可					
	不可	公演に必要な電源容量		30A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	問わない	高さ	問わない
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

BAKERU ばける

その不思議な力を、私たちは忘れかけていた。
お面を着けて、自分以外の存在へと〝化ける〟
神の使いとなって、人々に恵みを分け与える。
自然への畏怖が生んだ、〝ハレとケ〟の文化
私たちは今何を感じ、未来を紡いでいくのだろう。

東北に古くから伝わる祭りや伝統行事をモチーフにした体験型の映像インスタレーション作品。スクリーンの前に立ってお面を顔につけると、自分の姿がいつしか自分ではない何者かに変化します。現実から空想の世界へと入り込み、その姿で様々な体験をすることができます。作品の対象となる東北の伝統行事の中で特にユニークなのが、１年の決まった時期になると各地に現れる“神の使い”たちの姿。三陸地方に伝わる「鹿踊（ししおどり）」や、簔（みの）をかぶった若者に水をかける「加勢鳥（かせどり）」など、人々はお面や衣装を身に着けることで、豊作や無病息災をもたらす存在へと変身するのです。

この作品では「なまはげ」「鹿踊」「加勢鳥」「早乙女」の 4 種類の伝統行事をモチーフにし、WOW の解釈を加えてビジュアライズしました。スクリーンの前でお面を付けると、自分のシルエットがそれぞれの姿に変化して、その行事が人々にもたらす恵みがアニメーションで映し出されます。自分以外の存在、人間以外の何者かへと“化ける”という不思議な力を、楽しみながら体験する試み。東北の風土が生んだ伝統文化に、まったく新しい表現を通して触れてもらうことで、その価値を次の世代へ受け継いでいきたいという願いを込めた作品です。

WOW http://www.w0w.co.jp/ http://wowlab.net/

東京、仙台、サンフランシスコに拠点を置くビジュアルデザインスタジオ。CM やコンセプト映像など、広告における多様な映像表現から、さまざまな空間におけるインスタレーション映像演出、メーカーと共同で開発するユーザーインターフェイスデザインまで、既存のメディアやカテゴリーにとらわれない、幅広いデザインワークをおこなっている。

実際の作品や鹿踊の様子はこちらで動画でご覧いただけます。http://bakeru.jp

令和３年度　文化芸術による子供育成総合事業 ― 巡回公演事業 ―

BAKERU
デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界

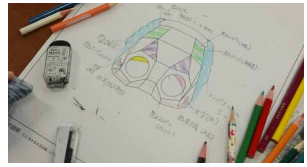
１日目　郷土芸能の学びと作品体験のためのお面作り

▶ 郷土芸能 実演・体験

” 東京鹿踊 ” による演舞を鑑賞。
お祭りの意味や衣装について解説し、着付け体験をします。

▶ 体験用お面制作ワークショップ

「自分が変身するとしたら」をテーマに、デジタルアート体験のためのお面を自分でデザインします。



２日目　デジタルアート作品『BAKERU』の体験

▶ BAKERU の体験

ワークショップで作った体験用のお面を使って、デジタルアート作品『BAKERU』を体験します。